

交通・観光等に関する現況データ集

- 目 次 -

1	東北地方の面積・人口・地形.....	1
2	旅客輸送の動向.....	11
3	貨物輸送の動向.....	40
4	環境・バリアフリー.....	49
5	観光の動向.....	54

1 東北地方の面積・人口・地形

【概況】

「本格的な人口減少社会の始まり。少子高齢化の進展」

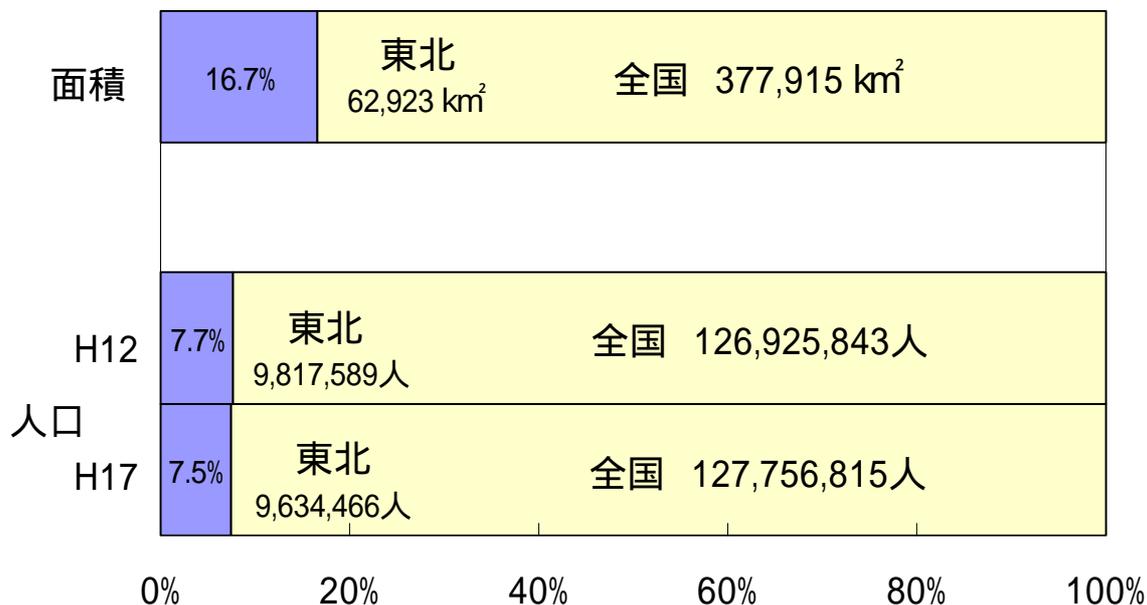
面積・人口：

- ・面積は、約6万3千k m²で全国の約17%。人口は、平成17年10月現在、約963万人で全国の7.5%。
- ・平成7年をピークに人口減少が始まっているが、平成17年の国勢調査によると、予測よりも早いペースで人口減少が進展。
- ・各県の人口も減少。各市町村の人口については、仙台、盛岡、福島、郡山等の大都市周辺部以外は減少傾向。また、10万人以上の都市についても、東北管内の14市のうち8市で人口減少が起こっている。

少子高齢化：

- ・少子高齢化が進展し、今後も全国よりも高い割合で高齢化が進展していくことが予測されている。

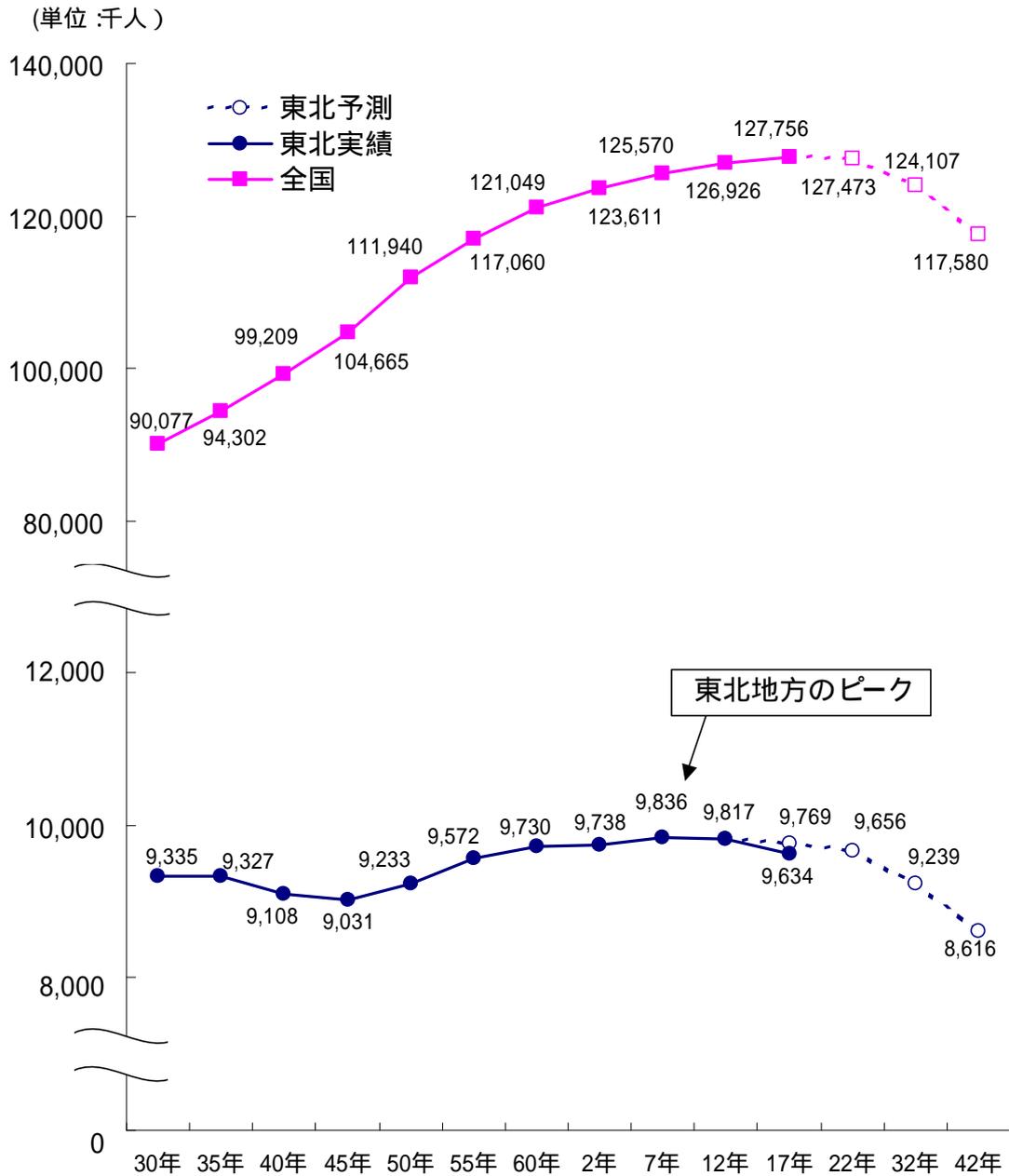
1 - 1 面積及び人口（全国比）



(資料)平成17年国勢調査 全国・都道府県・市区町村別人口(要計表による人口)

平成17年12月27日公表

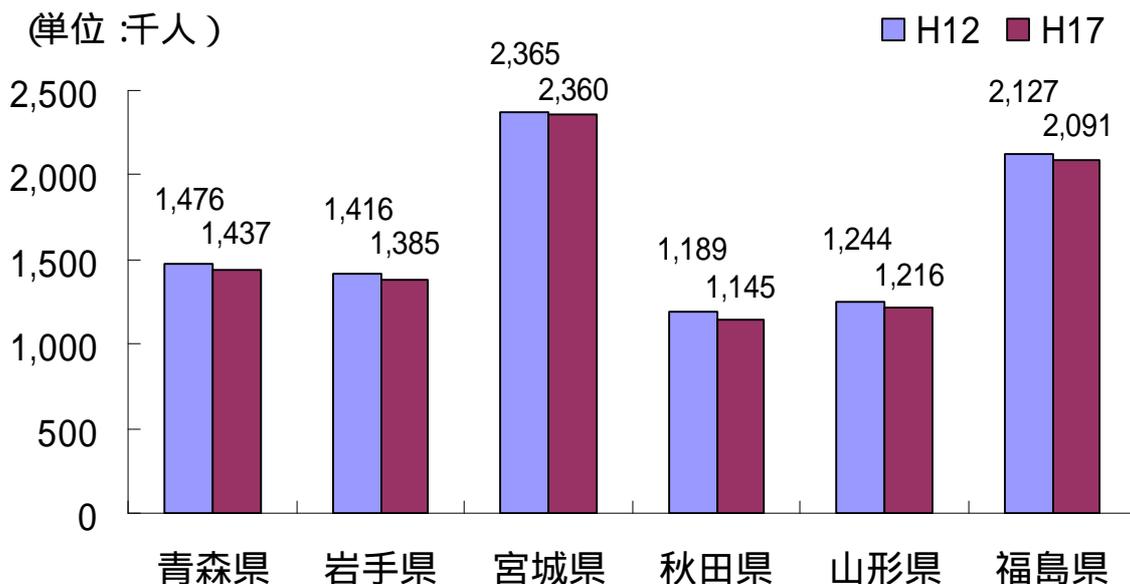
1 - 2 人口推移と予測



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)

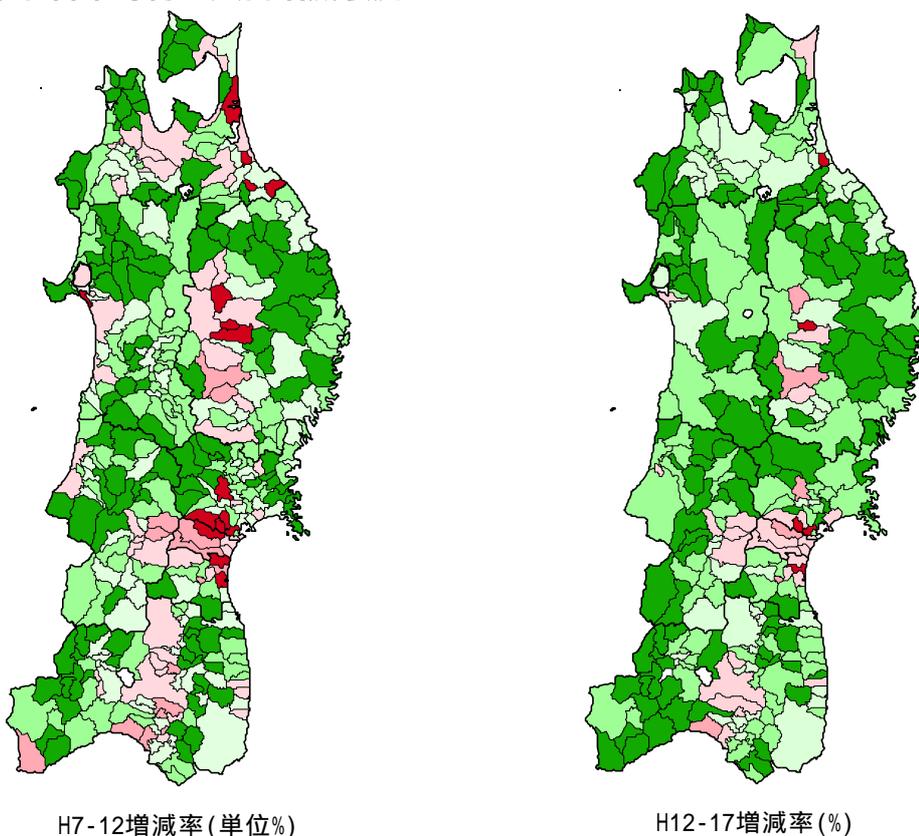
平成17年国勢調査

1 - 3 県別人口



(資料) 平成 17 年国勢調査 全国・都道府県・市区町村別人口

1 - 4 東北各市町村の人口増減状況



		H7		H12	
		市町村数	構成比率	市町村数	構成比率
5%以上	16	4.0%	5	1.7%	
2.5~5%	16	4.0%	6	2.0%	
0~2.5%	47	11.8%	26	8.8%	
-2.5~0%	88	22.1%	49	16.6%	
-5~-2.5%	112	28.1%	93	31.5%	
-5%以下	120	30.1%	116	39.3%	

(資料) 各年国勢調査

1 - 5 人口10万人以上の都市

県名	市名	平成7年		平成12年		平成17年	
		人口	指数	人口	指数	人口	指数
青森県	青森市	314,917	100	318,732	101	311,492	99
	弘前市	177,972	100	177,086	100	173,227	97
	八戸市	249,358	100	248,608	100	244,678	98
岩手県	盛岡市	286,478	100	288,843	101	287,186	100
宮城県	仙台市	971,297	100	1,008,130	104	1,024,947	106
	石巻市	178,923	100	174,778	98	167,327	94
秋田県	秋田市	331,597	100	336,646	102	333,047	100
	横手市	112,600	100	109,004	97	103,654	92
山形県	山形市	254,488	100	255,369	100	255,959	101
	鶴岡市	149,509	100	147,546	99	142,381	95
	酒田市	101,230	100	101,311	100	98,278	97
福島県	福島市	285,754	100	291,121	102	290,867	102
	会津若松市	127,292	100	125,805	99	122,261	96
	郡山市	326,833	100	334,824	102	338,830	104
	いわき市	360,598	100	360,138	100	354,403	98

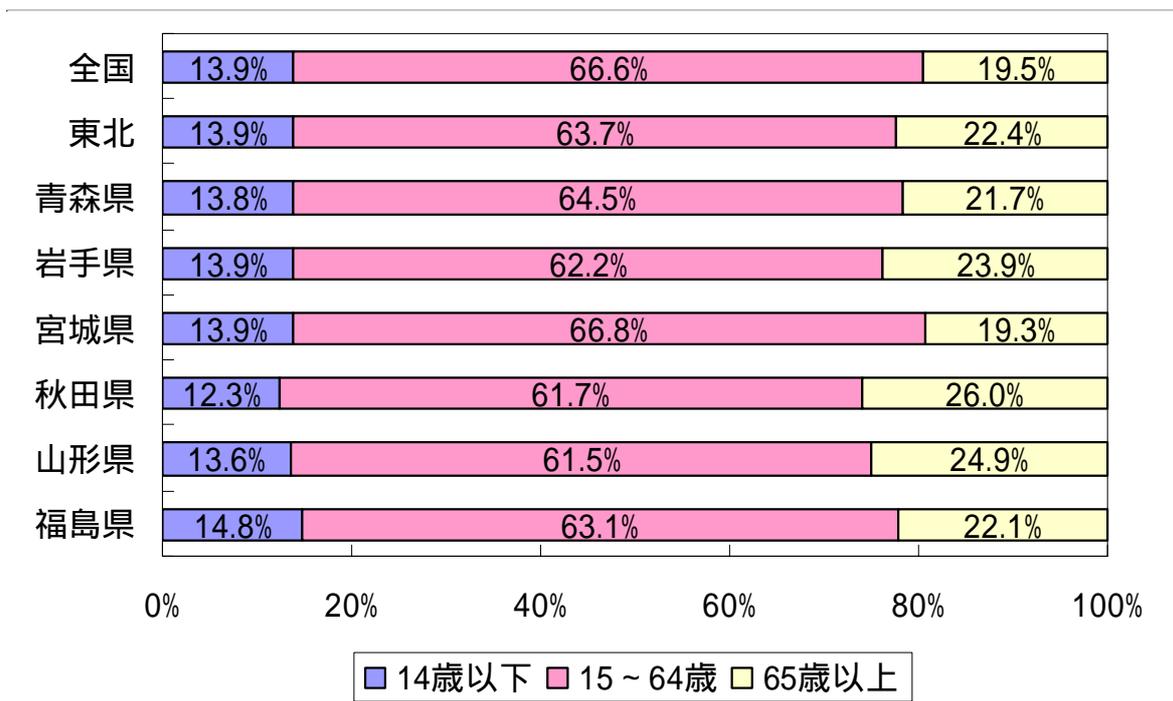
注 平成17年10月1日までに合併した市については、平成7年、12年の人口を合併対象の市町村の合計として出している

- ・青森市 :青森市、浪岡町の合計
- ・八戸市 :八戸市、南郷村の合計
- ・石巻市 :石巻市、河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町、牡鹿町の合計
- ・秋田市 :秋田市、河辺町、雄和町の合計
- ・横手市 :横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村の合計
- ・鶴岡市 :鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の合計
- ・会津若松市 :会津若松市、北会津村の合計

(資料) 各年国勢調査

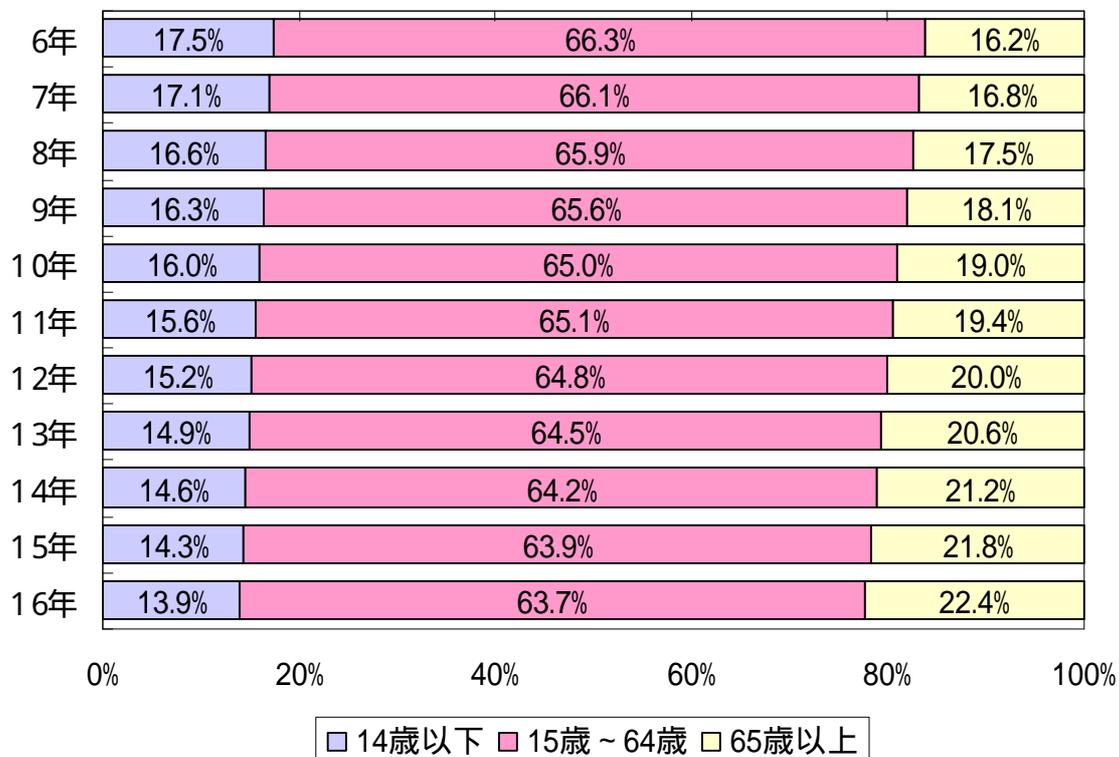
1 - 6 年齢別人口及び推移

県別年齢別人口割合（平成16年）

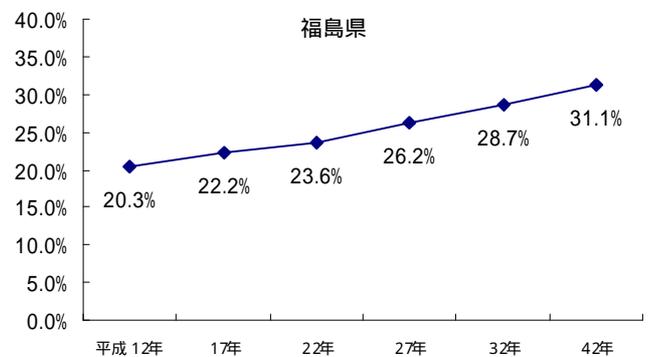
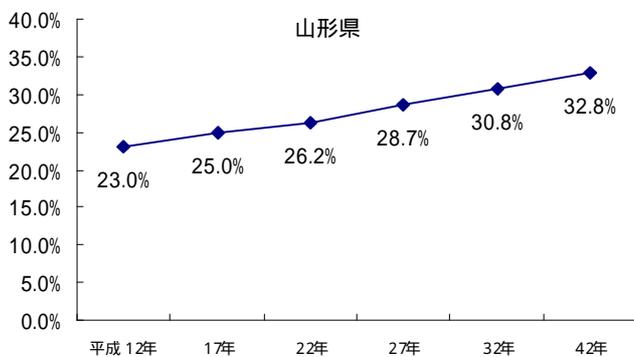
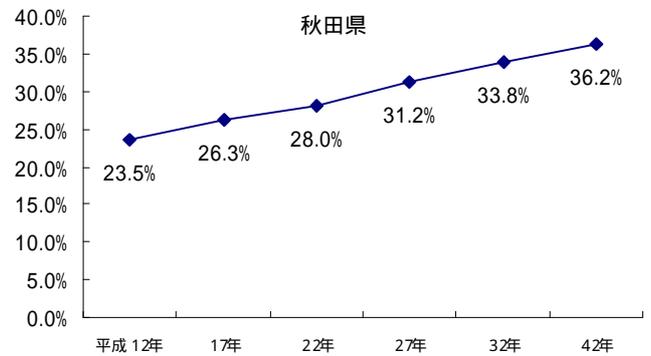
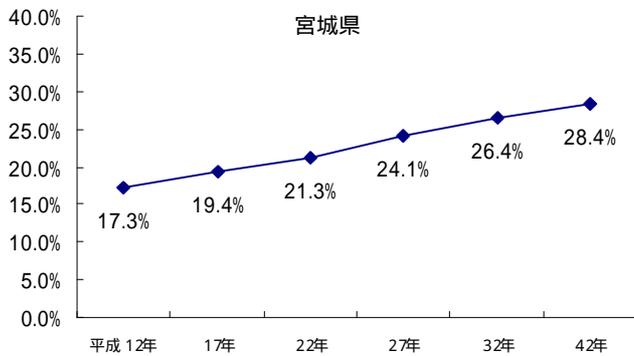
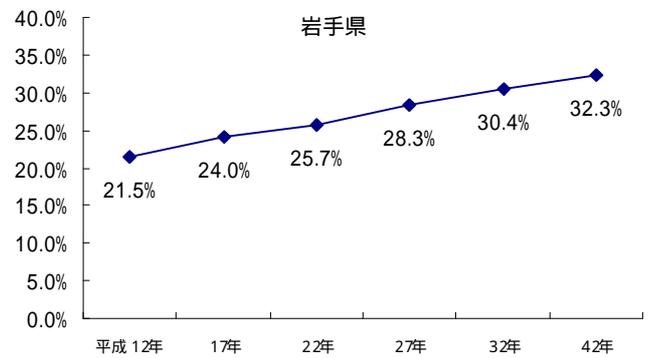
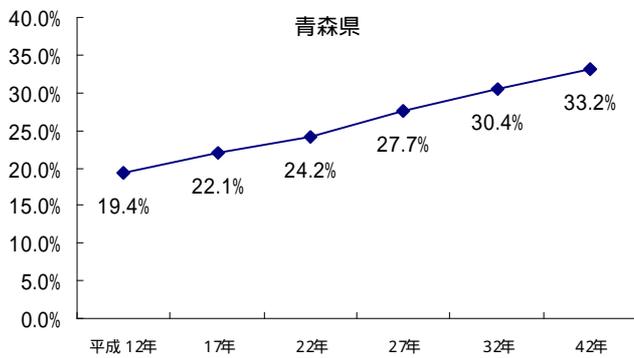
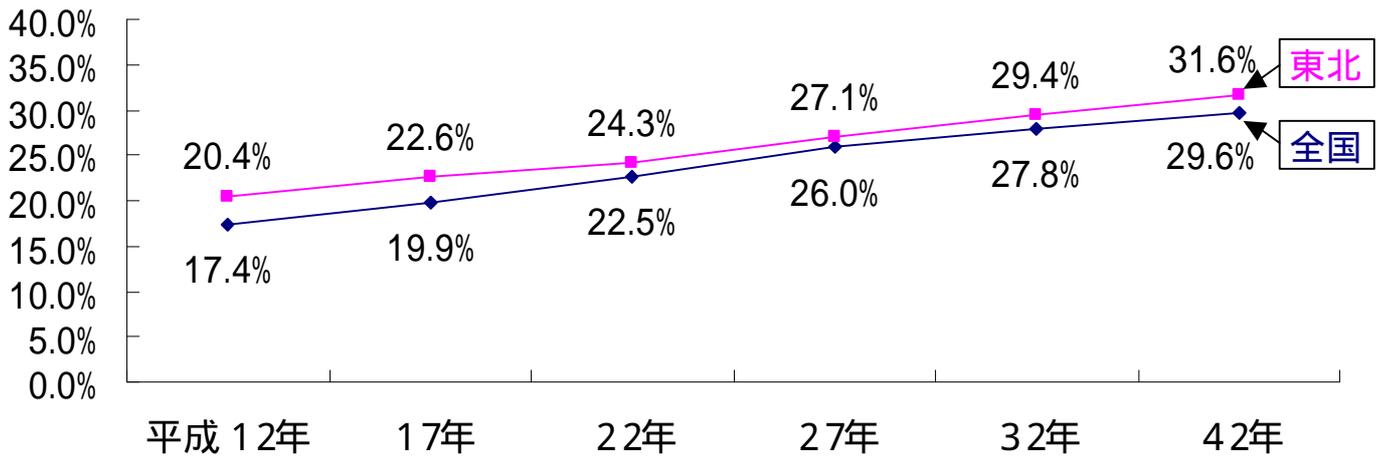


（資料）統計でみる都道府県のすがた 2006

東北地方年齢別人口割合の推移



1 - 7 高齢化率の将来推計



(資料) 国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口(平成14年3月推計)

1 - 8 東北の地形・気候

本州の最北端に位置する東北地方は6県から構成され、南北に縦に長く、中央を走る高く険しい奥羽山脈によって、青森県東部、岩手県、宮城県、福島県が面する太平洋側と青森県西部、秋田県、山形県が面する日本海側に分けられる。また、奥羽山脈に平行して東に北上高地・阿武隈高地、西に出羽山地が連なり、山地・山脈が多い地形となっている。それらの山地・山脈の間には、北上盆地、横手盆地、山形盆地、会津盆地などがあり、北上川流域には仙台平野、最上川流域には庄内平野、雄物川流域には秋田平野、岩木川流域には津軽平野が開けている。

一般的に東北地方の夏は比較的涼しいが冬は長く厳しい。しかし、高く険しい山脈が東北地方を東西に分けているため、太平洋側と日本海側では気候が大きく異なっている。夏、太平洋側では「やませ」の影響で気温があまり上がらず、比較的涼しくなる。一方、日本海側では盆地を中心に高温となることが多い。そして冬になると、太平洋側では晴天の日が続き降雪量も少ないが、日本海側では低温でくもりの日が多く大雪となる。

しかし、同じ日本海側でも盆地と平野を比べると、盆地では大雪となるが平野では降雪が少ない、などの違いが現れる。同じ日本海側と太平洋側の地域でも、盆地と平野では気候が異なってくるため、東北地方は様々な気候を持つ地方といえる。



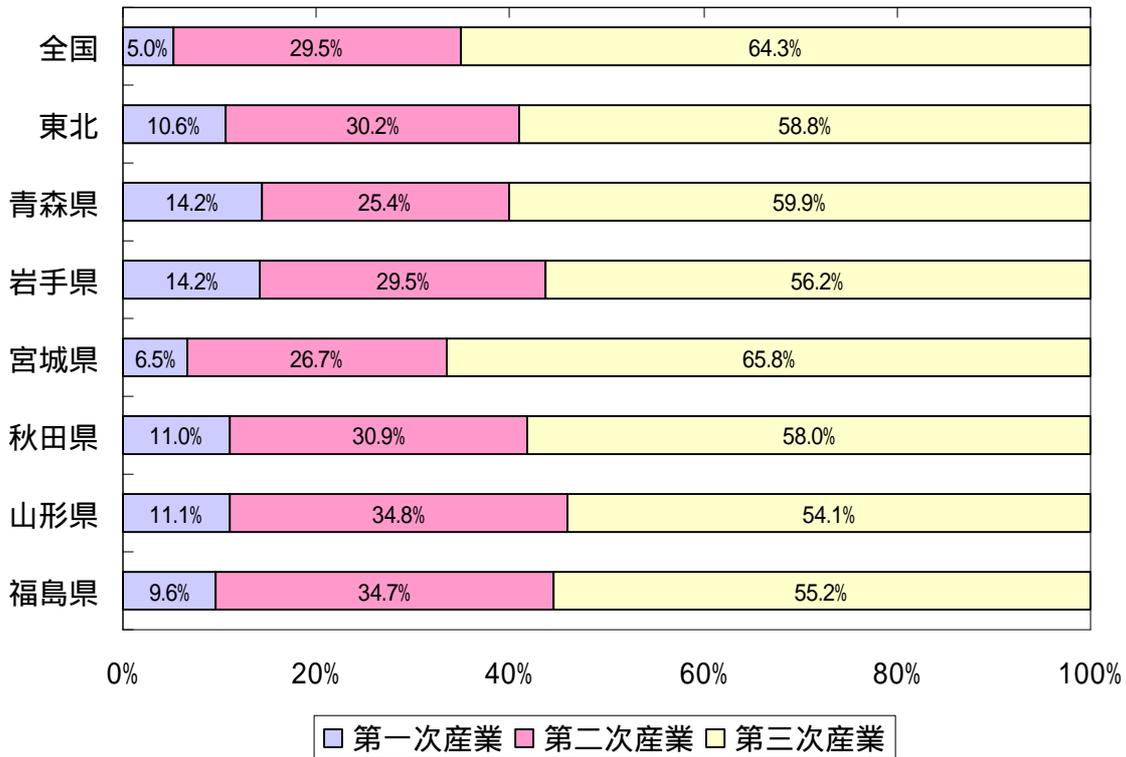
1 - 9 県別面積・可住地面積・人口集中地区面積)

	総面積 (km ²)	可住地面積		人口集中地区面積	
		面積 (km ²)	対総面積比 (%)	面積 (km ²)	対総面積比 (%)
青森県	9,607	3,209	33.4	156	1.6
岩手県	15,279	3,713	24.3	86	0.6
宮城県	7,286	3,133	43.0	231	3.2
秋田県	11,612	3,158	27.2	87	0.7
山形県	9,323	2,853	30.6	113	1.2
福島県	13,783	4,218	30.6	176	1.3
東北地方	66,890	20,283	30.3	848	1.3
全国	377,907	123,198	32.6	12,457	3.3

(資料) 全国都道府県市区町村面積調査
国勢調査 (平成12年)

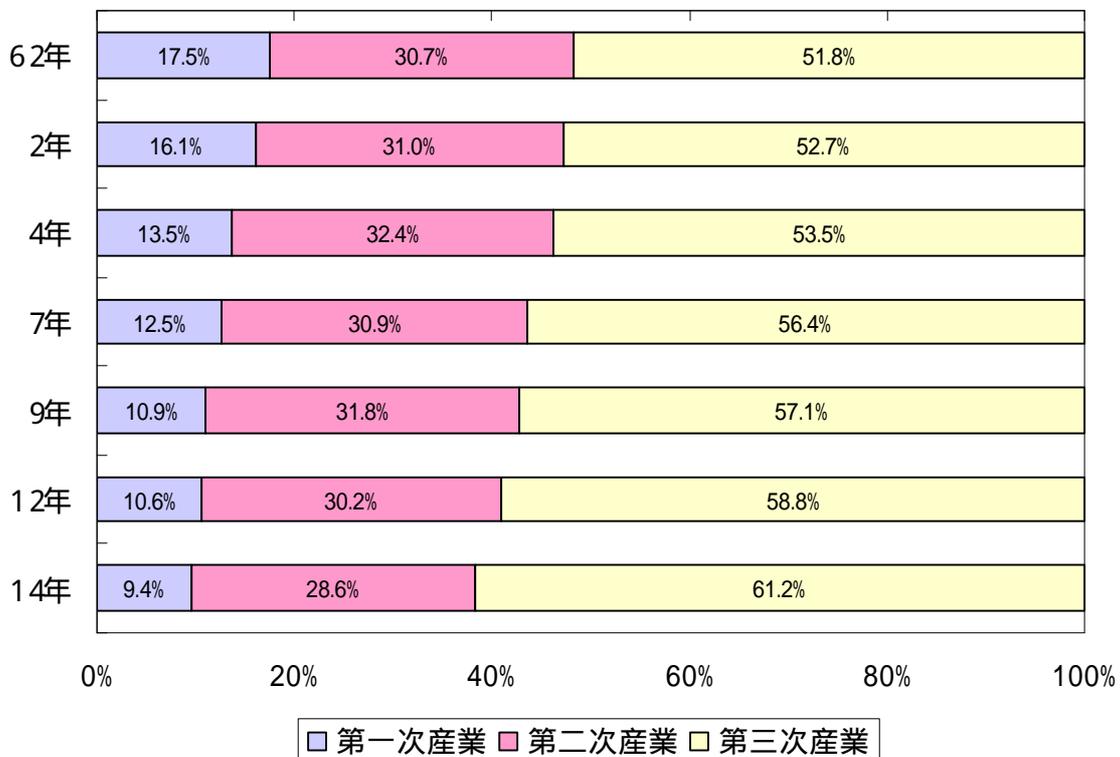
1 - 10 産業別就業者割合及び推移

県別就業者構成（平成12年）



（資料）国勢調査 平成12年

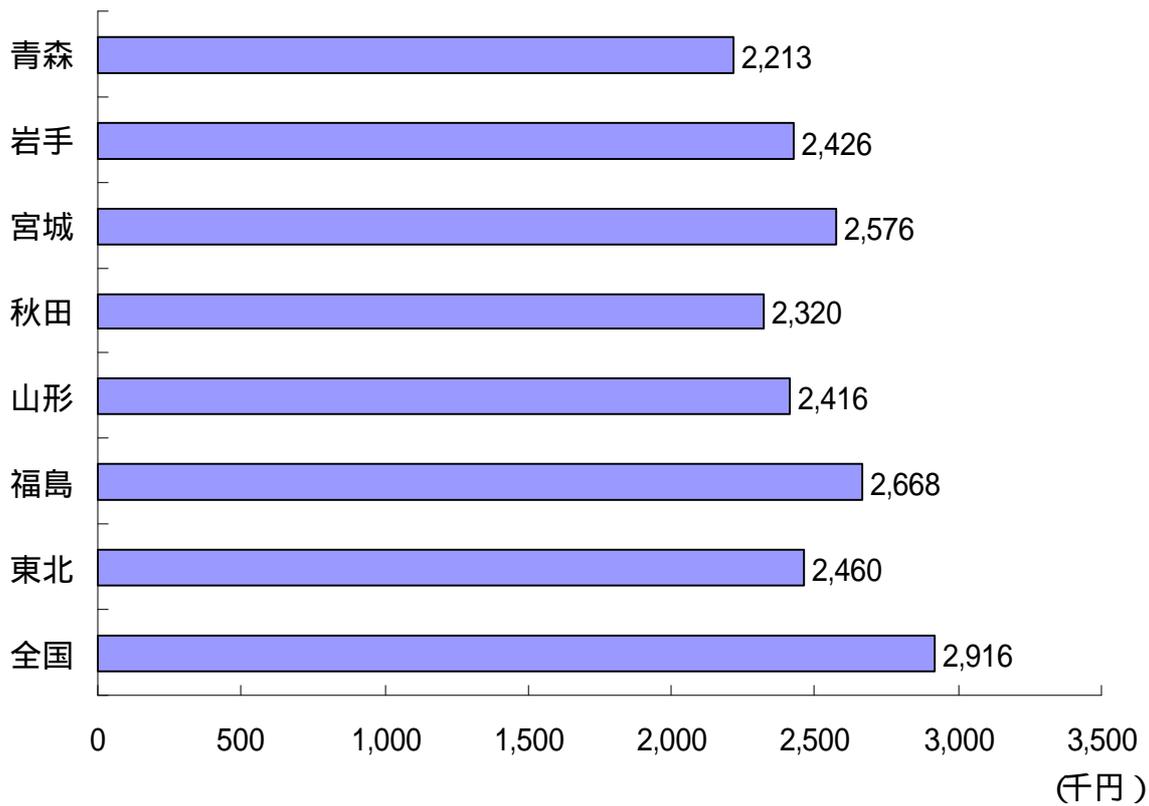
東北地方就業者構成の推移



（資料）国勢調査（平成2、7、12年）

総務省「就業構造基本調査」（昭和62、平成4、9、14年）

1 - 1 1 1 人当たりの県民所得



(資料) 国民経済計算確報 平成14年度県民経済計算

2 旅客輸送の動向

「自動車への強い依存傾向、乗合バス・民鉄・タクシー等公共交通機関利用の減少」

【全体傾向】

自動車分担率が非常に高く、また自家用車旅客輸送人員の増加傾向も継続している。

【広域流動】

鉄道：全体として、輸送人員は横ばいから減少傾向。一方、新幹線では輸送人員は増加しているが、その増加率は低下傾向にある。

高速バス：系統数、輸送人員ともに着実に増加している。

航空：国内線、国際線ともに輸送人員が近年横ばいから減少傾向にある。一方、国内線、国際線とも航空ネットワークが拡充されている。

【域内流動】

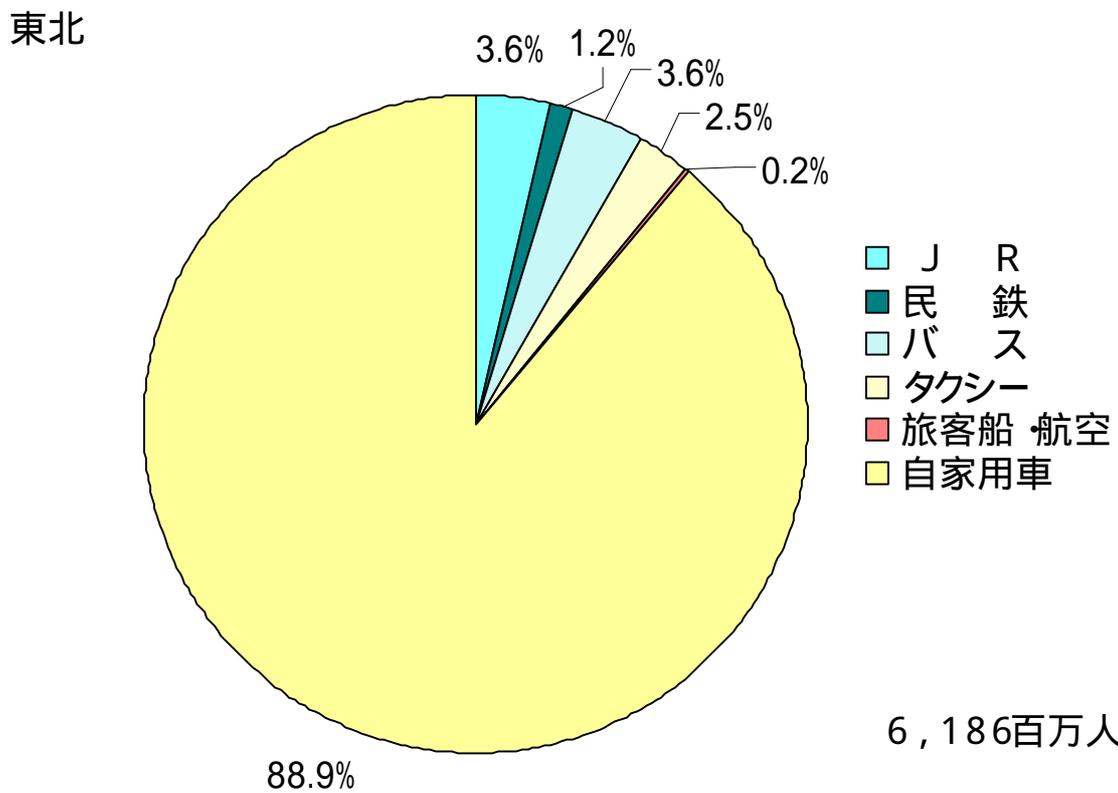
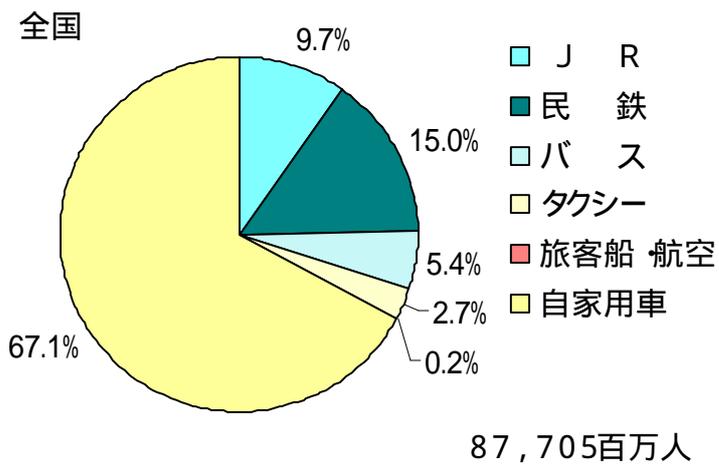
民鉄：仙台市営地下鉄は横ばいだが、その他民鉄では輸送人員の減少傾向が続いている。

乗合バス：全体的には、年々輸送人員の減少が続いており、平成 17 年には半数以上の市町村でバス路線の休廃止がみられる。また、平成 16 年からの 1 年間で廃止代替バスの混在する市町村が 7 %増加している。

タクシー：乗合バス同様に、輸送人員の減少傾向が続いている。

自動車保有台数：自家用車台数は現在もなお、増加傾向にある。

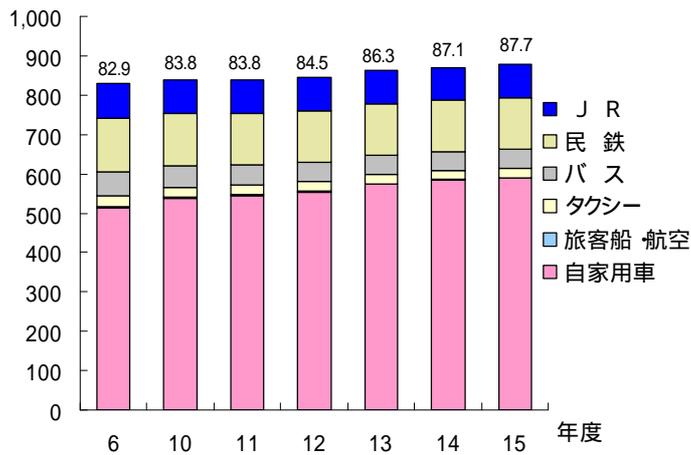
2 - 1 - 1 旅客輸送機関別分担率（平成15年度）



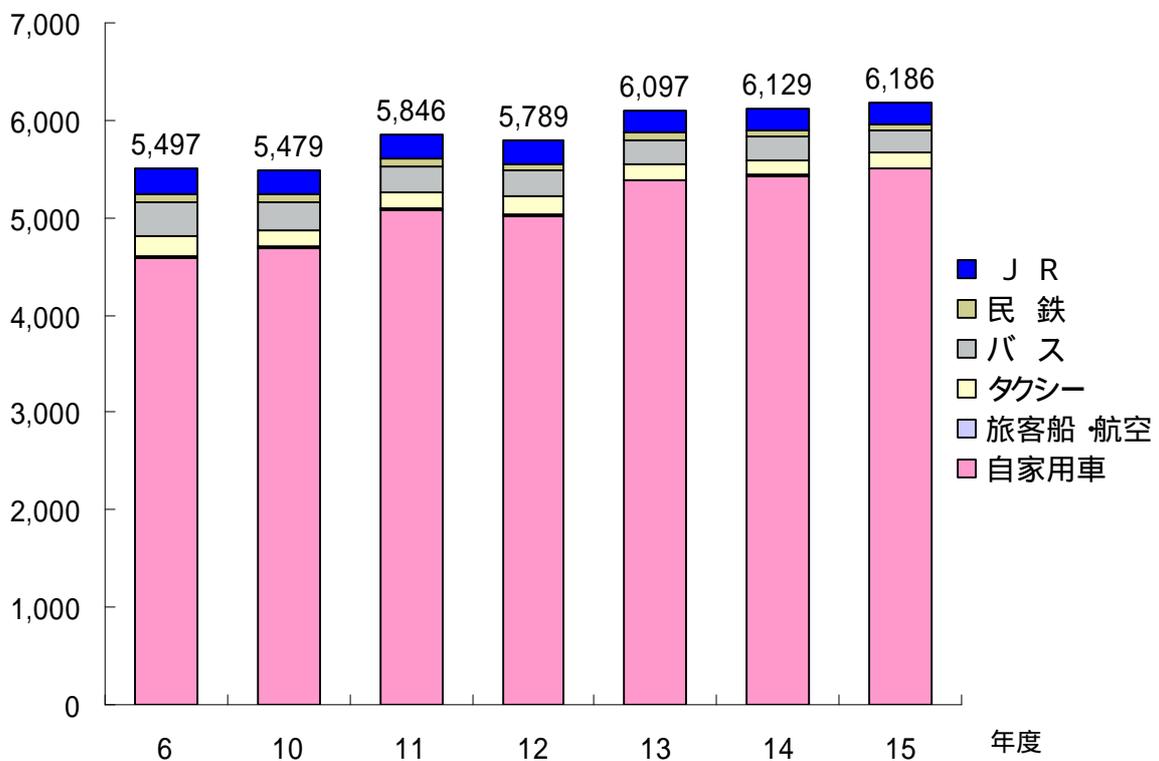
（資料）旅客流動調査 平成15年度

2 - 1 - 2 輸送機関別旅客輸送人員の推移

(単位:億人) 全国



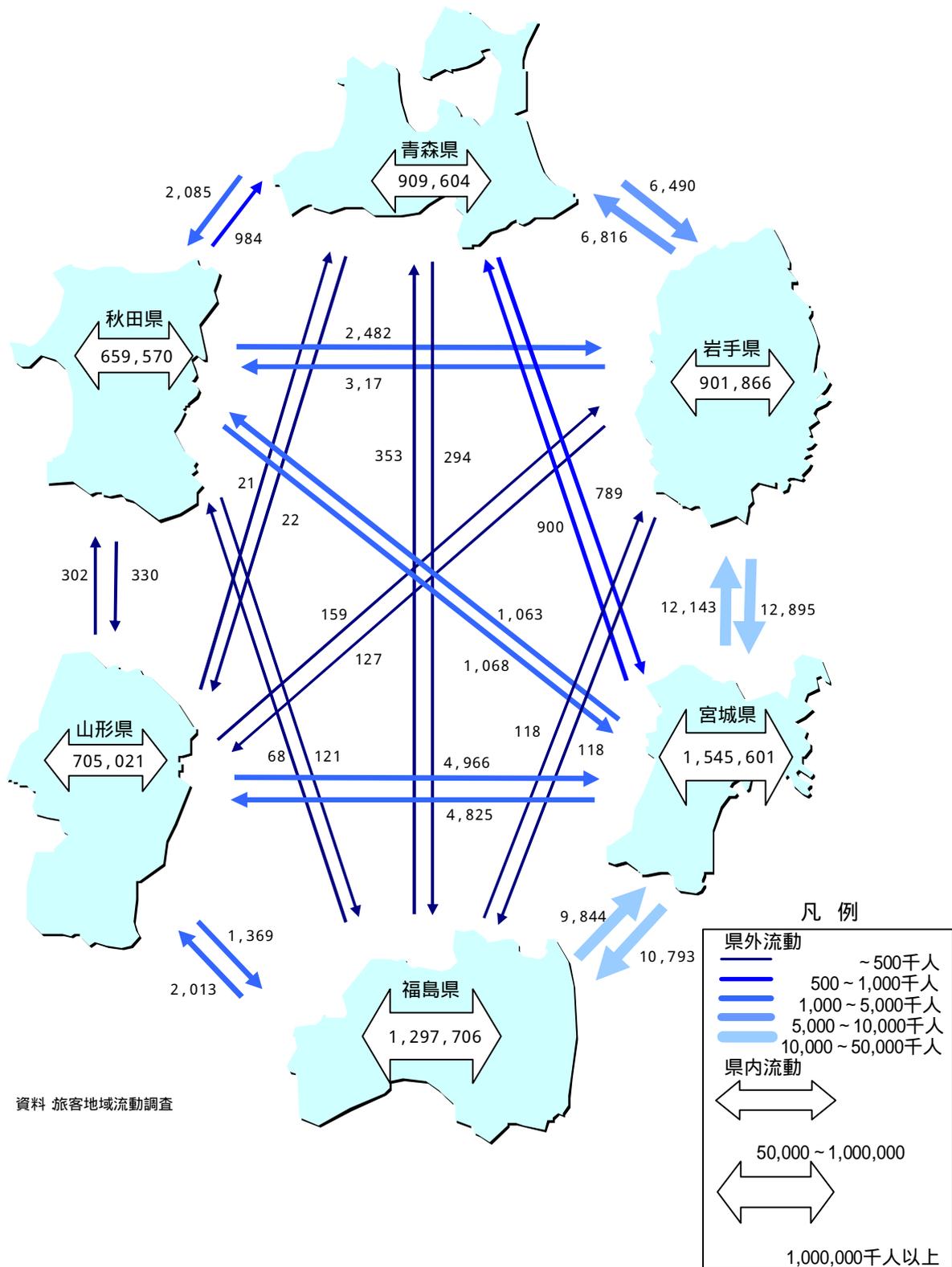
(単位:百万人) 東北



(資料) 旅客流動調査 平成15年度

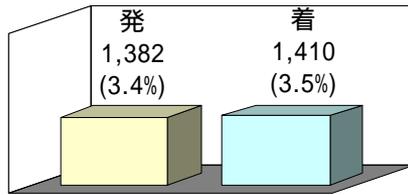
2 - 1 - 3 旅客流動

東北域内の旅客流動（平成15年度）



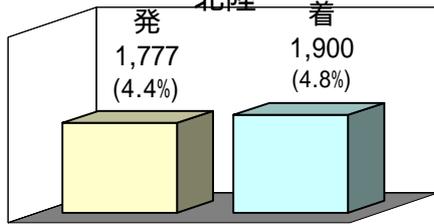
東北と全国との旅客流動（平成15年度）

北海道

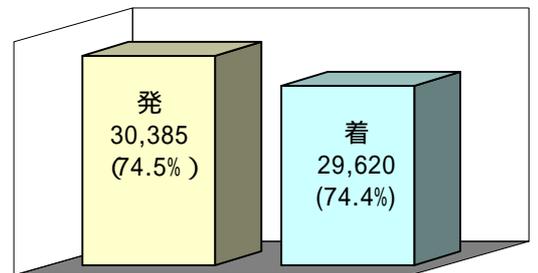


単位：千人

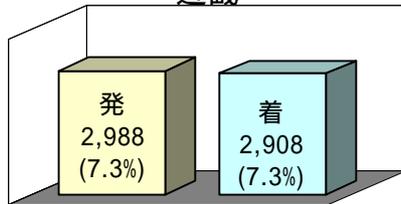
北陸



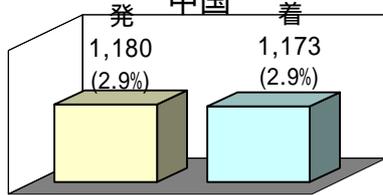
関東



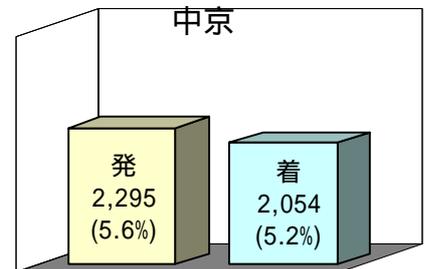
近畿



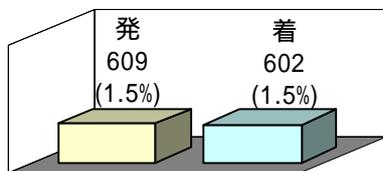
中国



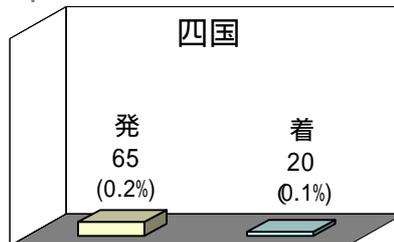
中京



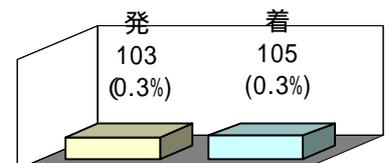
九州



四国



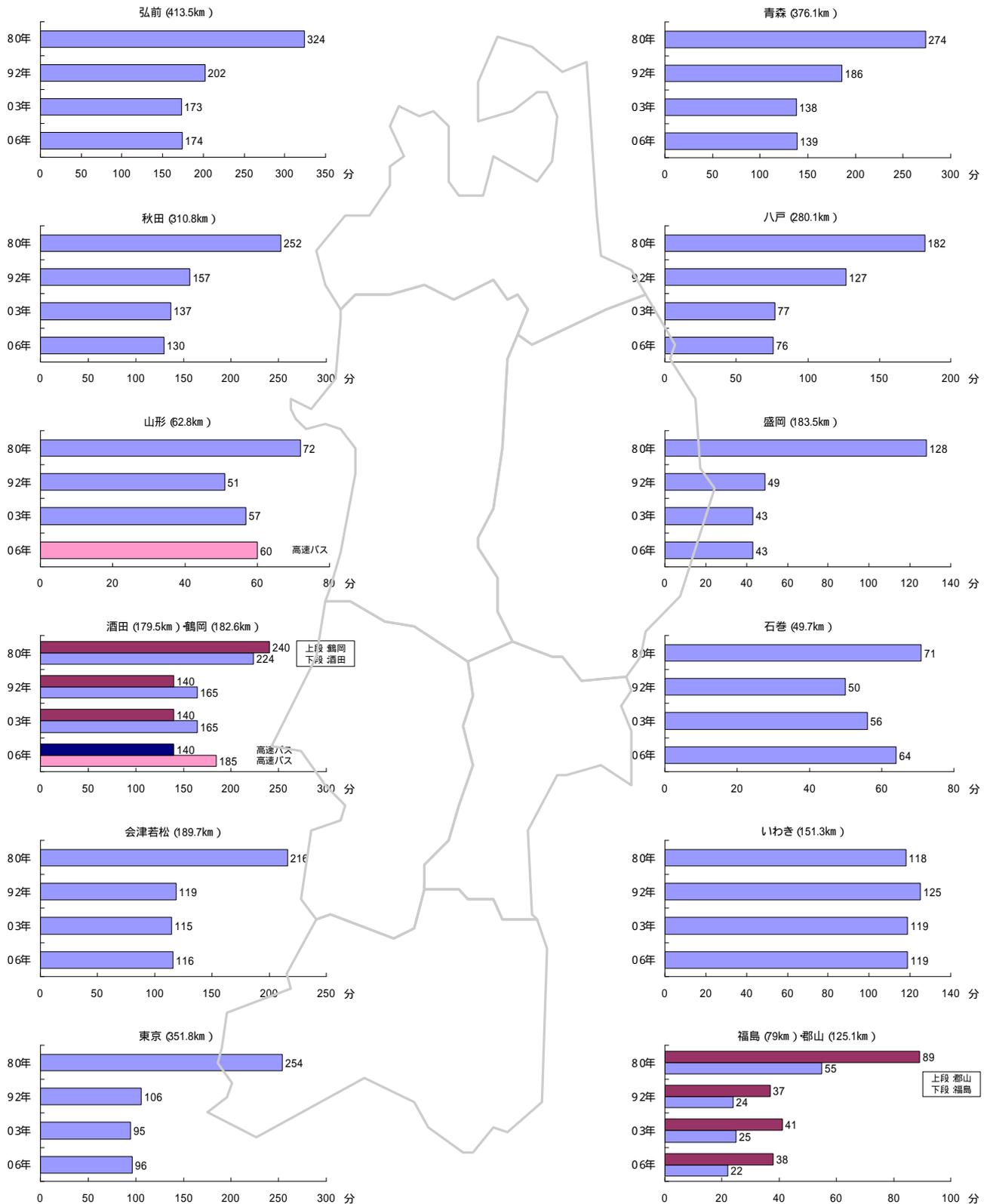
沖縄



(注) 北海道、四国、九州、沖縄以外の地域区分は次のとおり
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
 中京：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

(資料) 旅客地域流動調査

2 - 1 - 4 高速交通体系の整備による都市間旅行時間の短縮効果



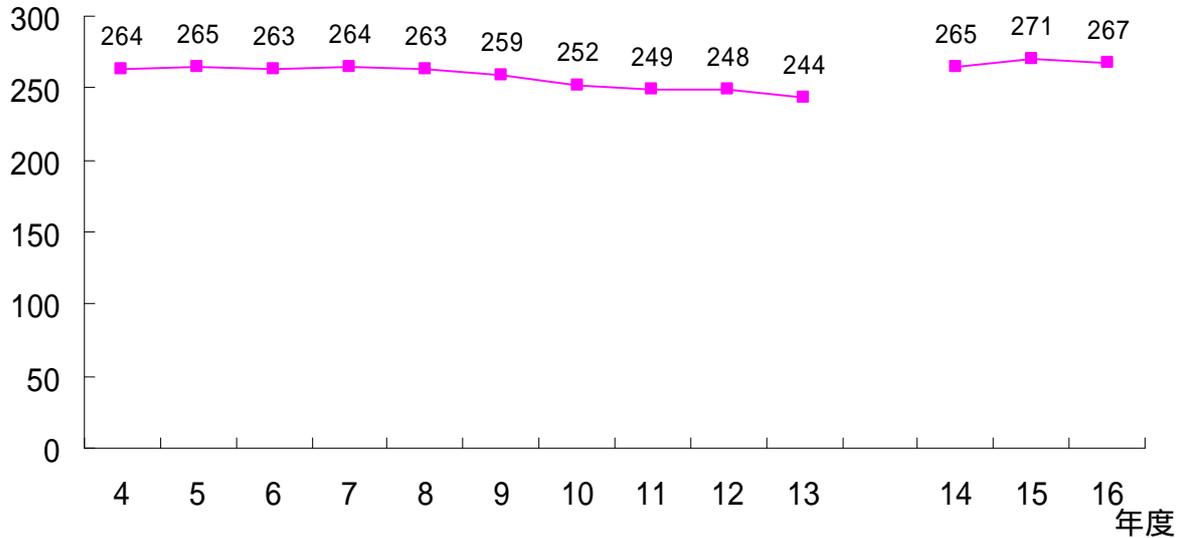
いずれも仙台からの最速所要時間

2 - 2 広域流動

2 - 2 - 1 鉄道旅客輸送人員の推移（全体、東北新幹線）

鉄道旅客輸送人員の推移

(単位 :百万人)

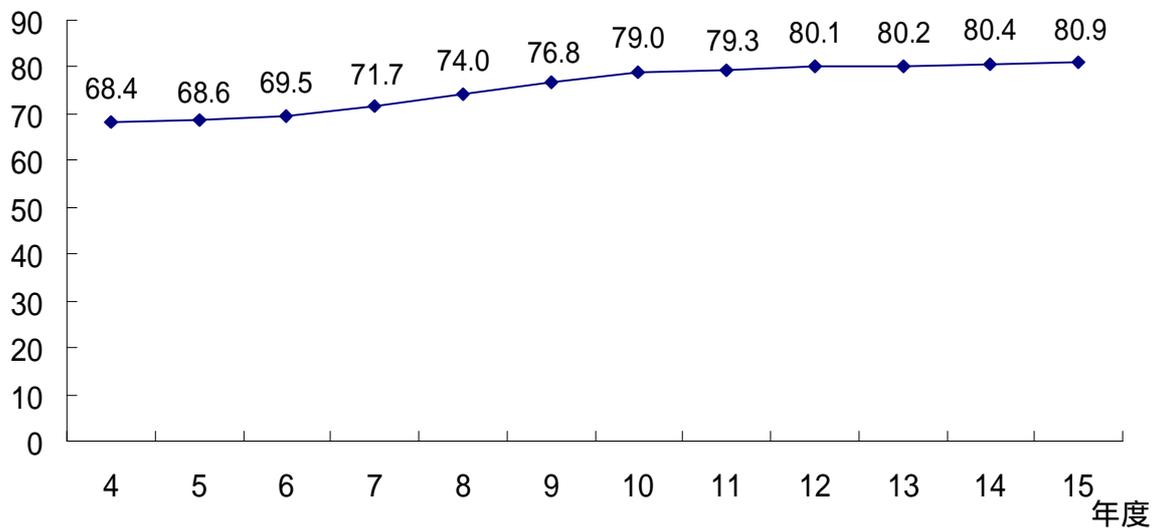


注) 平成13年度までは管内4県の合計値、平成14年度以降は6県の合計値となっている

(資料) 鉄道輸送統計年報

東北新幹線の輸送人員

(単位 :百万人)

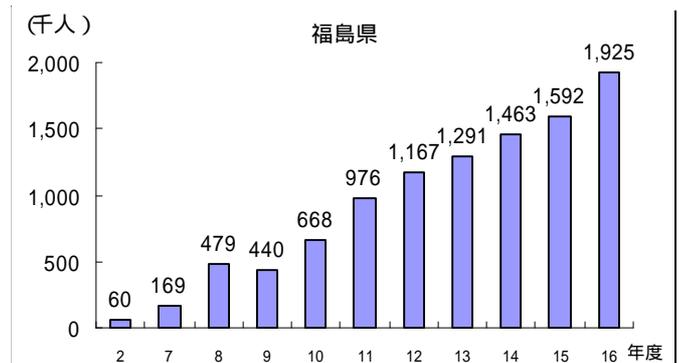
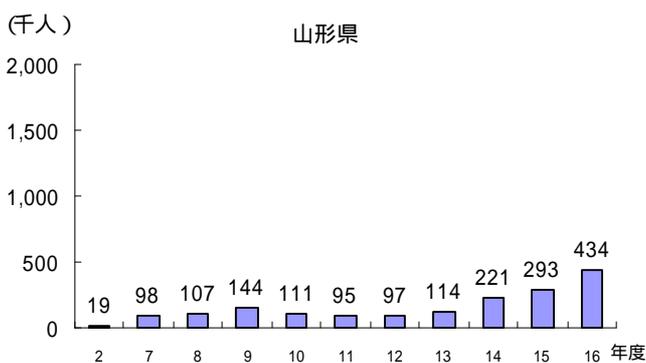
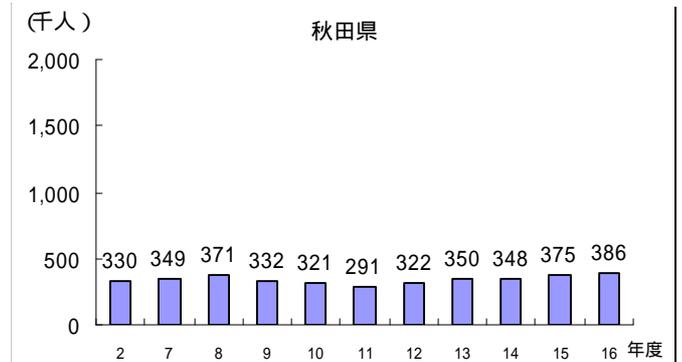
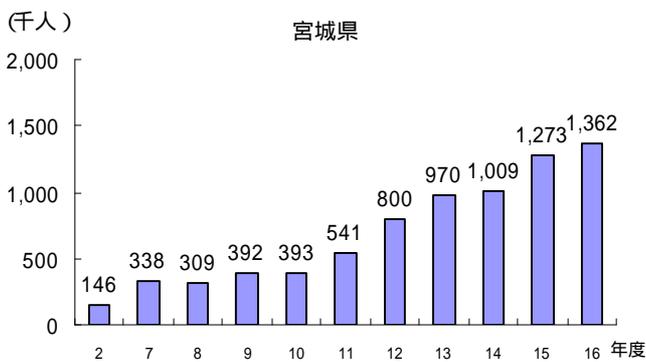
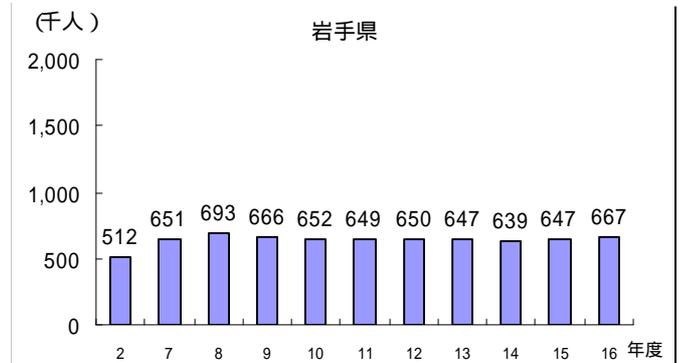
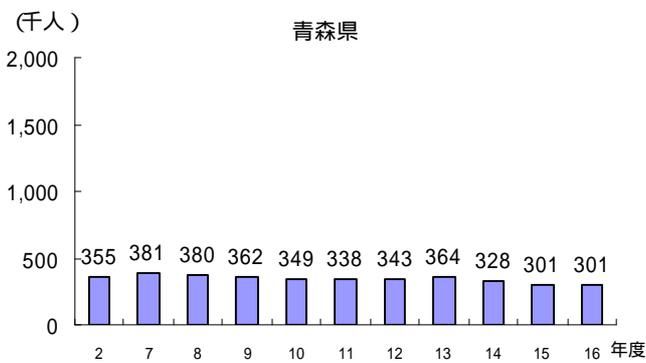
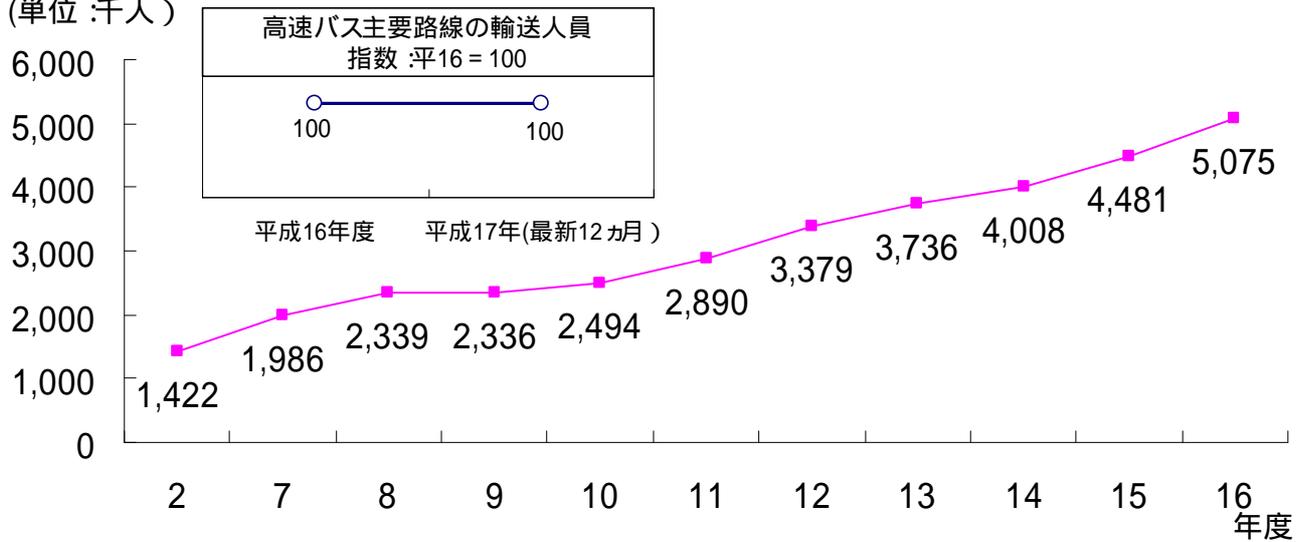


(資料) 数字で見る鉄道 2005

2 - 2 - 3 高速バス輸送人員の推移

高速バス輸送人員の推移

(単位:千人)

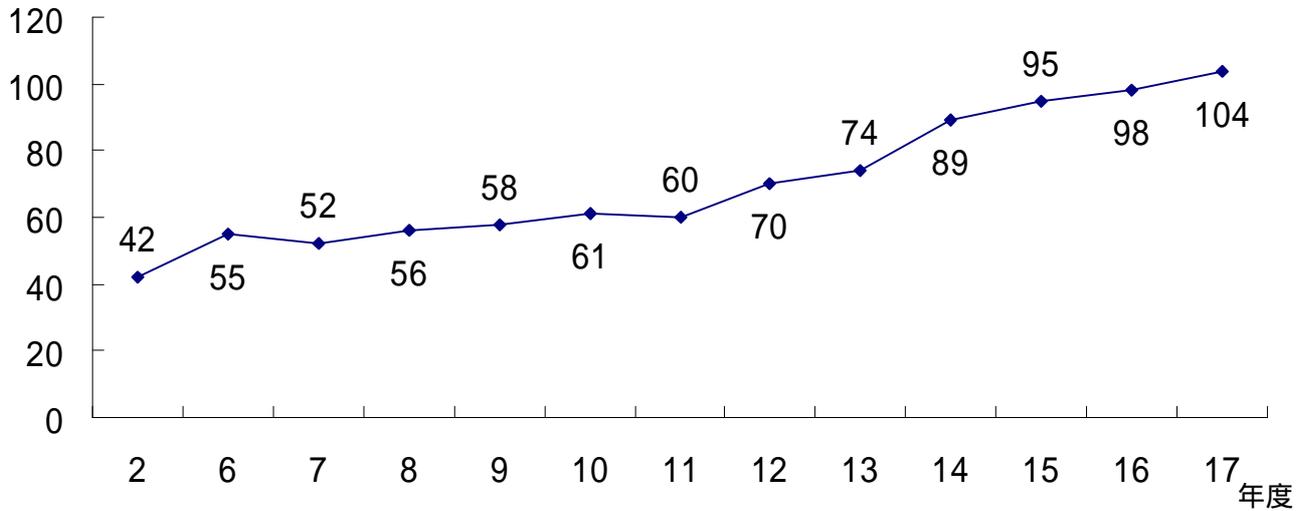


(資料) 東北運輸局

2 - 2 - 4 高速バスの運行系統

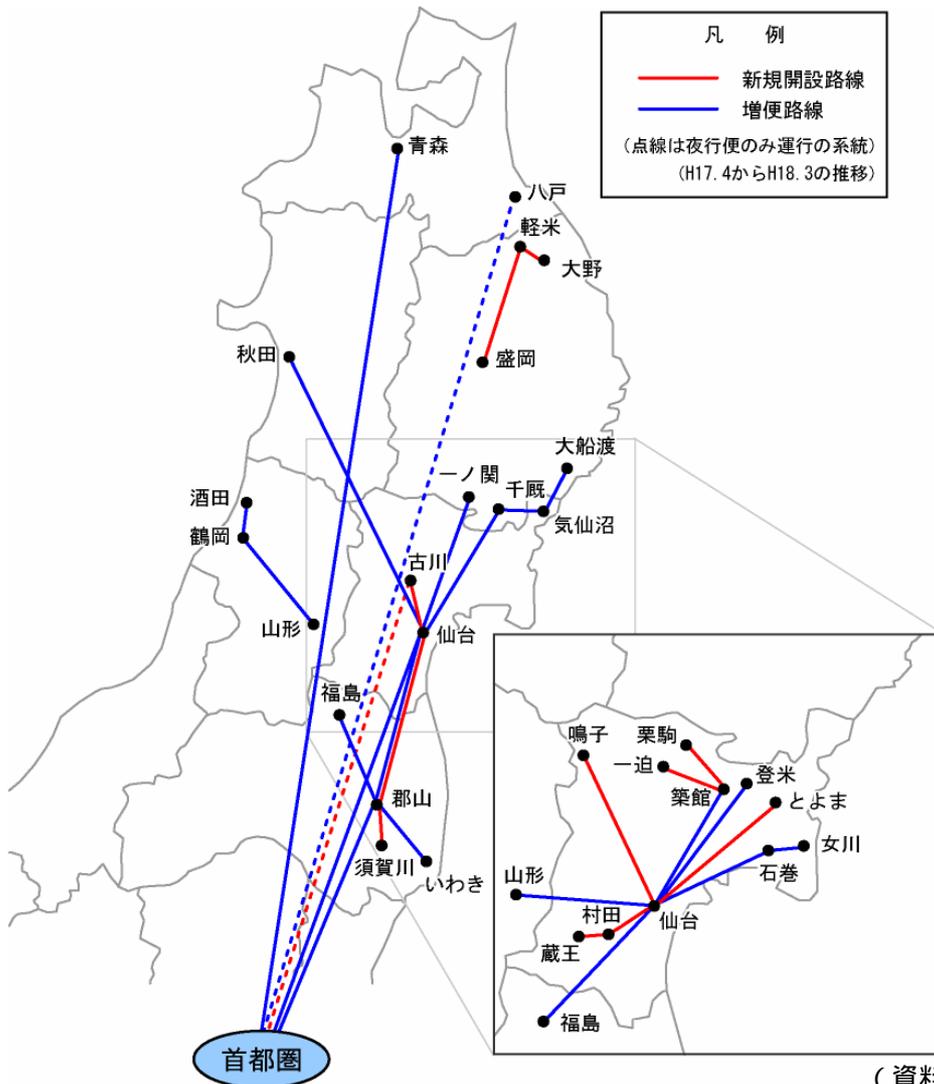
高速バス系統数の推移

(単位:系統)



(資料) 東北運輸局

平成17年度新規開設路線及び増便路線



(資料) 各社ホームページ等

高速バスの運行系統(首都圏以外)

表 首都圏以外と結ぶ高速バス(平日の運行本数)

平成18年 2月23日現在

区 間	昼	夜	区 間	昼	夜
仙台～青森(ブルーシティ)	6		盛岡～青森(あすなる)		6
仙台～八戸(うみねこ)	4		盛岡～弘前(ヨードル)		15
仙台～弘前(キャッスル)	9		盛岡～十和田湖(とわだこ)		
仙台～秋田(仙秋)	10		盛岡～花輪・大館(みちのく)		14
仙台～花輪・大館(仙台・大館)	3		盛岡～九戸～八戸(八盛)		3
仙台～横手・湯沢・大曲(グリーンライナー)	4		盛岡～久慈		7
仙台～盛岡(アーバン)	15		盛岡～九戸・久慈(久慈こはく)		1
仙台～遠野・釜石	2		盛岡～久慈・野田(スーパー久慈)		1
仙台～花巻温泉(けんじライナー)	3		盛岡～二戸(すーぱー湯～遊)		2
仙台～水沢・江刺	4		盛岡～千厩・室根		2
仙台～一ノ関	18		盛岡～宮古(106急行バス)		24
仙台～千厩・気仙沼・大船渡	4		盛岡～軽米・大野(ウインディ)		2
仙台～千厩・気仙沼	3		弘前～八戸(南軽)		1
仙台～石巻・女川	10		秋田～能代		8
仙台～築館・沢辺・金成	10		秋田～横手・湯沢		4
仙台～鳴子	1		福島～郡山		10
仙台～古川	37		福島～会津若松		8
仙台～登米	14		いわき～福島		8
仙台～とよま	5		いわき～郡山		7
仙台～築館・一迫	5		いわき～会津若松		16
仙台～築館・栗駒	4		郡山～会津若松		15
仙台～鶴岡・酒田・羽後本荘(gassan SSライナー・夕陽)	13		会津若松～野沢		2
仙台～山形	70		郡山～新潟		2
仙台空港～山形	8		会津若松～新潟		4
仙台～米沢	6		福島～郡山～大阪・京都(ギャラクシー)		1
仙台～福島	38		いわき～大阪・京都(シーガル)		1
仙台～郡山	24		山形～鶴岡・酒田(112高速バス gassan)		11
仙台～会津若松	8		山形～大阪・京都(アルカディア)		1
仙台～いわき	5		山形～新潟(Zao)		2
仙台～新潟(WEライナー)	6				
仙台～金沢(エトアール)		1			
仙台～名古屋(青葉)		1			
仙台～大阪・京都(フォレスト)		1			

冬季運休

首都圏連絡便

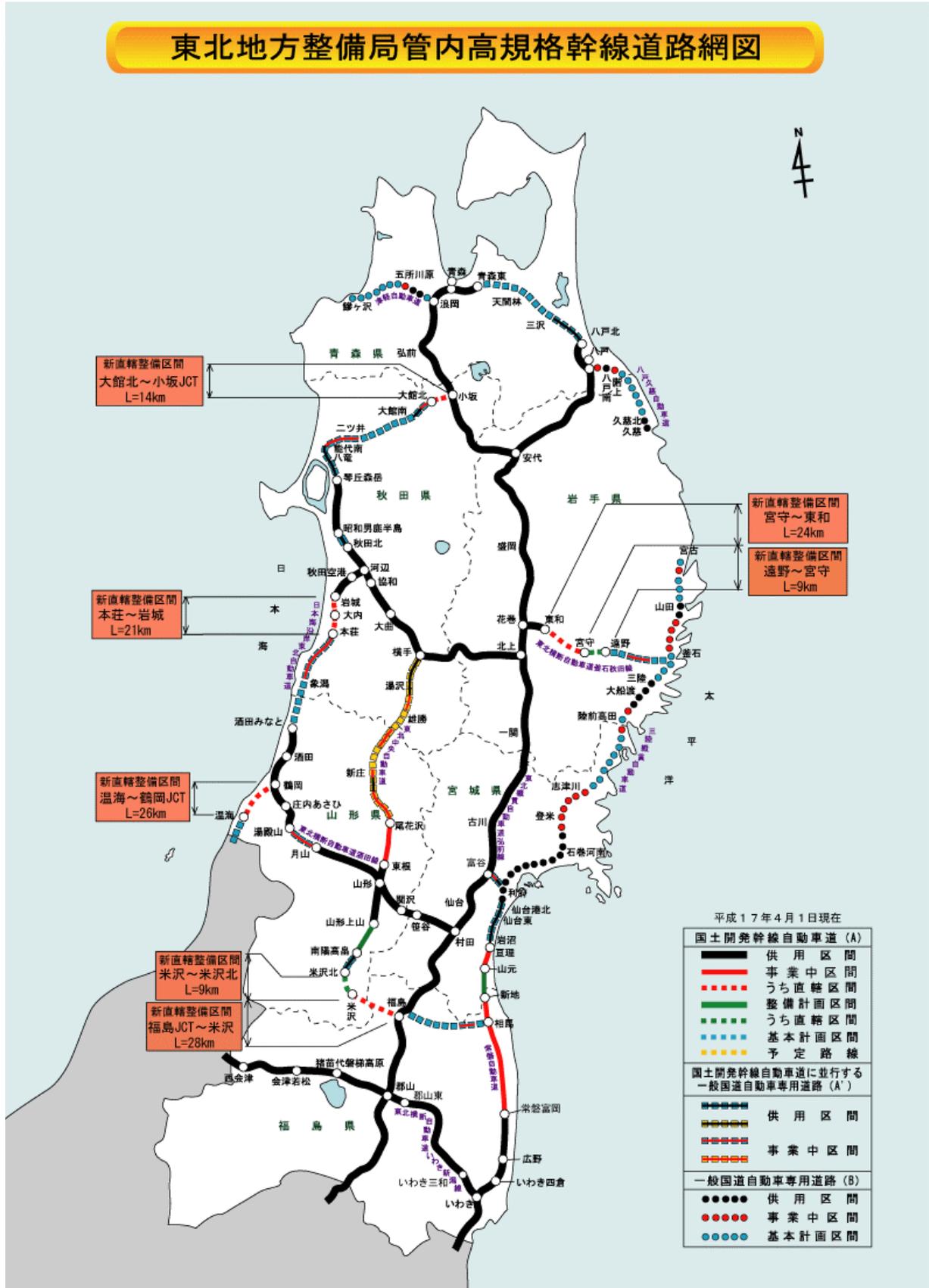
表 首都圏連絡便の運行本数

平成18年 2月23日現在

区 間	昼	夜	区 間	昼	夜
仙台～新宿(政宗)	5	1	花巻～池袋(イーハトーブ)		1
仙台～浜松町(スイート)	3	3	宮古～品川(ピーム1)		1
仙台～新宿・さいたま 館林		1	釜石～池袋(けせんライナー)		1
仙台～さいたま(ミリオンライナー)	1	1	青森～東京(ラ・フォーレ)		2
仙台～横浜(ドリーム横浜・仙台)		1	青森～渋谷(ブルースター)		1
仙台～高崎・前橋(仙台ライナー)		1	青森～上野(青森上野)		1
仙台～成田空港・TDL(ポーラスター)		1	弘前～品川(スカイターン)		1
古川～東京(ドリームササニシキ)		1	弘前～横浜(ノクターン)		1
福島～新宿(あぶくま)	6		五所川原～品川(ノクターン)		2
郡山～新宿(あぶくま)	6		八戸～東京(シリウス)		2
会津若松・喜多方～新宿(夢街道会津)	8		能代～池袋(ジュピター)		1
喜多方～新宿(夢街道会津)	2		秋田～新宿(フローラ)		2
福島・郡山～成田空港	4		田沢湖～横浜(レイク&ポート)		1
いわき～東京(いわき)	24		羽後本荘～東京(ドリーム鳥海)		1
浪江～東京(いわき)	2		新庄～浜松町(TOKYOサンライズ)		1
いわき～東京TDL	1		酒田～渋谷(夕陽)		1
いわき～日立・東京TDL	1		山形～浜松町(レインボー)		1
盛岡～本厚木・横浜		1	山形～新宿(さくらんぼ)		2
盛岡～東京(らくちん)		1			

(資料) 各社ホームページ等

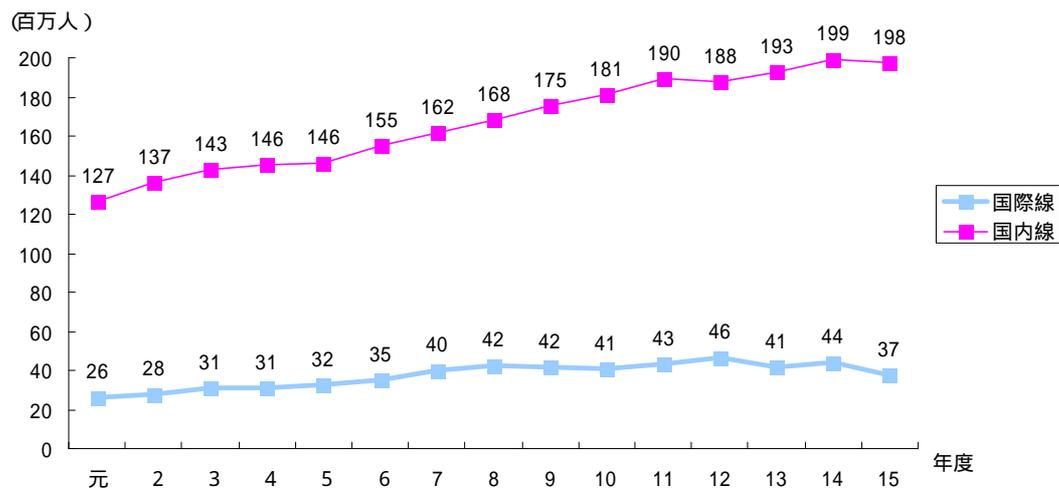
2 - 2 - 5 高規格幹線道路網図



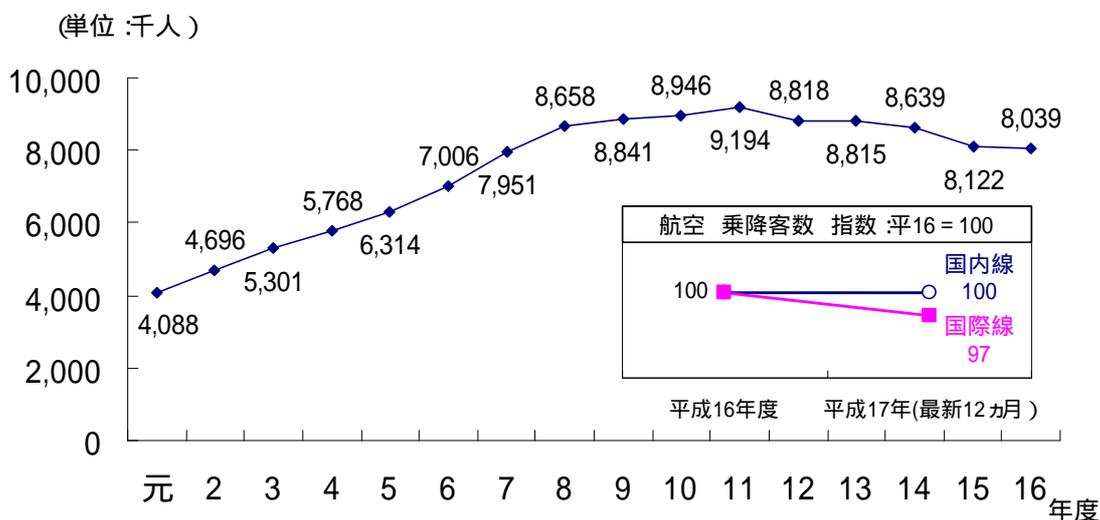
(資料) 東北地方整備局 平成17年4月1日現在

2 - 2 - 6 空港利用者数の推移

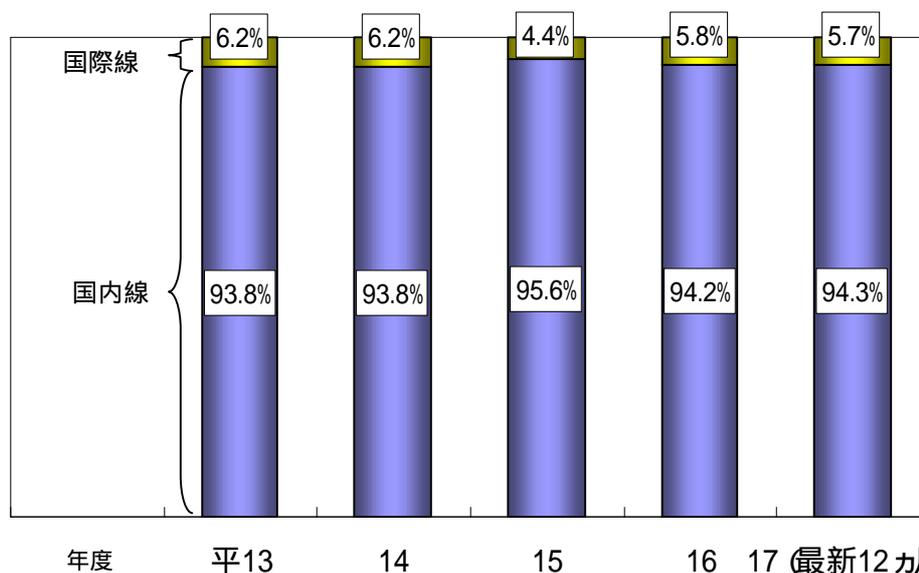
全国の利用者数



東北の利用者数

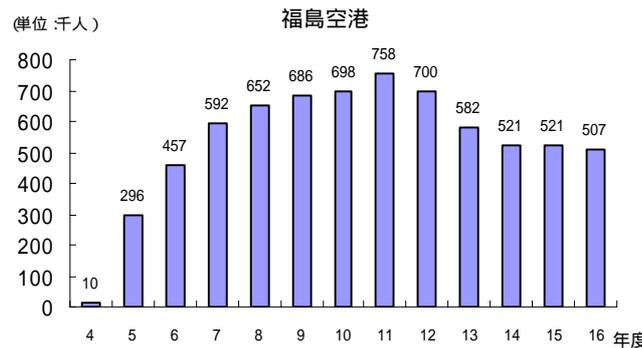
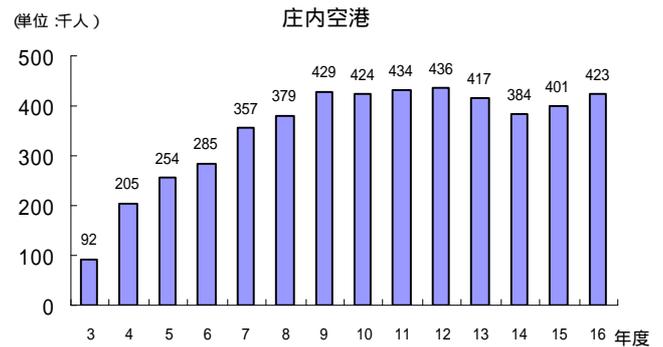
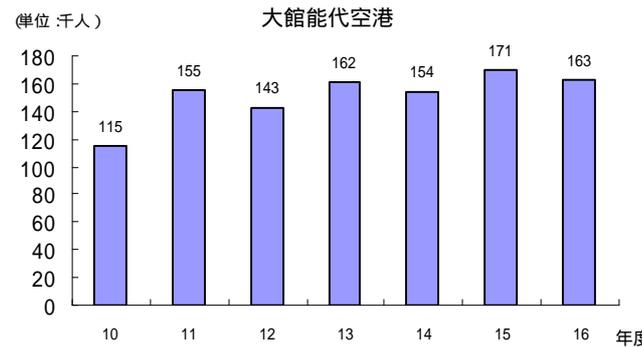
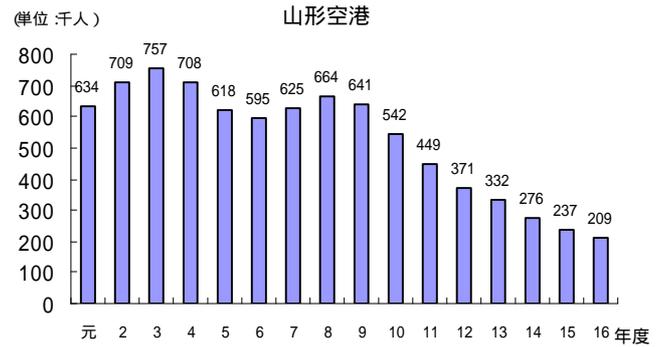
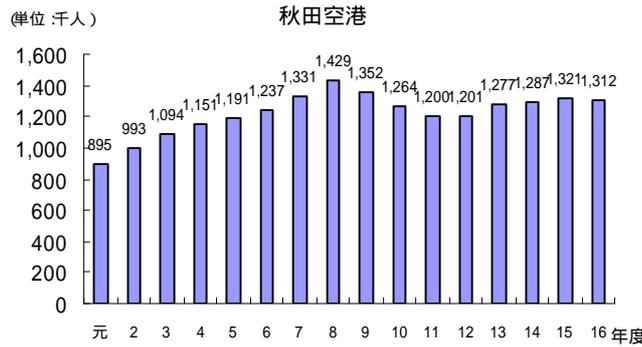
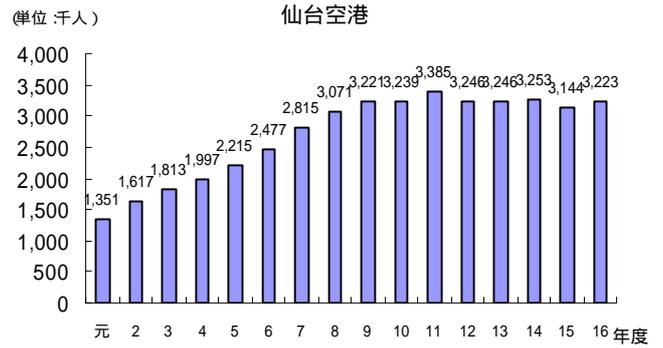
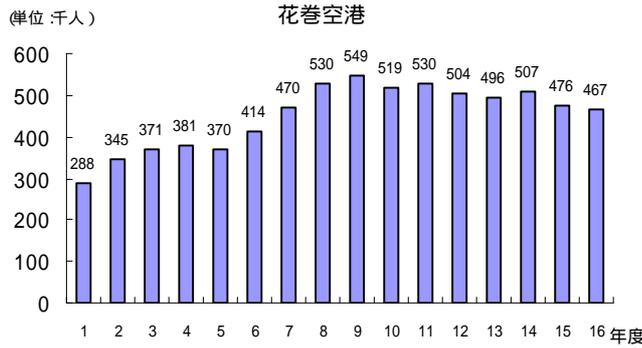
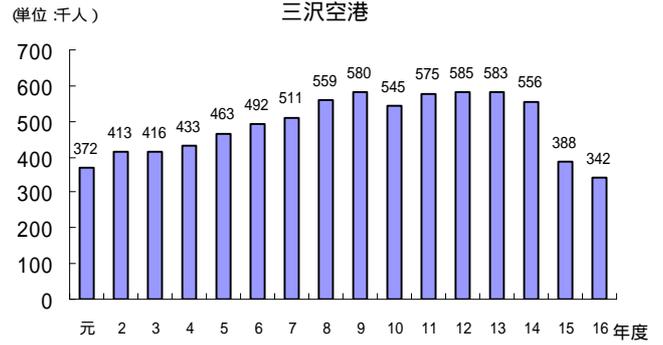
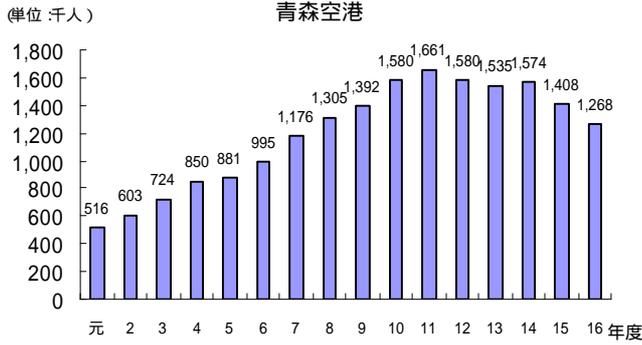


東北各空港の国内線・国際線利用者数構成比



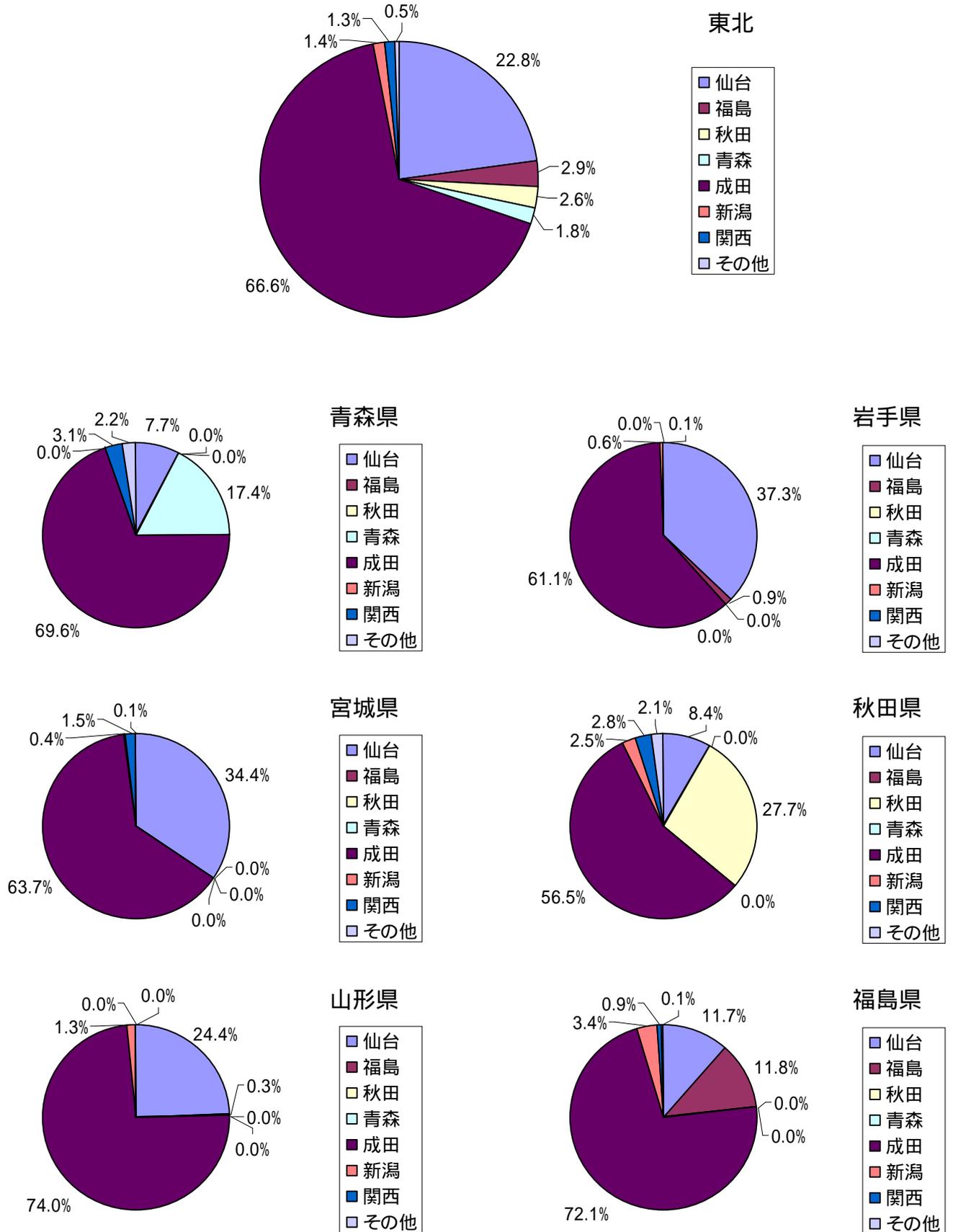
(資料) 東北運輸局

空港別利用者数推移



(資料) 東北運輸局

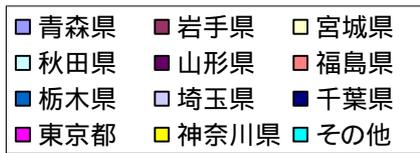
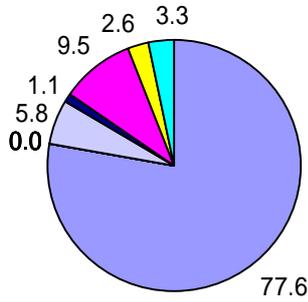
2 - 2 - 7 日本人出国者の利用空港内訳
居住地別出国空港別旅客数（平成 16 年度）



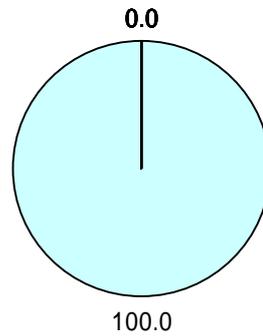
（資料）国際航空旅客流動調査

出国空港別居住地構成比率（平成 16 年度）

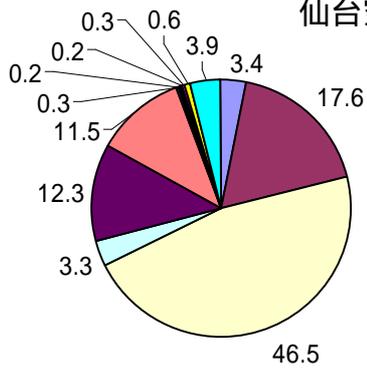
青森空港



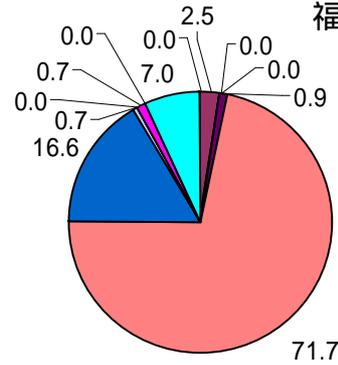
秋田空港



仙台空港

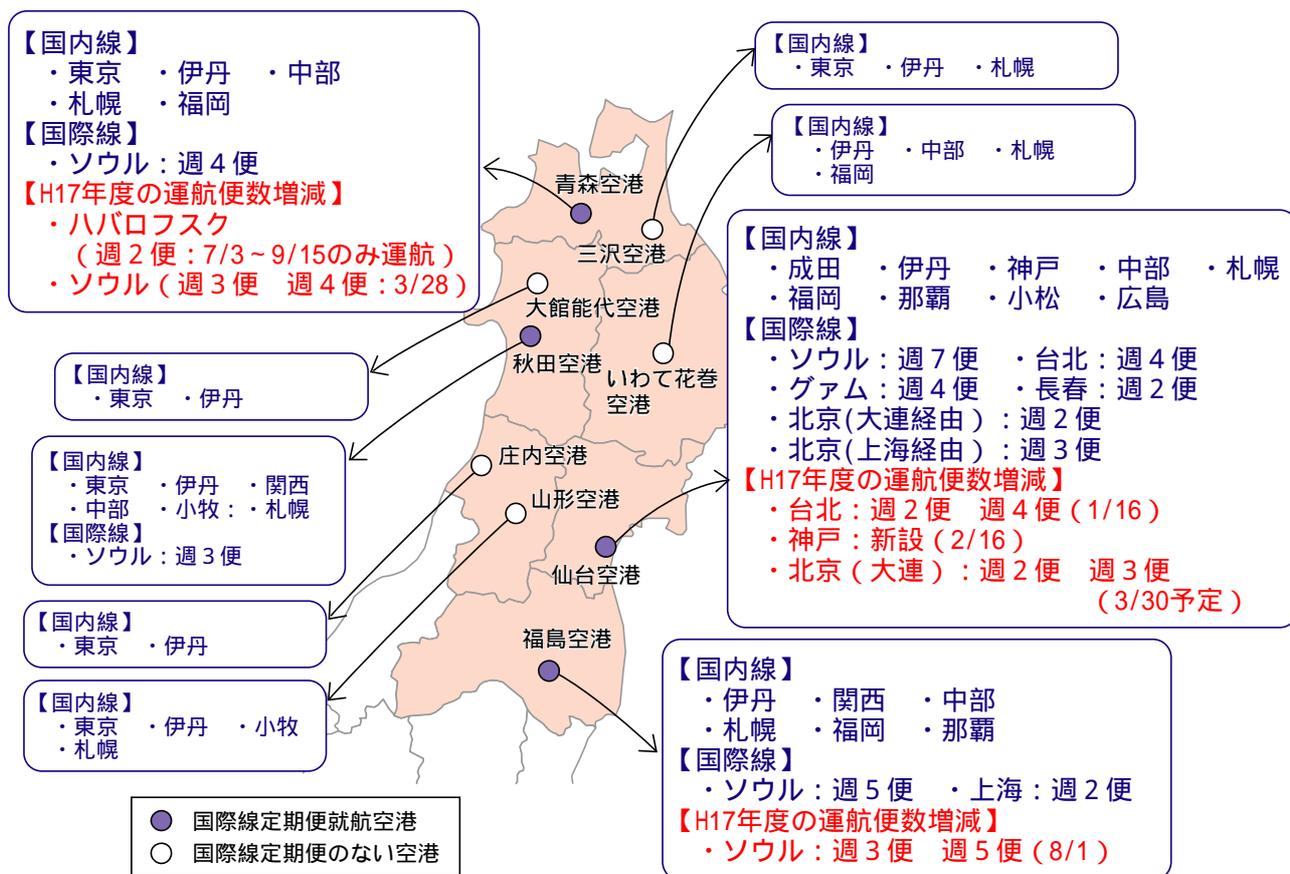


福島空港



(資料) 国際航空旅客流動調査

2 - 2 - 8 平成17年度の航空ネットワークの変化



(資料) 東北運輸局

2 - 2 - 9 東北地方の各空港の国際チャーター便利用者数

(単位：人/年)

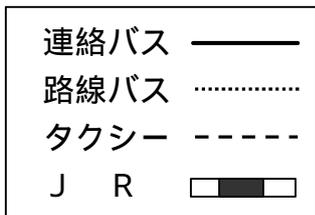
	平成16年度	平成17年度	17年度の主な運航先
青森	20,168	22,580	台湾・韓国・ハワイ・中国
三沢	0	0	
花巻	13,903	18,041	台湾・ハワイ・中国・香港
仙台	26,457	22,133	ハワイ・香港・タイ
秋田	11,285	13,067	台湾・中国・カンボジア
大館能代	0	0	
山形	1,523	2,101	台湾・韓国・タイ
庄内	1,344	798	中国・韓国
福島	4,960	6,068	台湾・中国・韓国・グアム

注)平成16年度は年度合計値、平成17年度は花巻空港、山形空港、庄内空港については2月末まで、その他の空港は1月末までの実績

(資料) 各空港管理事務所

2 - 2 - 10 空港アクセスの概況

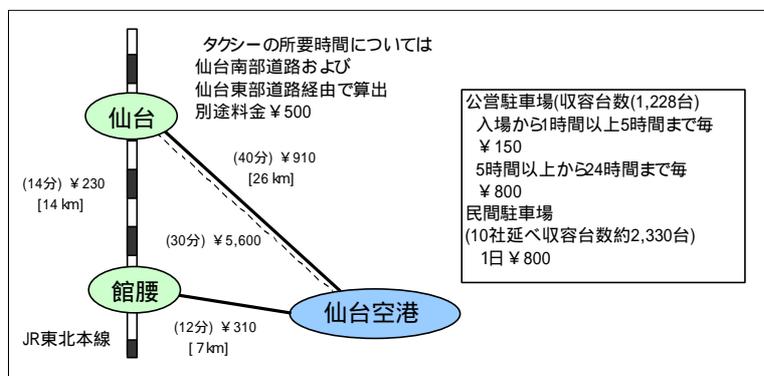
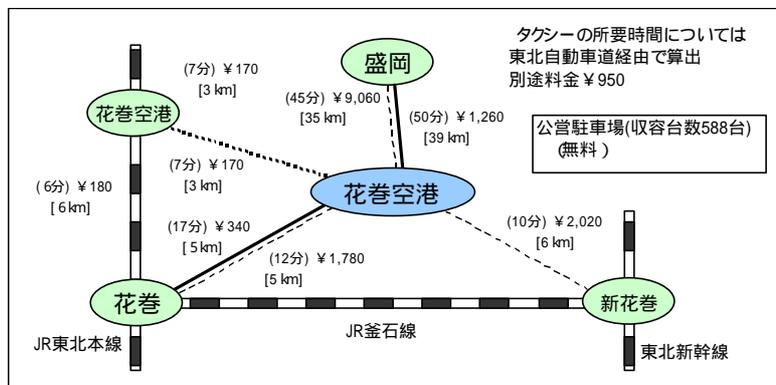
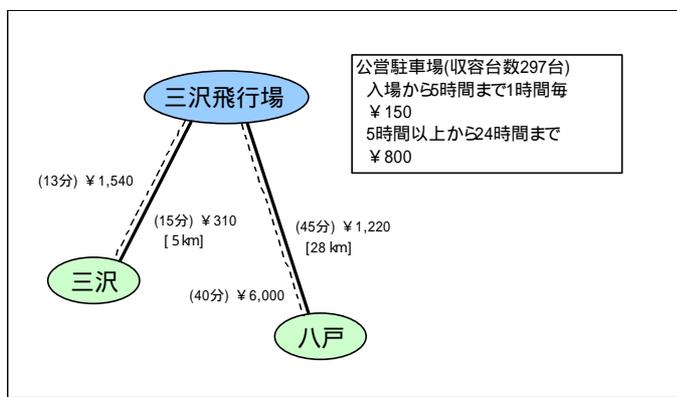
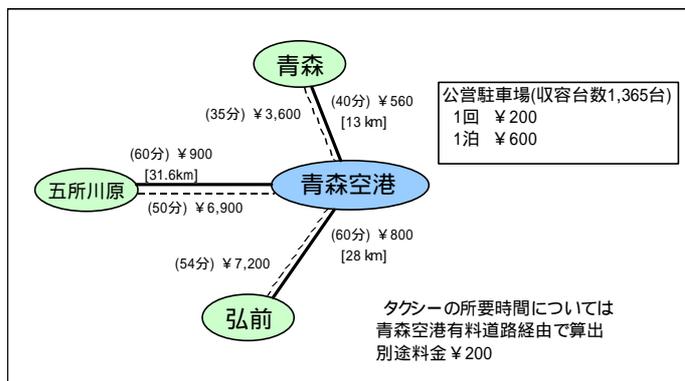
凡例



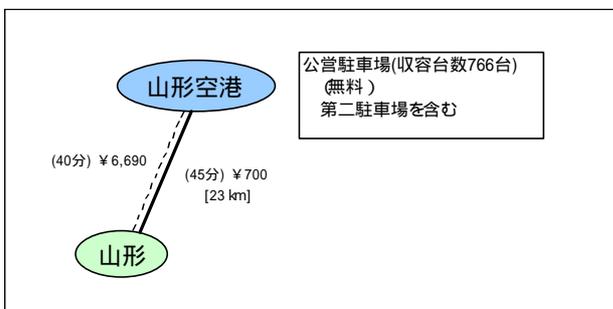
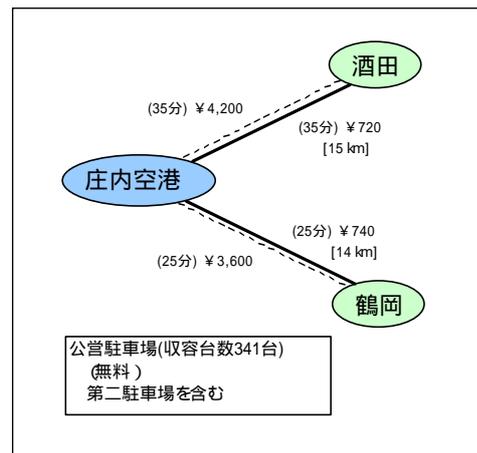
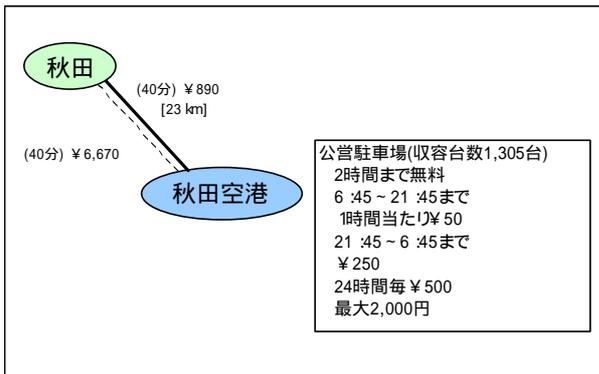
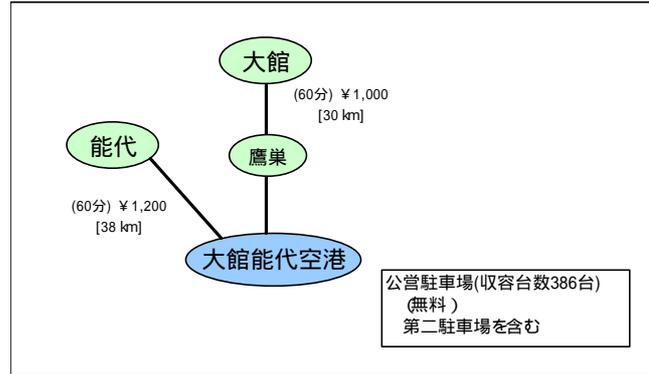
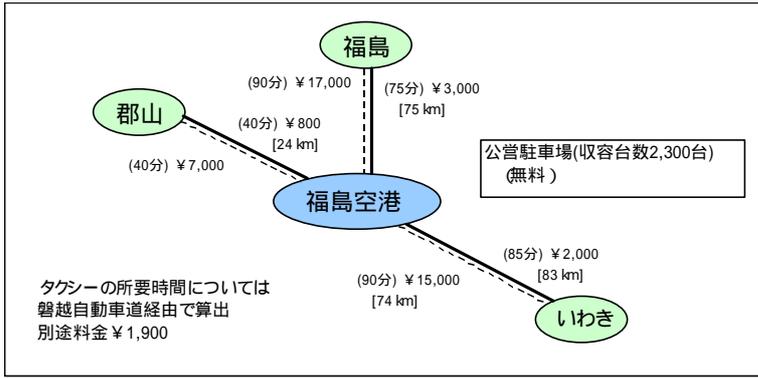
() は所要時間

[] は距離

アクセス状況は平成 16 年 4 月現在



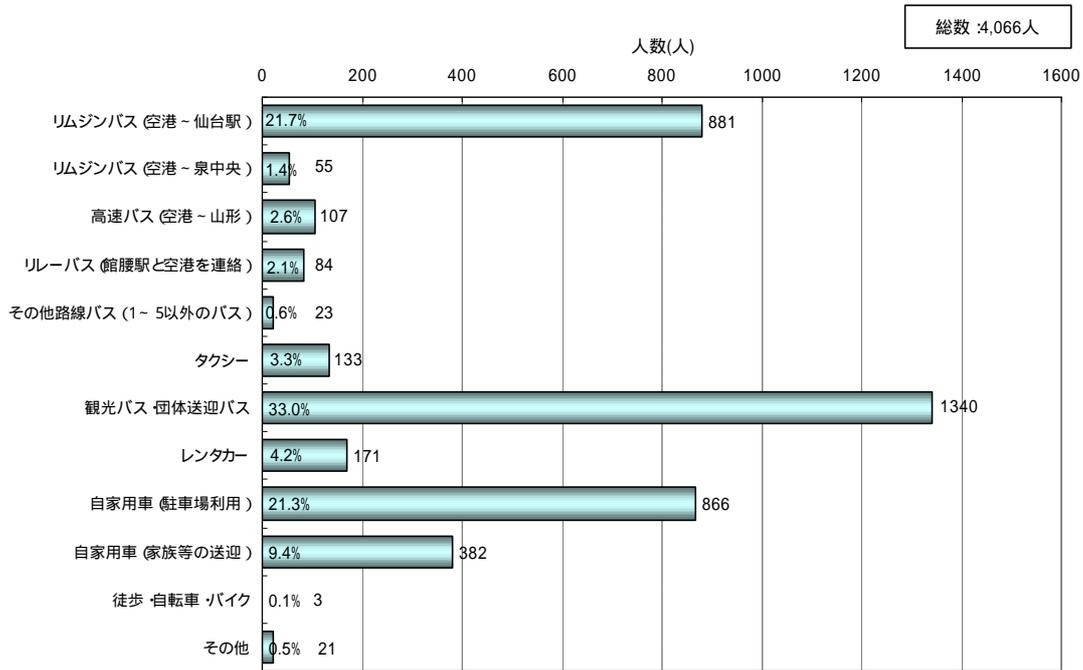
(資料) 東北運輸局



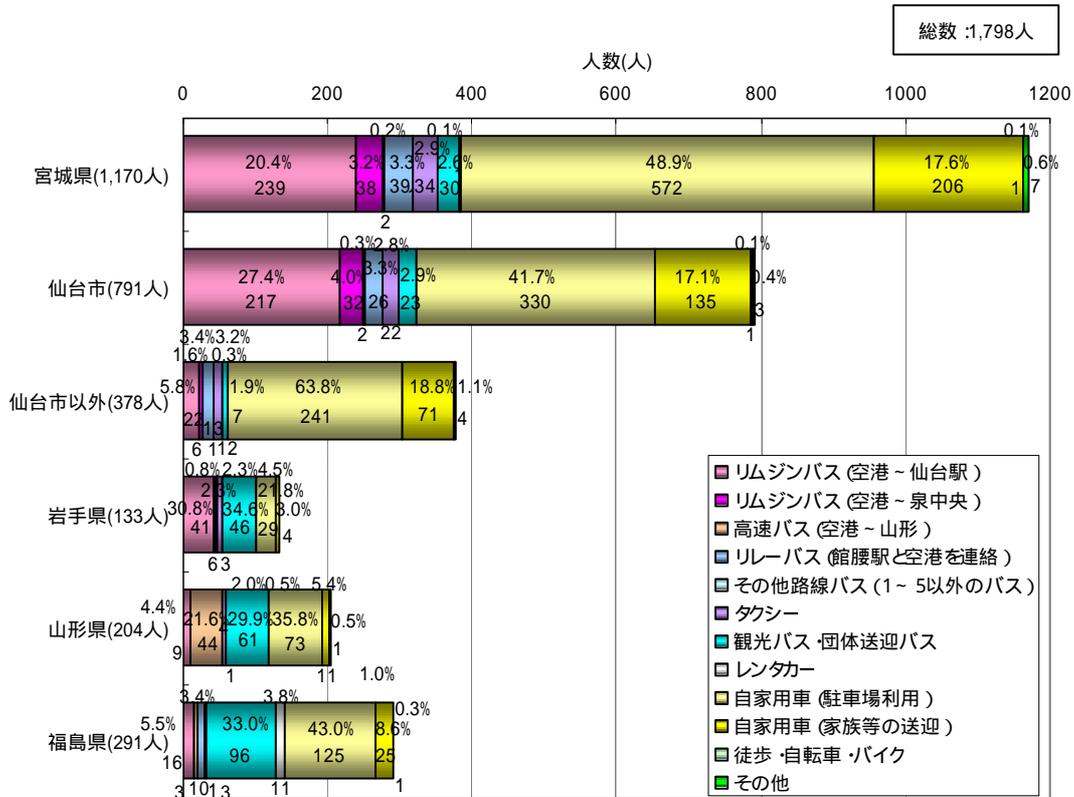
(資料) 東北運輸局

2 - 2 - 11 仙台空港のアクセス・イグレス交通

アクセス・イグレス交通の実態



居住地別にみたアクセス・イグレス交通 (東北各県居住者)



(資料) 東北運輸局 平成 17 年度 公共交通活性化総合プログラム

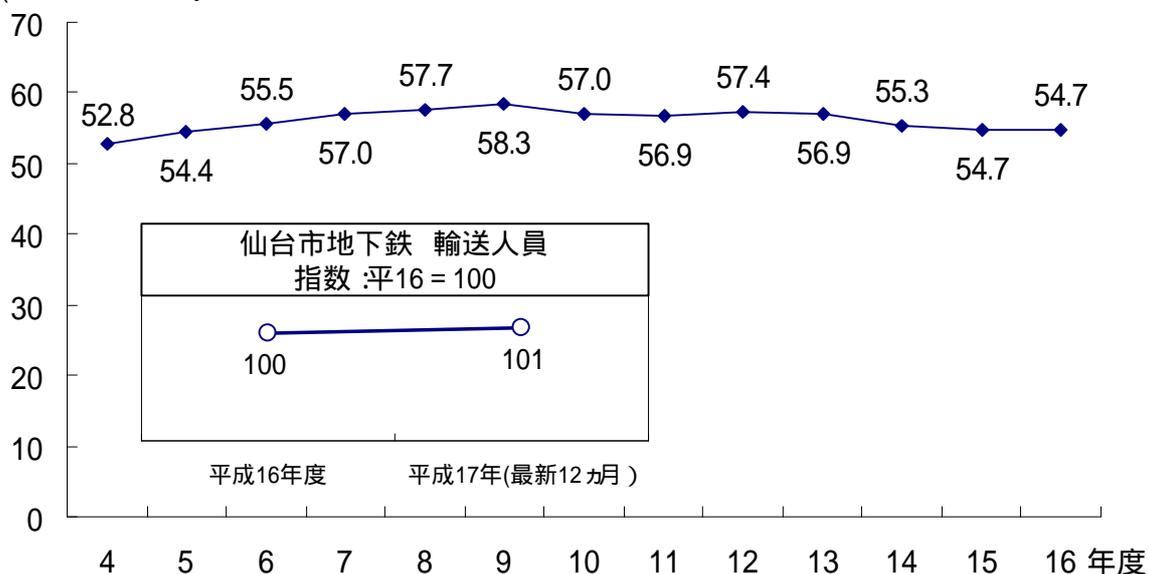
「仙台空港アクセス鉄道開業に伴う広域交流プロジェクト調査結果」

2 - 3 域内流動

2 - 3 - 1 鉄道輸送人員の推移

仙台市営地下鉄の輸送人員

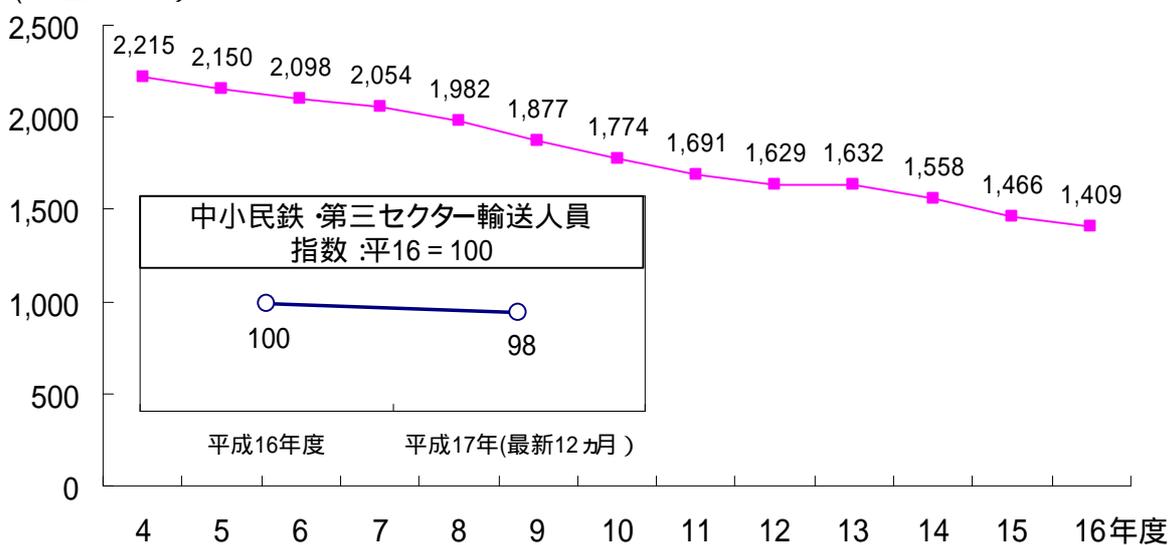
(単位 :百万人)



(資料) 東北運輸局

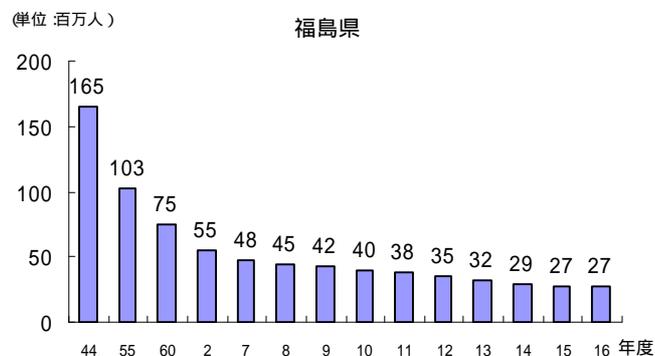
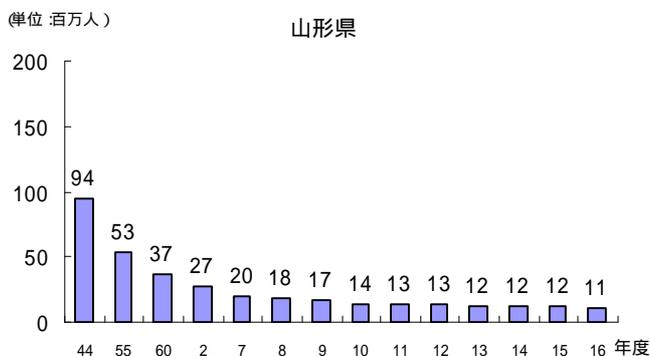
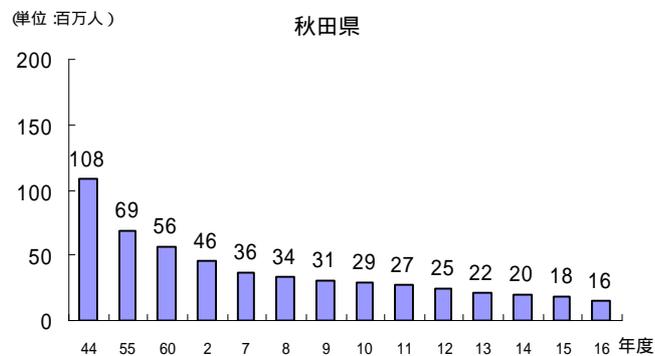
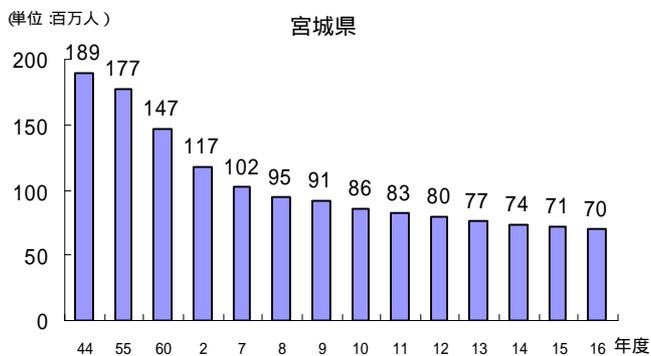
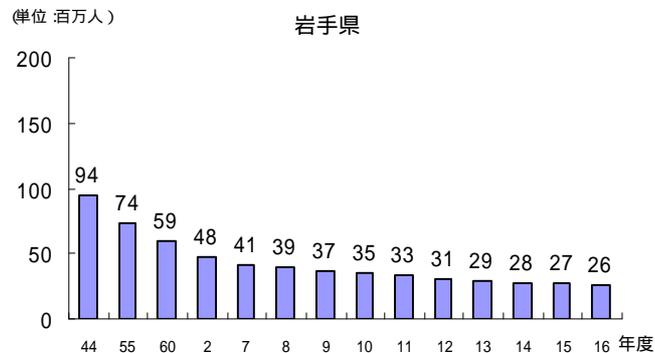
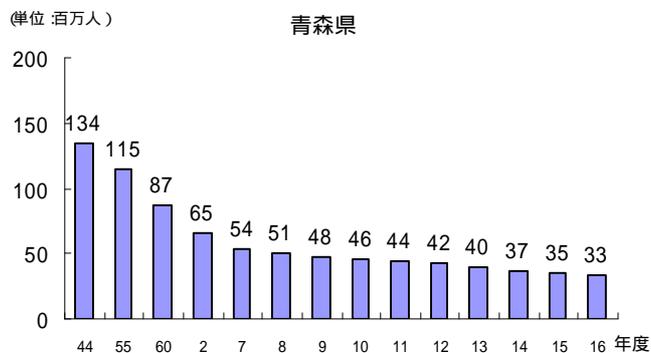
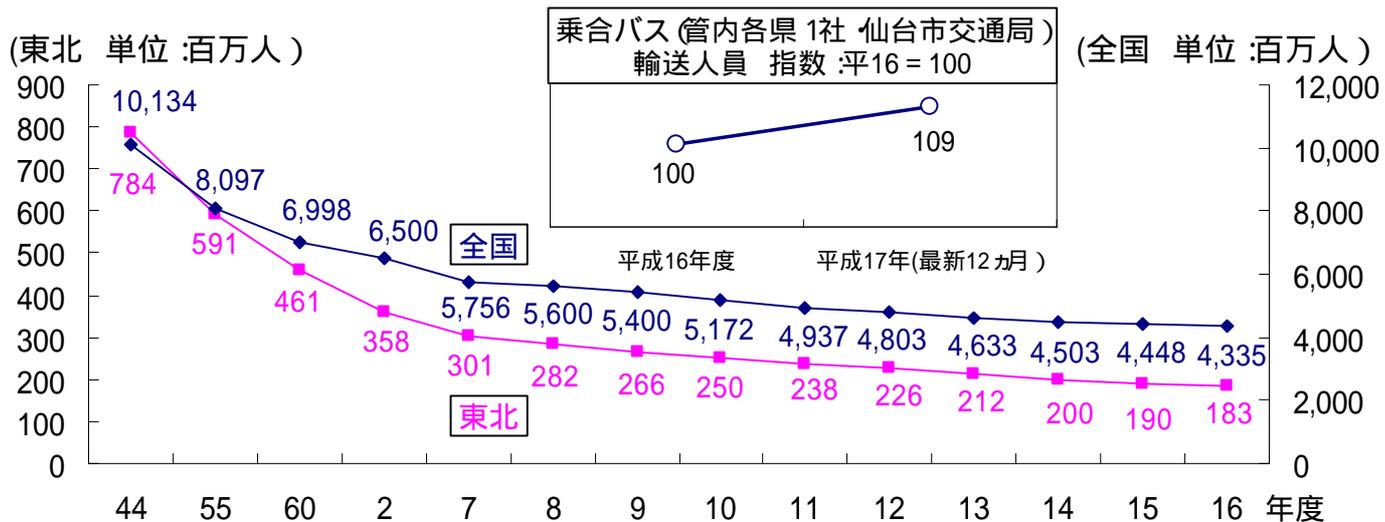
民鉄旅客輸送の推移

(単位 :千人)



(資料) 東北運輸局

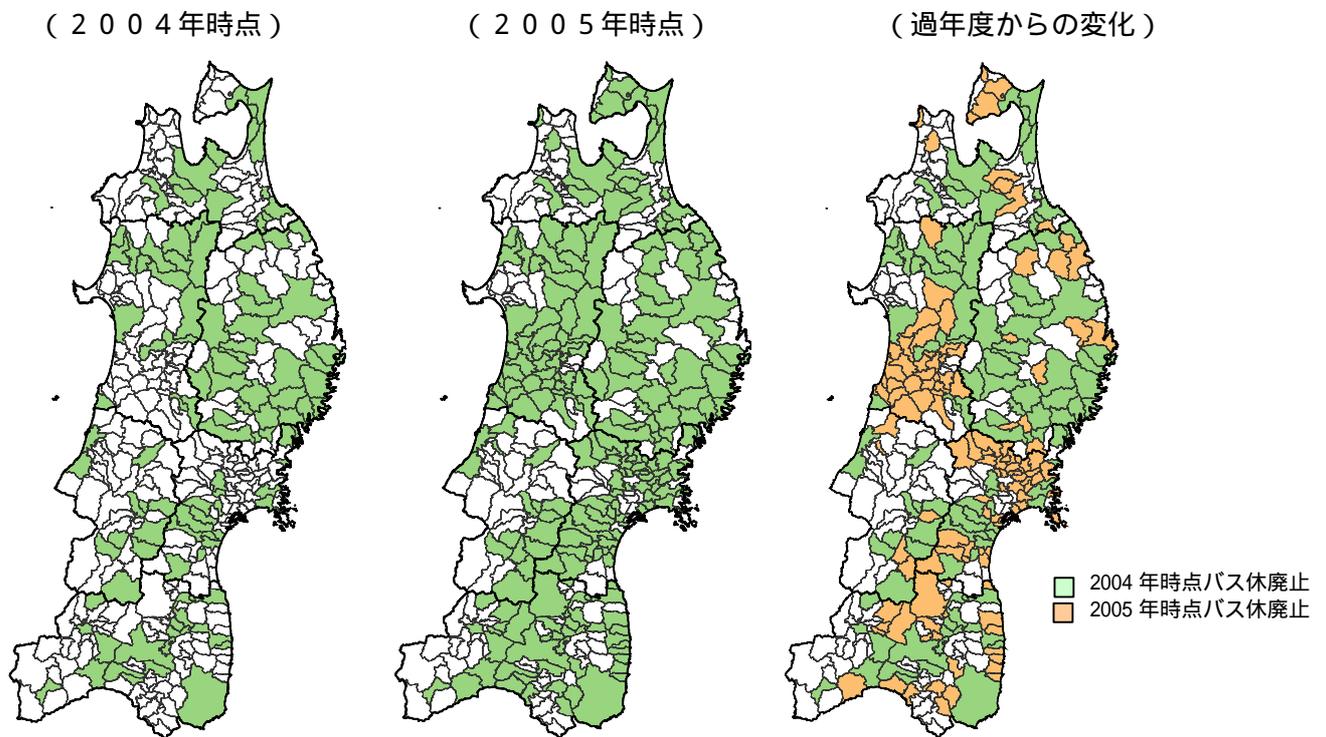
2 - 3 - 2 乗合バス輸送人員の推移



(資料) 東北運輸局

2 - 3 - 3 乗合バス路線廃止（不採算）状況

乗合バス休廃止状況（休廃止のある市町村）

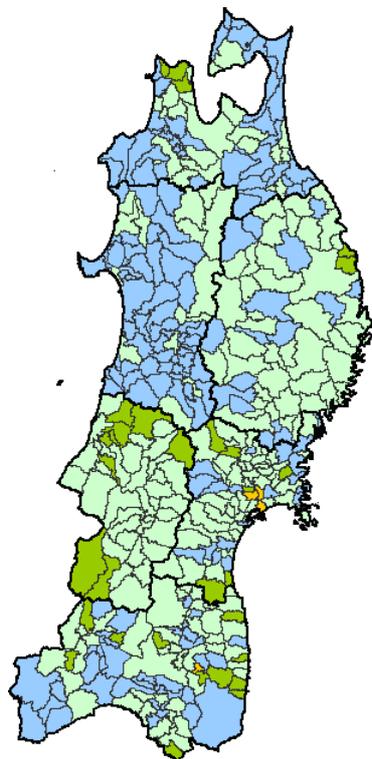


		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計
2004年	市町村数	67	58	71	69	44	90	399
	バス退都市町村数	14	27	13	17	11	18	100
	退出割合	20.9%	46.6%	18.3%	24.6%	25.0%	20.0%	25.1%
2005年	市町村数	47	52	44	28	38	84	293
	バス退都市町村数	16	34	31	16	16	43	156
	退出割合	34.0%	65.4%	70.5%	57.1%	42.1%	51.2%	53.2%

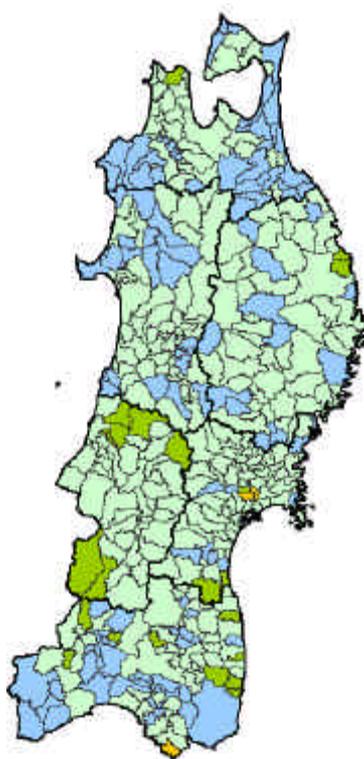
(資料) 東北運輸局

バスサービス供給状況

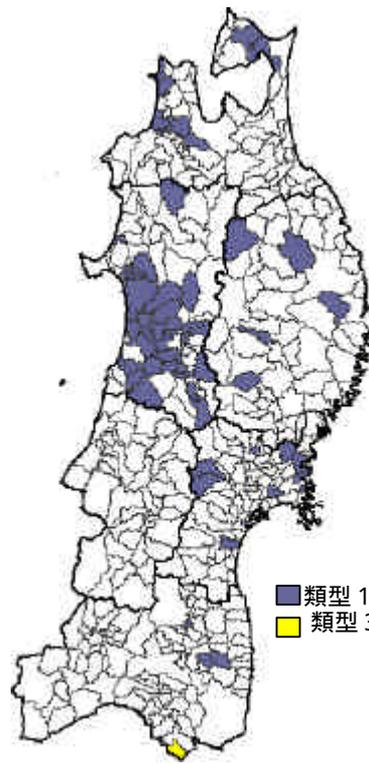
(2004年時点)



(2005年時点)



(過年度からの変化)



■ 類型 1から類型 2へ
■ 類型 3から類型 4へ

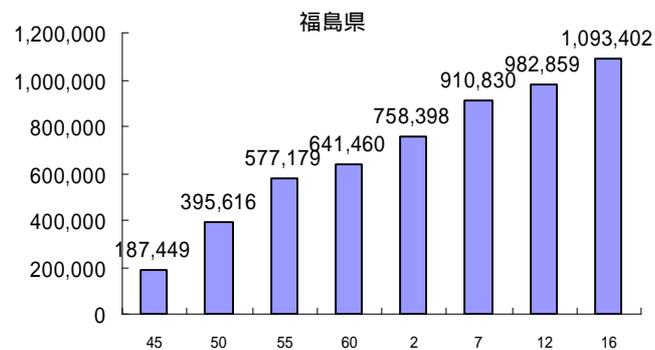
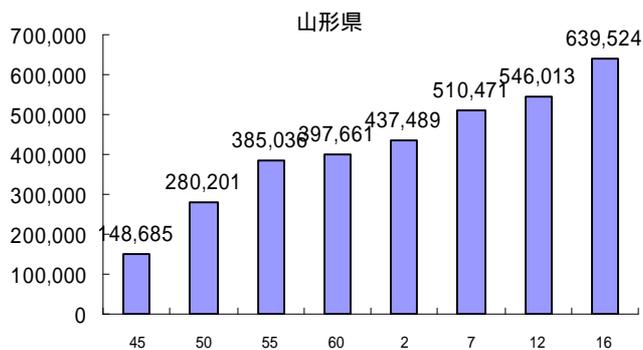
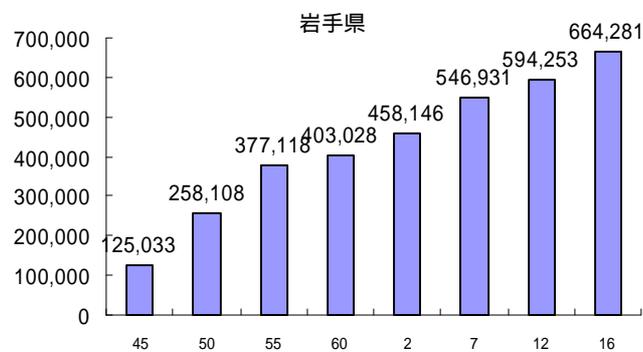
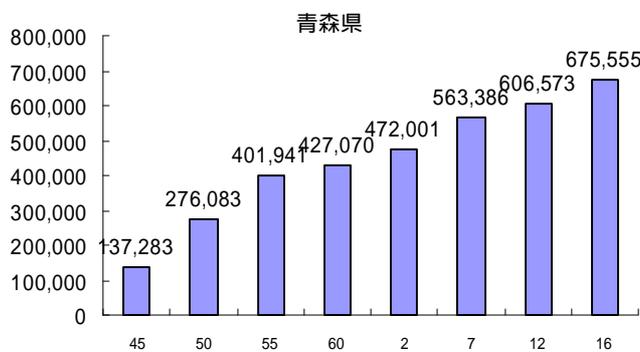
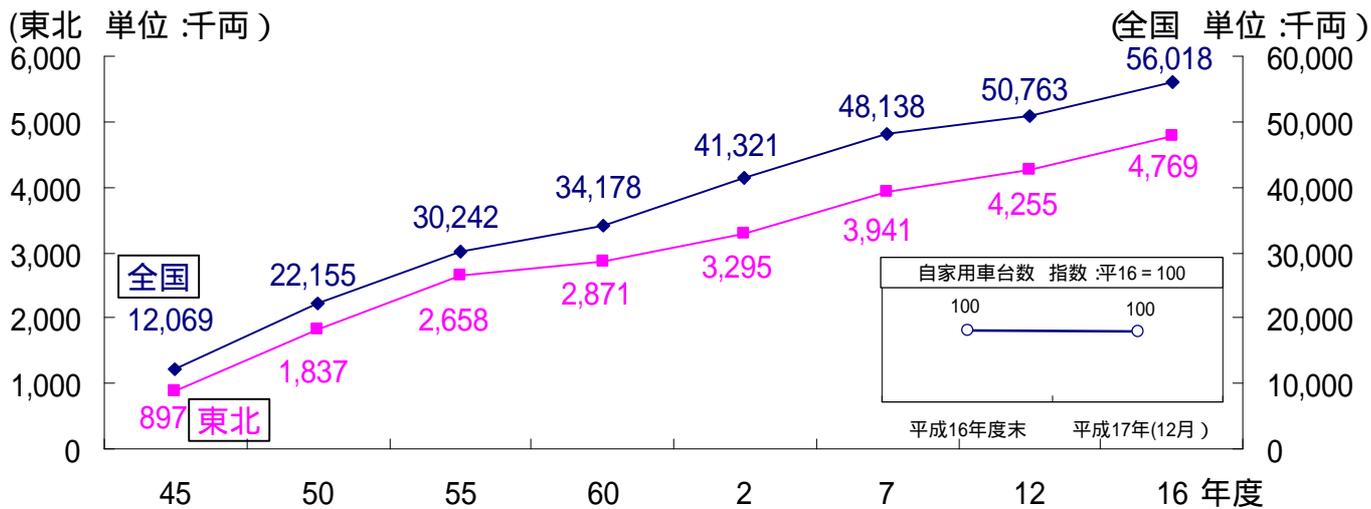
		青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北合計	東北割合
2004年	■ 類型 1: 乗合バス」が運行	42	16	20	55	0	39	172	43.1%
	■ 類型 2: 乗合バス」及び「その他のバス」が運行	22	40	42	14	35	39	192	48.1%
	■ 類型 3: 「その他のバス」が運行	3	2	6	0	9	11	31	7.8%
	■ 類型 4: 乗合バス」, 「その他のバス」のどちらも運行していない	0	0	3	0	0	1	4	1.0%
2005年	■ 類型 1: 乗合バス」が運行	28	13	11	14	0	34	100	35.3%
	■ 類型 2: 乗合バス」及び「その他のバス」が運行	18	37	28	4	31	40	158	55.8%
	■ 類型 3: 「その他のバス」が運行	1	2	3	0	7	9	22	7.8%
	■ 類型 4: 乗合バス」, 「その他のバス」のどちらも運行していない	0	0	2	0	0	1	3	1.1%

注 1: 乗合バス」は、道路運送法第 4 条に基づき一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けて運行しているもの

注 2: 「その他のバス」は、
道路運送法第 21 条に基づく乗合許可を受けた一般貸切旅客運送事業者による運送
道路運送法第 80 条に基づく有償運送の許可を受けた自家用自動車による運送
従って、地方公共団体が運行する無料バス等は含まない。

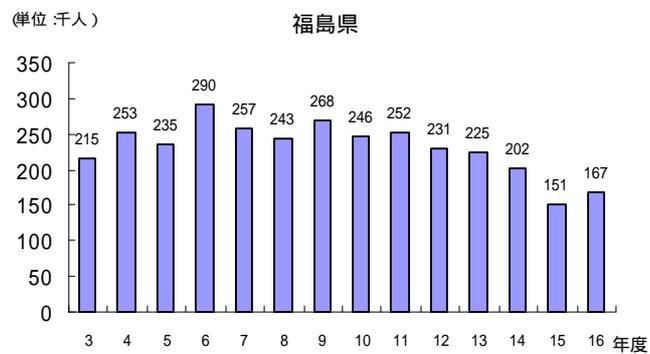
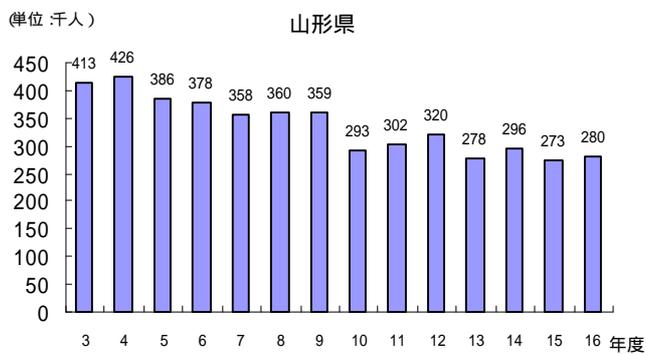
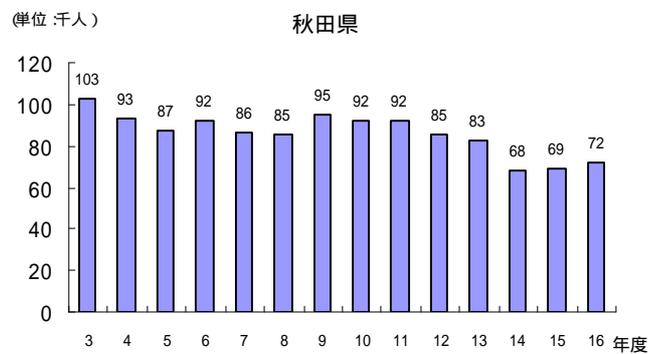
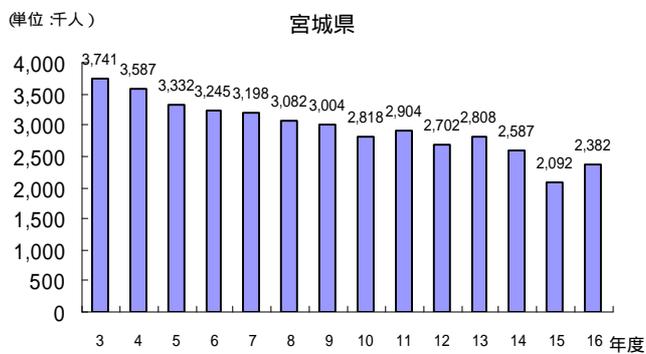
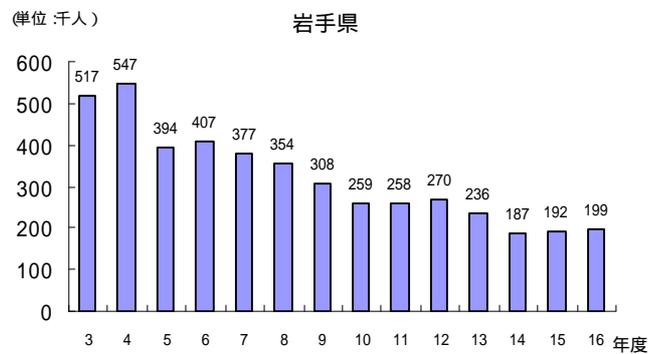
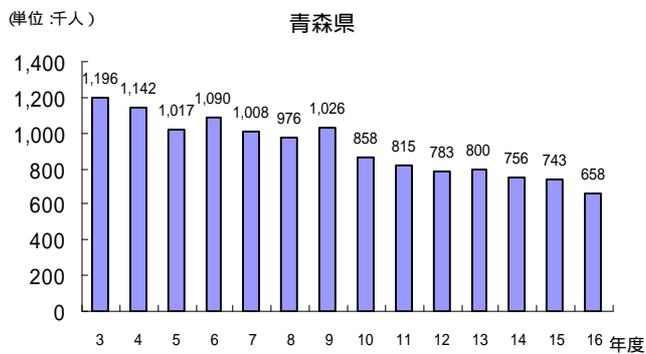
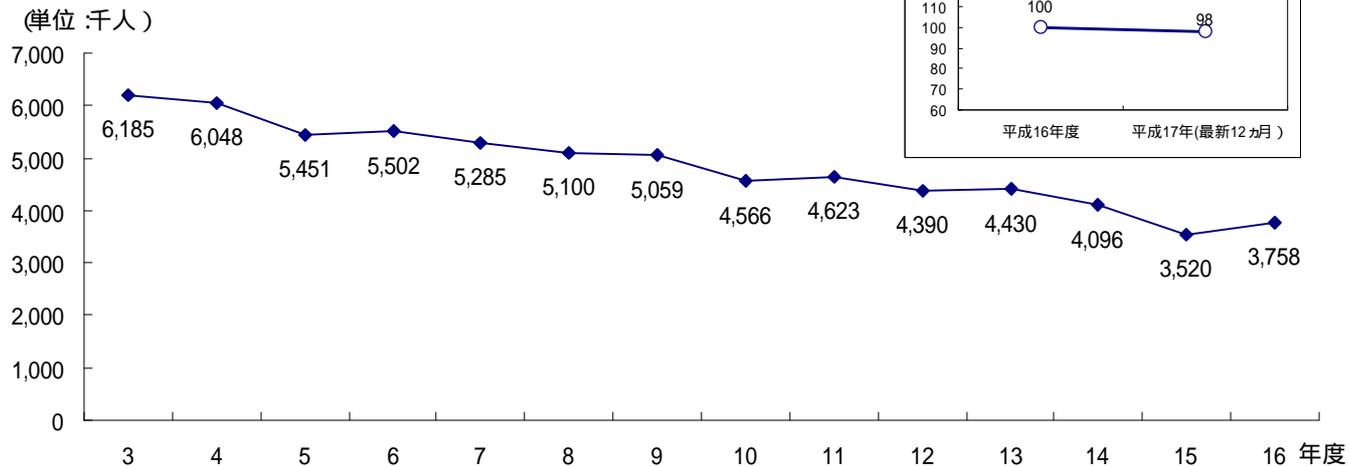
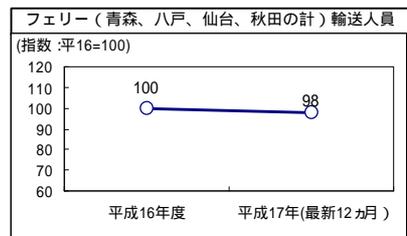
(資料) 東北運輸局

2 - 3 - 4 自家用車数の推移



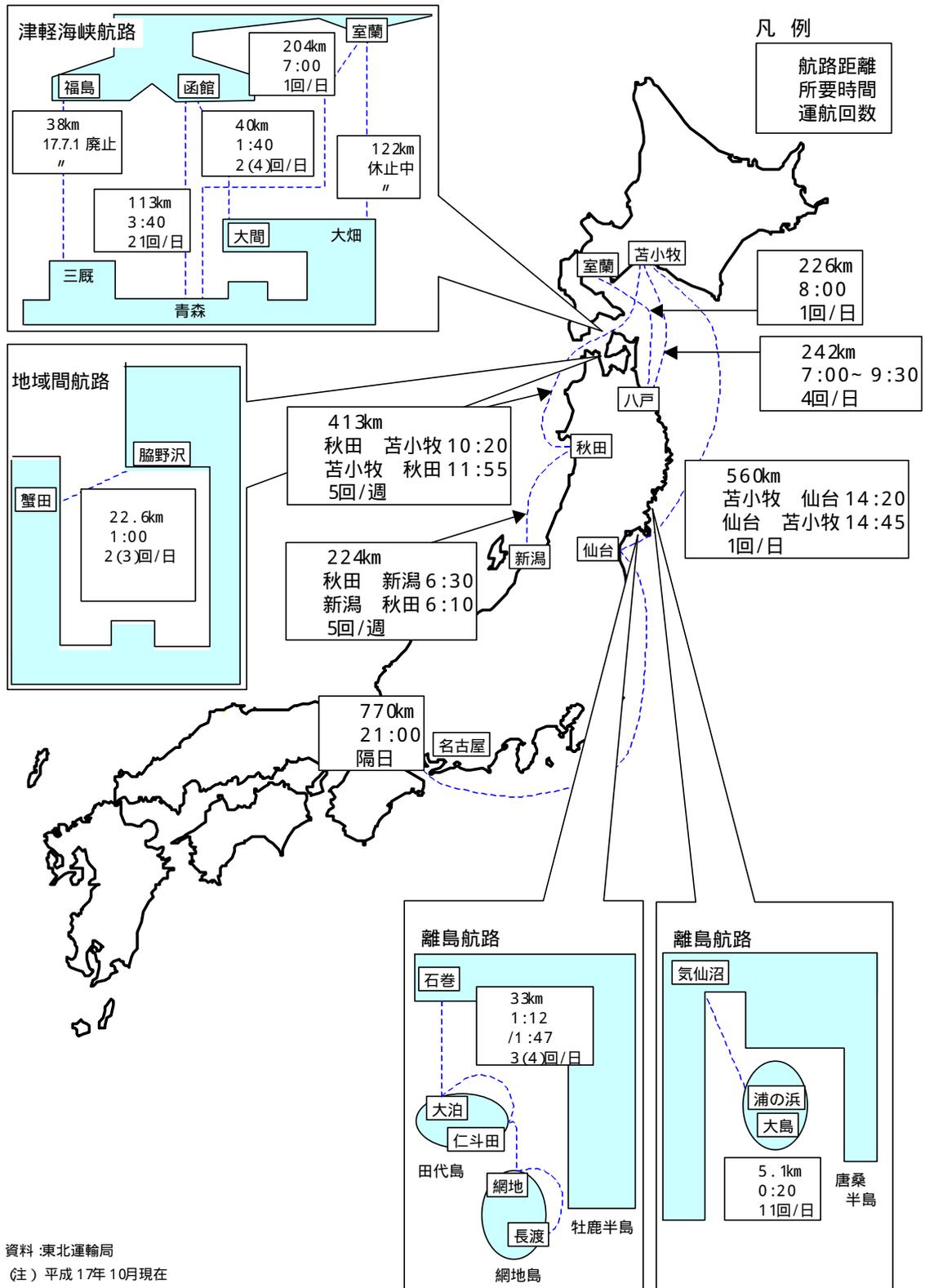
(資料) 東北運輸局

2 - 3 - 5 旅客船輸送人員の推移



(資料) 東北運輸局

2 - 3 - 6 フェリー航路の現況



資料:東北運輸局
(注)平成17年10月現在

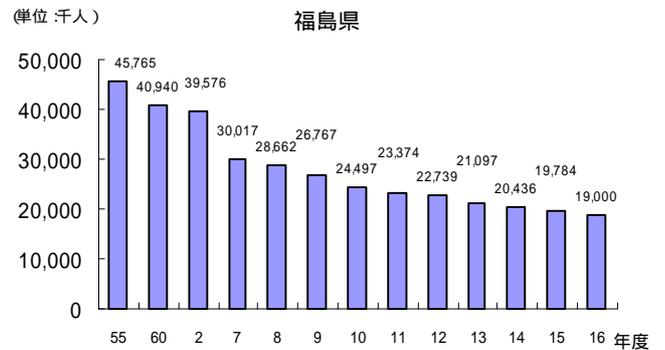
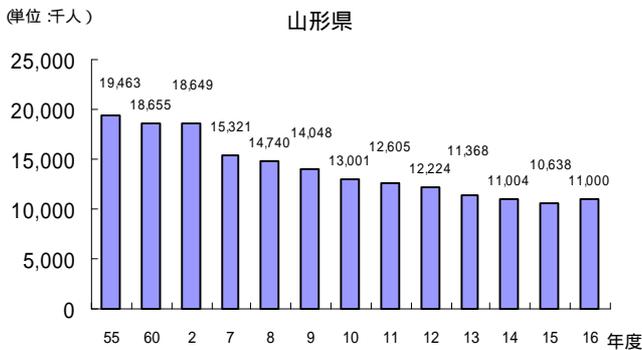
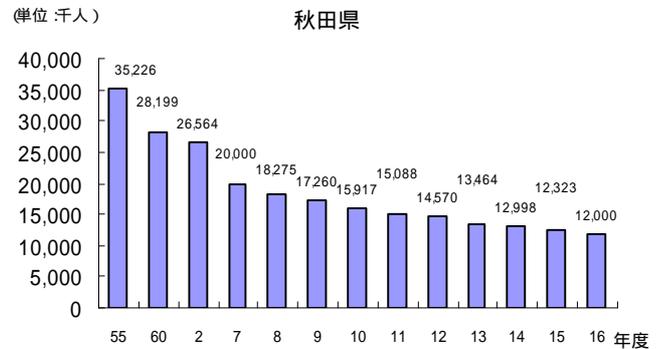
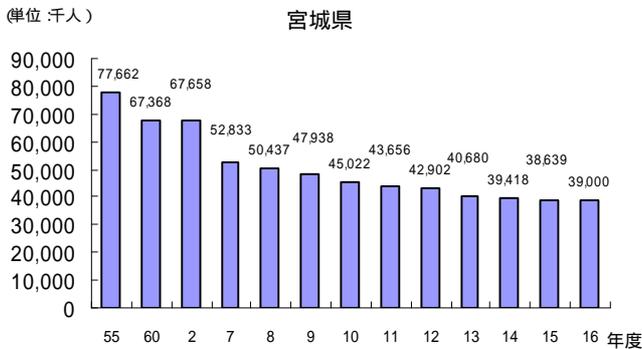
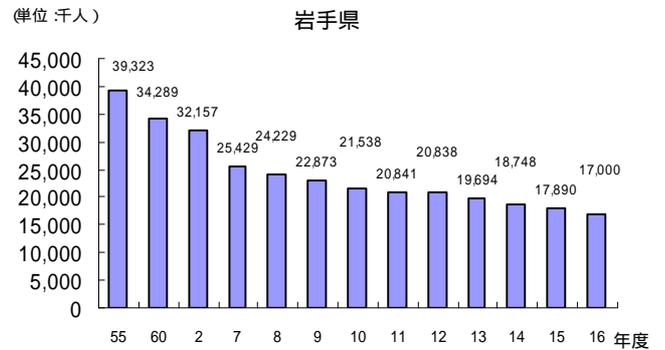
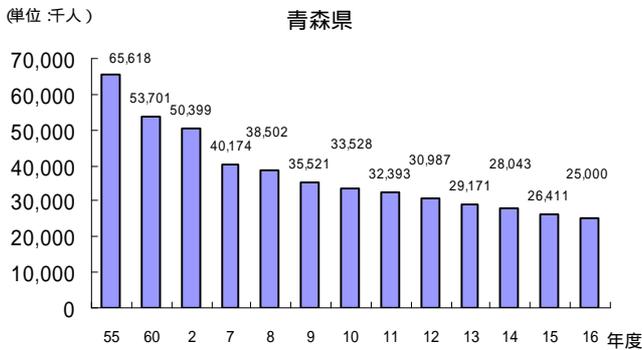
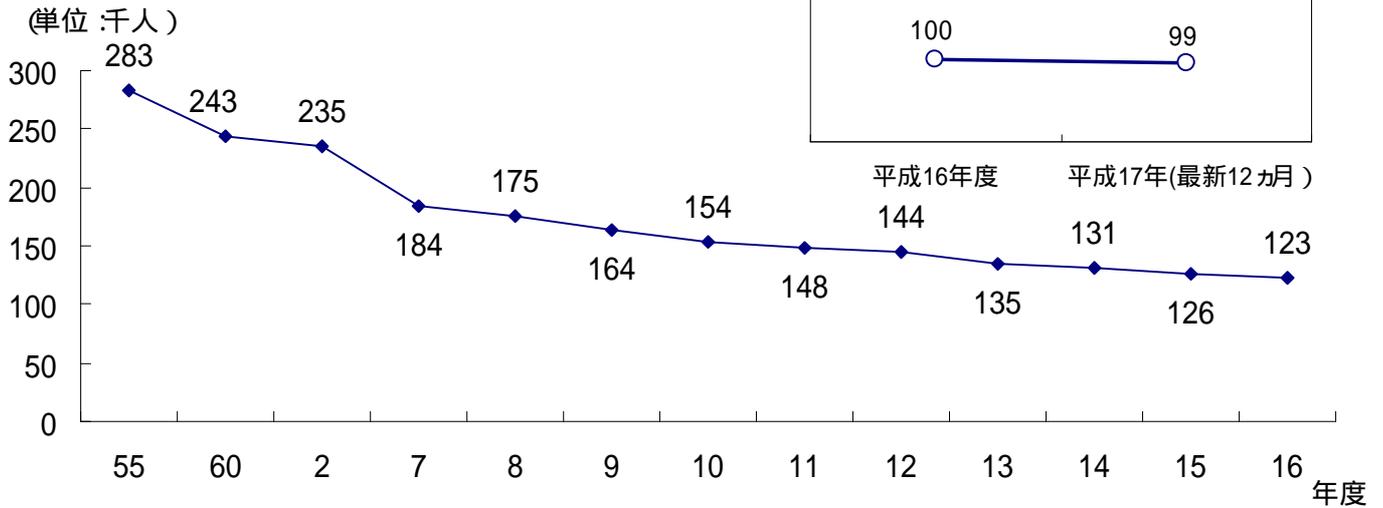
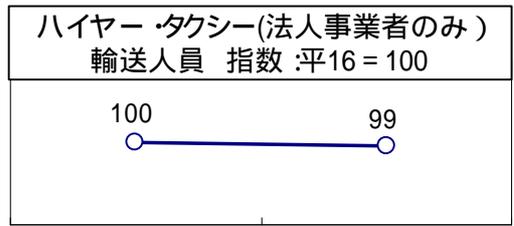
(資料)東北運輸局

2 - 3 - 7 離島航路の現況

平成16年3月31日現在

事業者名	航路名	国庫補助 航路指定 年 度	本 土 と の 距 離 km	使用船舶数 及 び 総トン数	輸送実績(千人)							
					9 年 度	10 年 度	11 年 度	12 年 度	13 年 度	14 年 度	15 年 度	16 年 度
塩竈市	塩竈～朴島	40	11.6	3隻 230.36ト	279	260	251	240	235	217	201	201
牡鹿町 (現石巻市)	鮎川 鮎川 金華山	40	18.2 7.4	1隻 99.00ト	58	54	63	49	40	30	22	27
江島汽船 (有)	女川～江島	39	13.8	1隻 64.00ト	26	20	20	19	19	17	16	47
丸中金華 山汽船(株)	女川～出島 (16.9.30廃止)	43	8.4	3隻 82.00ト	97	91	87	87	90	75	70	30
下北汽船	青森～佐井	46	79.9	1隻 90.00ト	19	17	17	16	16	14	12	12
網地島ライ ン(株)	石巻～長渡	53	33.0	2隻 217.00ト	65	59	60	61	58	53	44	49
唐桑汽船 (株)	鮎立～気仙 沼	58	11.8	1隻 77.00ト	38	34	37	33	30	27	22	21
酒田市	酒田～勝浦	35	39.3	1隻 223.00ト	47	44	42	37	37	38	36	36
気仙沼市	浦ノ浜～ 気仙沼		8.05	2隻 217.57ト	213	215	212	215	207	206	15.3.31 廃止	
大島汽船	浦ノ浜～ 気仙沼		8.05	6隻 1,022.22ト	911	853	893	829	830	766	938	924
計					1753	1647	1682	1586	1562	1443	1361	1347

2 - 3 - 8 ハイヤー・タクシー輸送人員の推移



(資料) 東北運輸局

3 貨物輸送の動向

【概況】

「自動車への強い依存傾向、外貿における自地域内港湾利用率が低い」

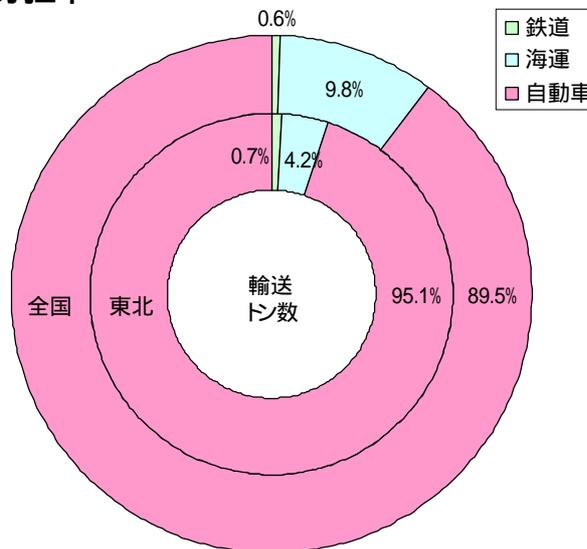
東北地方では、トン数ベースで見ると、自動車分担率が95%と非常に高く、海運の割合が低い。また、輸送量は減少傾向にある。

自動車貨物のトンキロベースでは増加傾向にあり、また、ここ1年で特別積合せトラック、宅配貨物の輸送量が増加傾向にある。

鉄道貨物については、横ばい傾向にある。

港湾運送取扱貨物量は横ばいから増加傾向にあり、ここ1年で内航、外貿ともにコンテナ取扱量が増加しているが、自地域内の港湾における外貿コンテナ貨物取扱量が非常に低く、地域外の手港を利用している傾向が強い。

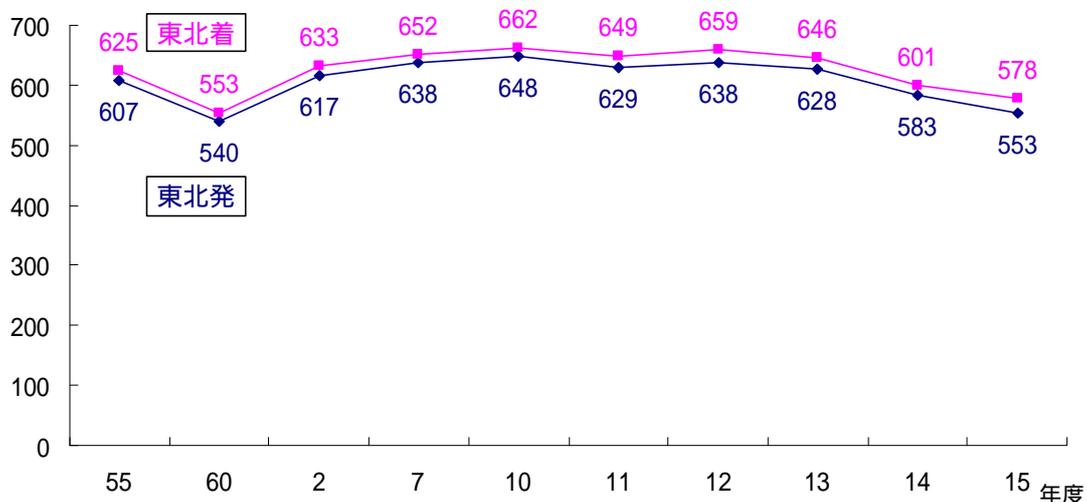
3 - 1 貨物輸送機関別分担率



(資料) 貨物地域流動調査

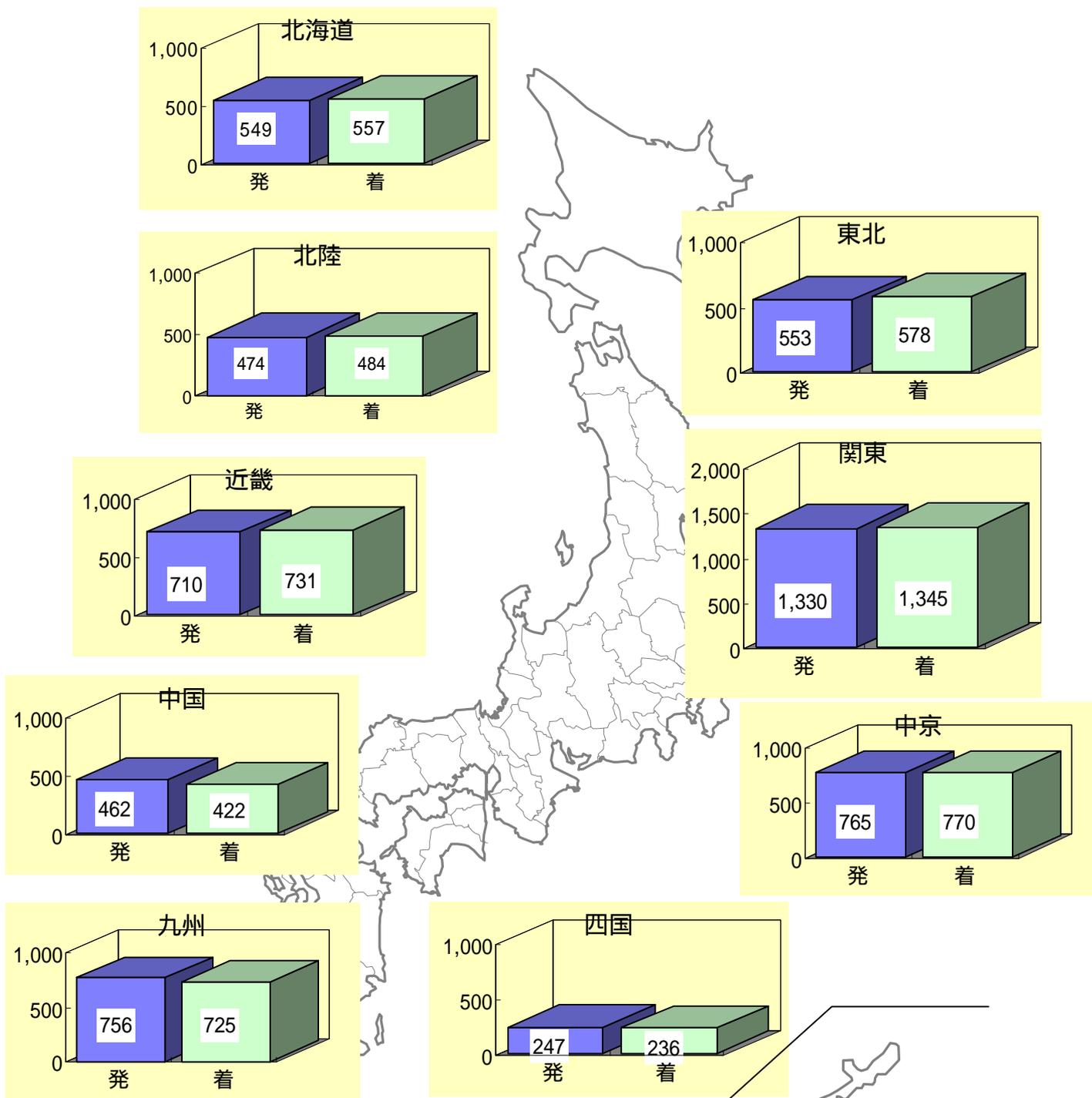
3 - 2 - 1 東北発着輸送量の推移

(単位:百万トン)



(資料) 貨物地域流動調査

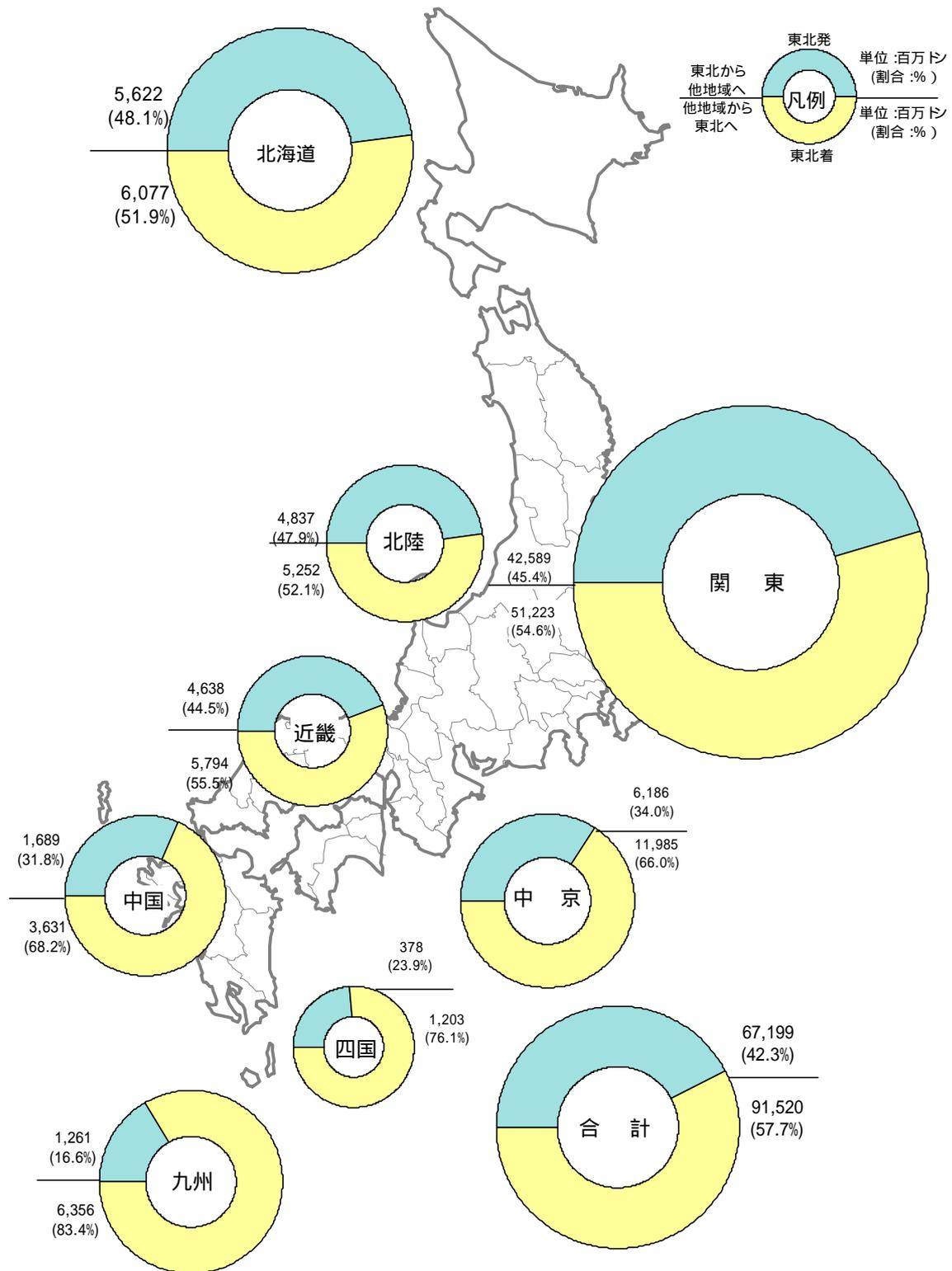
3 - 2 - 2 地域間における貨物流動状況（平成15年度）



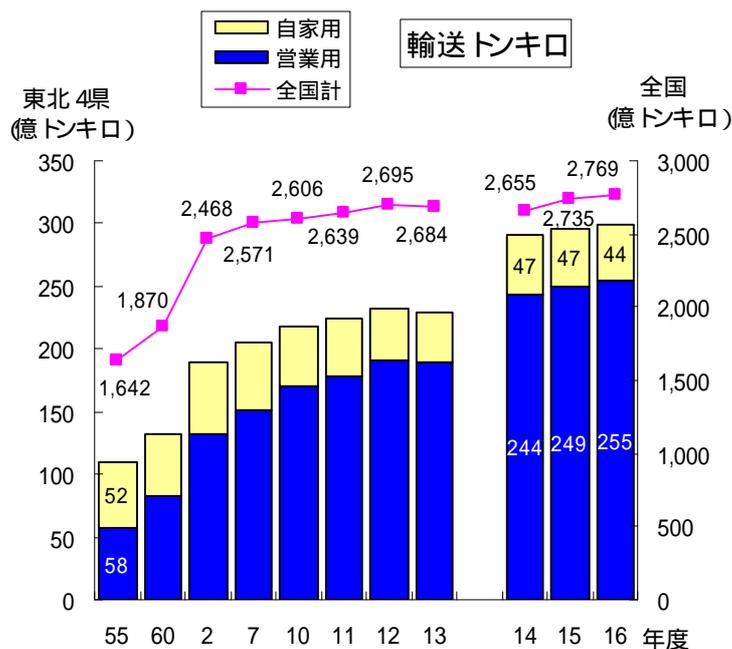
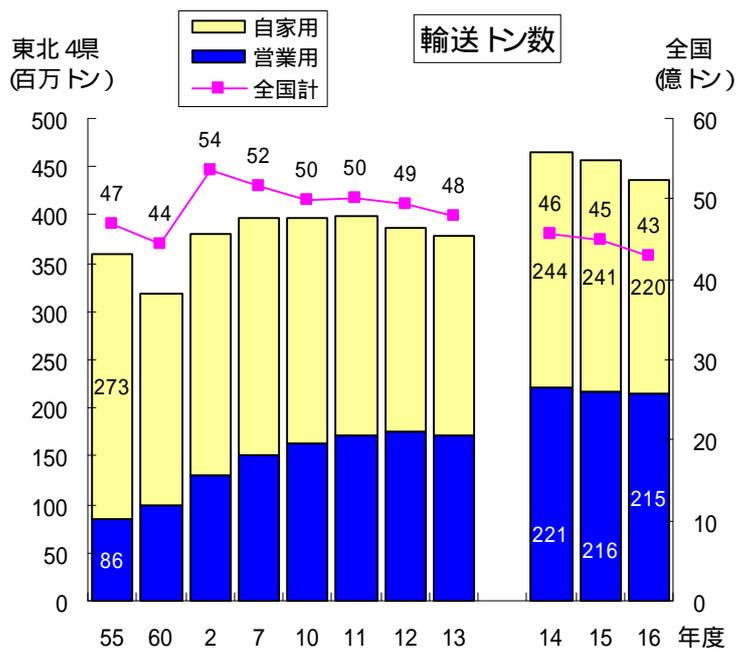
(注) 北海道、四国、九州、沖縄以外の地域区分は次のとおり
 東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
 中京：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
 近畿：滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、大阪府、兵庫県
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

(資料) 貨物地域流動調査

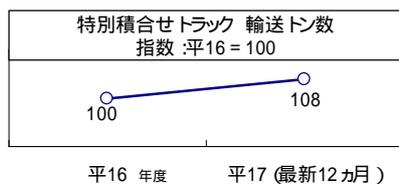
3 - 2 - 3 東北と全国との貨物流動状況（平成15年度）



3 - 3 貨物自動車輸送量の推移



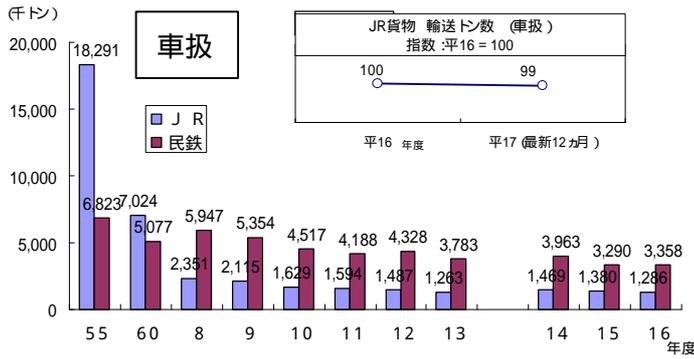
注) 平成13年度までは管内4県の合計値、平成14年度以降は6県の合計値となっている



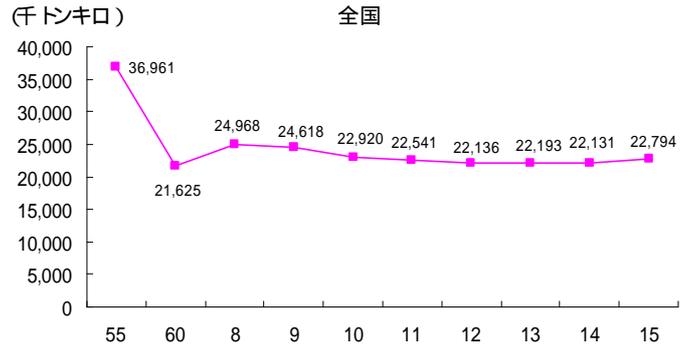
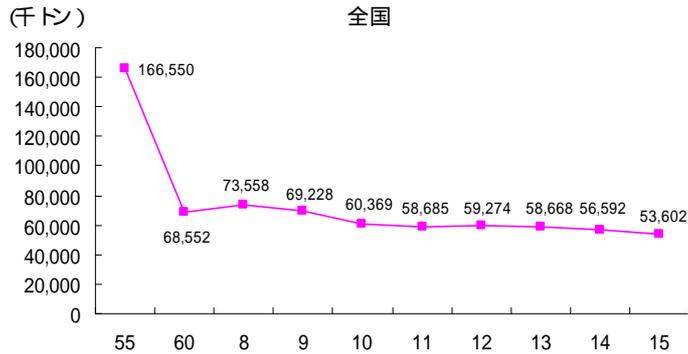
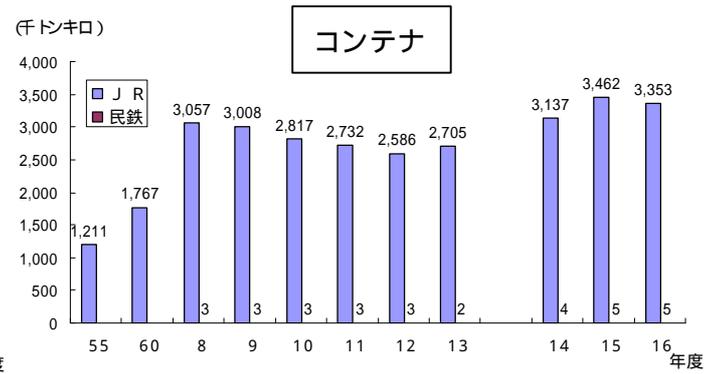
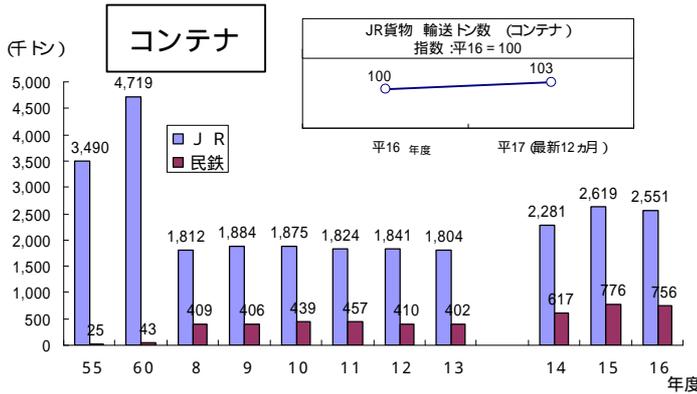
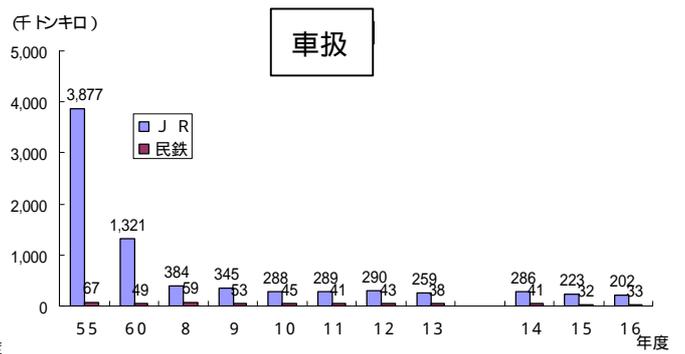
(資料) 東北運輸局

3 - 4 鉄道貨物輸送量の推移

鉄道貨物輸送トン数推移



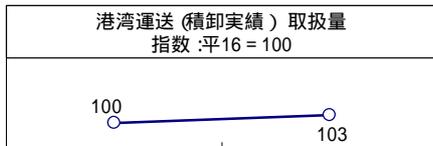
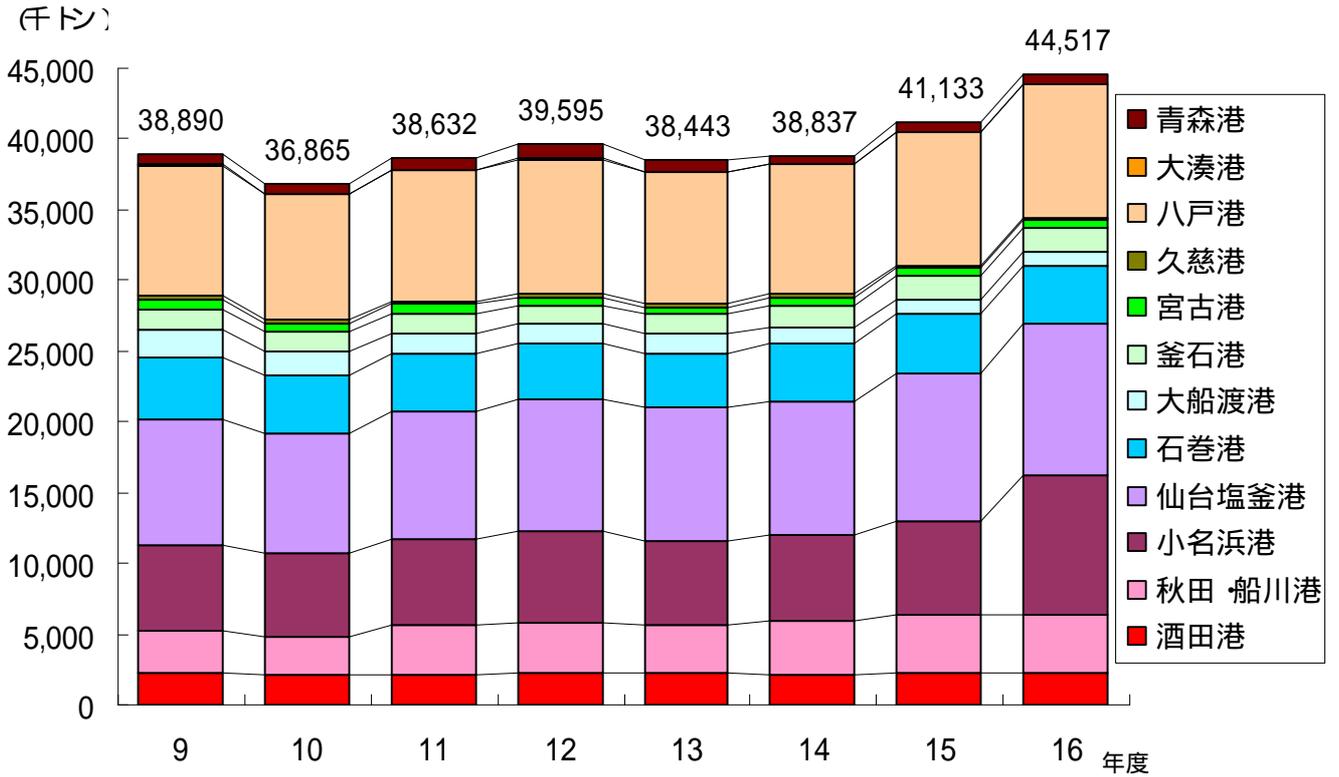
鉄道貨物輸送トンキロ推移



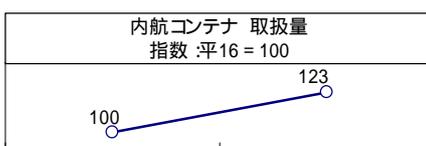
注) 東北地方の平成13年度までは管内4県の合計値、平成14年度以降は6県の合計値となっている

(資料) 東北運輸局

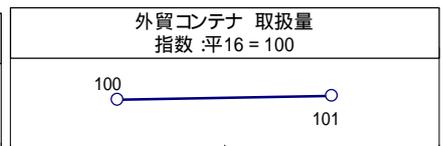
3 - 5 - 1 港別港湾運送取扱貨物量の推移



八戸、仙台、小名浜、
秋田船川、酒田各港の計



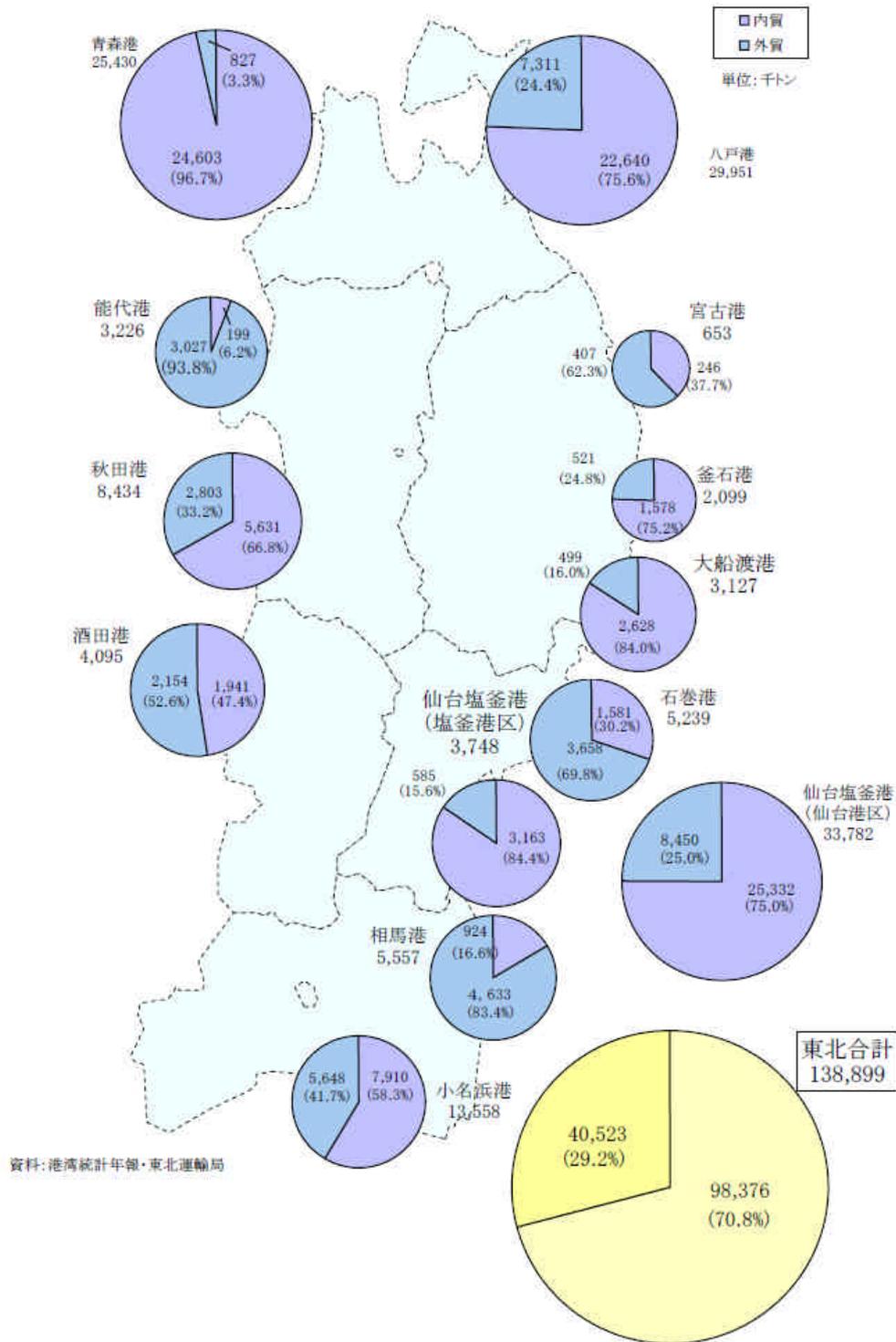
仙台港のみ



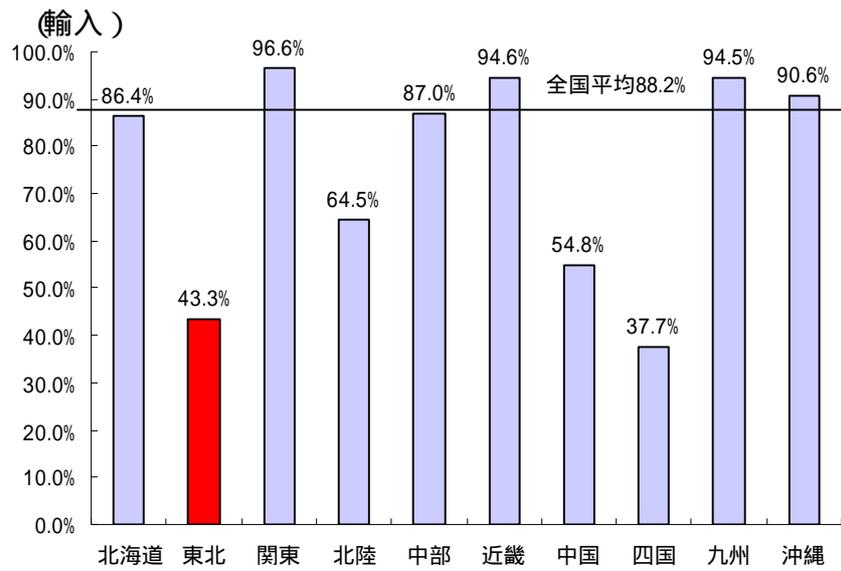
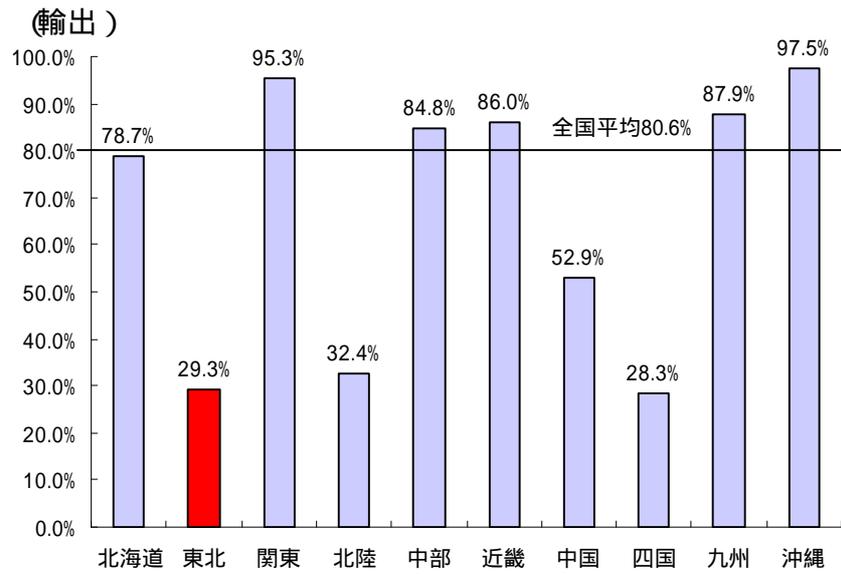
八戸、仙台、小名浜、
秋田船川、酒田各港の計

(資料) 東北運輸局

3 - 5 - 2 主要港の貨物取扱量（平成15年度）

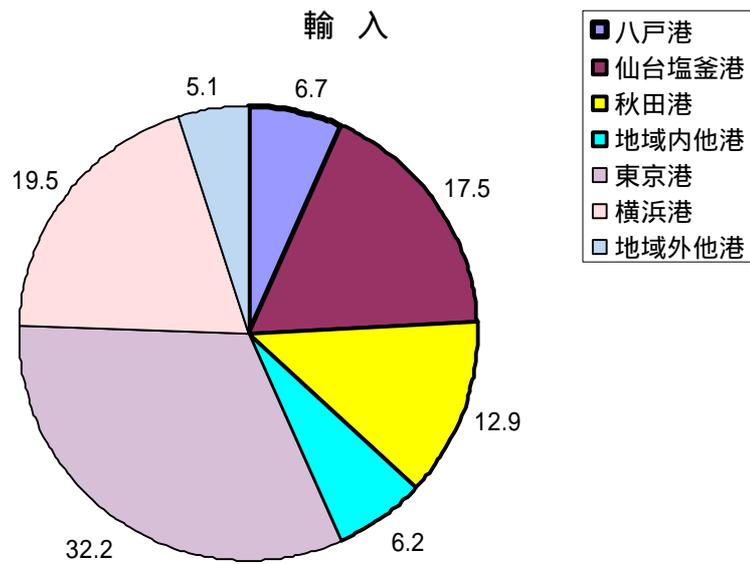
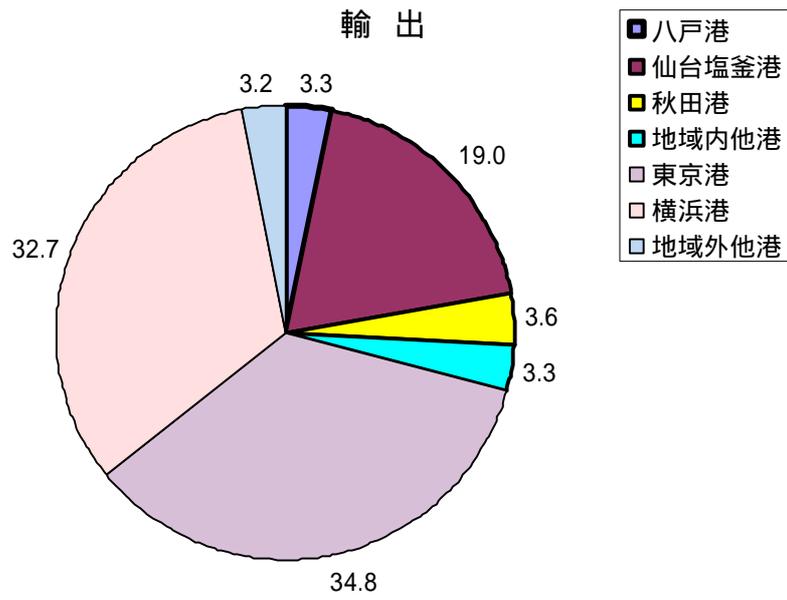


3 - 5 - 3 自地域内の港湾における外貿コンテナ貨物取扱量（地域別）



(資料) H15 全国輸出入コンテナ貨物流動調査

3 - 5 - 4 利用港湾割合（東北国際海上コンテナ貨物）



(資料) H15 全国輸出入コンテナ貨物流動調査

4 環境・バリアフリー

【概況】

「環境に関しては、低公害車の導入状況が増加傾向にあるもの、全国平均に比べると低水準」

「バリアフリーに関しては、全国に比べ未だ低水準だが、基本構想策定都市が増加するなど、進展しつつある」

低公害車の普及率は増加傾向だが、全国と比較すると低水準である。

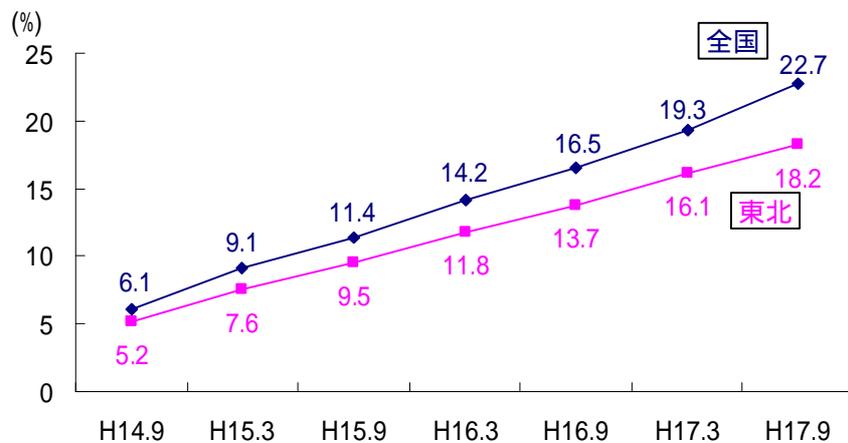
CNG車台数は増加しているものの、CNG燃料スタンド数が極めて少なく、平成16年度末の5箇所から増えていない。

乗合バスのバリアフリー化は、近年進展しているものの、全国と比較すると低水準である。

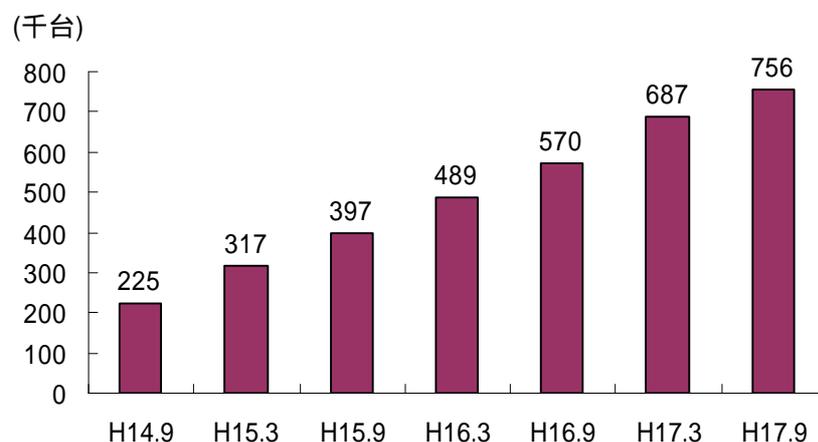
鉄道駅では、段差解消率が全国よりも上回っている。身体障害者用トイレの整備については、平成16年度までは全国よりも下回っているが、現在、着実に整備が進められている。

交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定都市は、平成16年度当初では0市であったが、平成17年度当初で9市となった。

4 - 1 - 1 低公害車普及率の推移



4 - 1 - 2 低公害車台数の推移



4 - 1 - 3 CNG車の導入台数

導入台数	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東北	全国
平成 15 年度末	0	0	133	3	1	5	142 (0.9%)	15,252
平成 16 年度末	0	1	187	3	3	11	205 (1.2%)	17,381
平成 17 年 9 月	0	0	195	3	3	13	214 (1.2%)	18,118

4 - 1 - 4 CNGスタンドの設置状況（東北運輸局管内）

東北運輸局管内の天然ガススタンド（エコ・ステーション）の設置状況

名 称	所 在 地	開 設 日	営 業 時 間
新港工場天然ガス充填所	仙台市宮城野区港 4丁目 13- 1 TEL 022 387-6330	平成 10 年 2 月 13 日	平 日 の み 8 :30 ~ 17 :00
幸町天然ガススタンド	仙台市宮城野区幸町 5 丁目 13- 1 TEL 022 256-2760	平成 11 年 12 月 8 日	平 日 8 :15 ~ 17 :45 土 曜 8 :45 ~ 16 :45 日 曜 9 :00 ~ 12 :30
卸町エコ・ステーション	仙台市若林区卸町 4丁目 2 TEL 022 232-2261	平成 14 年 12 月 16 日	平 日 8 :15 ~ 18 :15 土 曜 8 :15 ~ 17 :45
UEKIエコ・ステーション仙台	仙台市宮城野区福田町南 1丁目 8 TEL 022 259-8501	平成 16 年 6 月 1 日	平日・日曜・祝日 (土曜休業) 7 :00 ~ 17 :00
若松ガス駅前エコ・ステーション	福島県会津若松市扇町 112番地 1号 TEL(0242)37-7577	平成 16 年 12 月 20 日	平日 祭日 8 :30 ~ 20 :00 (1月 1 ~ 3日) 8 :30 ~ 18 :00

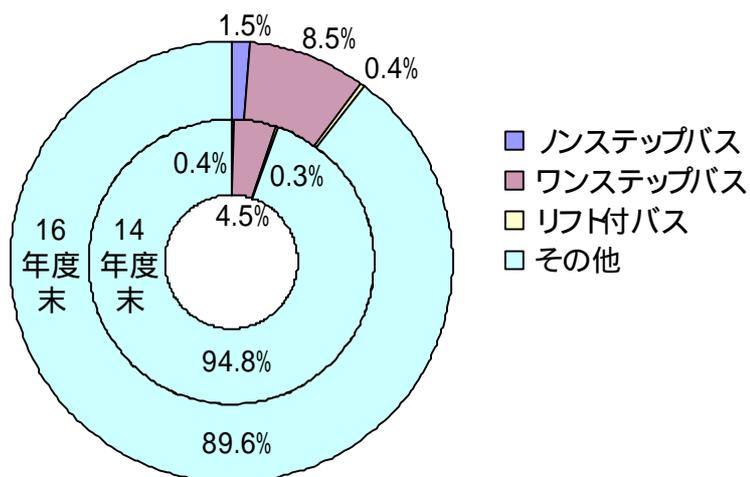
(平成 17 年 1 2 月 3 1 日現在)

	北海道	東北	関東	東海・北陸	近畿	中国・四国	九州	合計
天然ガス車台数(台)	1,081	290	12,550	3,804	7,087	726	1,031	26,569
天然ガススタンド数(箇所)	8	5	121	57	69	14	18	292

(資料)(社)日本ガス協会

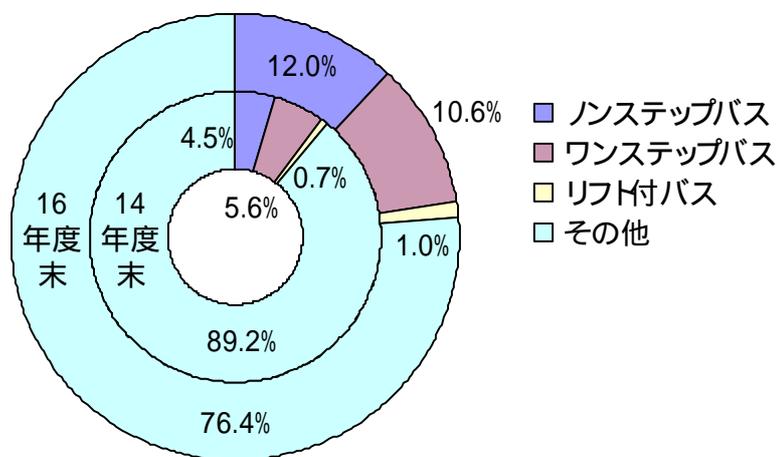
4 - 2 - 1 乗合バスのバリアフリー化の現状

東北



総車両数：	14年度末5,183台	16年度末5,068台
<u>バリアフリー化車両</u>		
	14年度末 268台 (5.2%)	16年度末 524台 (10.3%)

全国



総車両数：	14年度末57,992台	16年度末58,197台
<u>バリアフリー化車両</u>		
	14年度末 6,274台 (10.8%)	16年度末 13,749台 (23.6%)

(資料)東北運輸局

4 - 2 - 2 鉄道駅におけるバリアフリー化の現状（平成16年度末現在）

	JR (駅数 :744)	公営 (駅数 :17)	民鉄 (駅数 :228)	合 計
段差を解消している駅	43	17	47	107
エレベータを設置している駅	56	17	3	76
エスカレーターを設置している駅	40	17	1	58
スロープを設置している駅	111	10	51	172
視覚障害者誘導用ブロックを敷設している駅	283	4	20	307
点字による案内設備を設置している駅	12	1	6	19
点字券売機を設置している液	181	17	22	220
身体障害者対応型券売機を設置している駅	181	17	22	220
拡幅改札口を設置している駅	262	17	29	308
運行情報提供設備を設置している駅	84	17	5	106
転落防止設備を設置している駅	385	17	49	451
車いす利用者対応型トイレを設置している駅	77	17	7	101

交通バリアフリー化整備状況

平成17年3月末現在

県名	1日の利用者が 5千人以上の駅	段差の解消駅数	割合（％）	身体障害者用 トイレの設置駅数	割合（％）
青森	3	2	66.7	2	66.7
岩手	7	1	14.3	3	42.9
宮城	47	31	66.0	5	10.6
秋田	1	0	0.0	0	0.0
山形	1	0	0.0	0	0.0
福島	7	2	28.6	0	0.0
東北管内	66	36	54.5	10	15.2
全国	2,758	1,343	48.7	858	31.1

（資料）東北運輸局

4 - 3 交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況

(平成17年4月1日現在)

県	作成した市町村	協議会を設置し 作成を開始した市町村	17年度中に 作成に着手す る市町村	時期は未定であるが、作成する予定のある市町村	5千人以上の駅のある市町村で策定予定のない市町村
青森県	青森市			八戸市 つがる市、中泊町、鶴田町、野辺地町、横浜町、東北町	弘前市
岩手県	盛岡市 一関市			宮古市、水沢市、雫石町、平泉町、川崎村、普代村	花巻市 北上市 矢巾町
宮城県	仙台市(3)			石巻市、塩竈市、名取市、岩沼市、亘理町、利府町 栗原市、東松島市、山元町、松島町、鹿島台町、田尻町	古川市、白石市 多賀城市、大河原町 柴田町
秋田県	秋田市			横手市、由利本荘市、大仙市、潟上市、田沢湖町、美郷町	
山形県	南陽市			山形市 米沢市、上山市、新庄市、長井市、鶴岡市、高畠町 藤島町、遊佐町	
福島県	会津若松市 いわき市 福島市			西郷村 会津坂下町、塙町、大熊町、河東町	郡山市
合計	9 (11)			45	10

(注) 1. 基本構想の策定状況は、基本的には平成17年3月31日現在で実施した調査をもとに分類

2. □は一日当たりの利用者数が5,000人以上の駅がある市町村

注: 仙台市は 仙台駅周辺地区(仙台駅、あおば通駅)、 仙台都心地区(勾当台公園駅、広瀬通駅、北四番町駅、五橋駅)
泉中央・長町地区(地下鉄泉中央駅、JR長町駅、地下鉄長町駅、長町一丁目駅、長町南駅)の基本構想を策定。

5 観光の動向

【概況】

「東北全体では近年入れ込み数が増加傾向、ただし訪日外客の訪問率が低い」

観光客入れ込み数は近年増加傾向にあるが、宿泊人数は横ばいである。

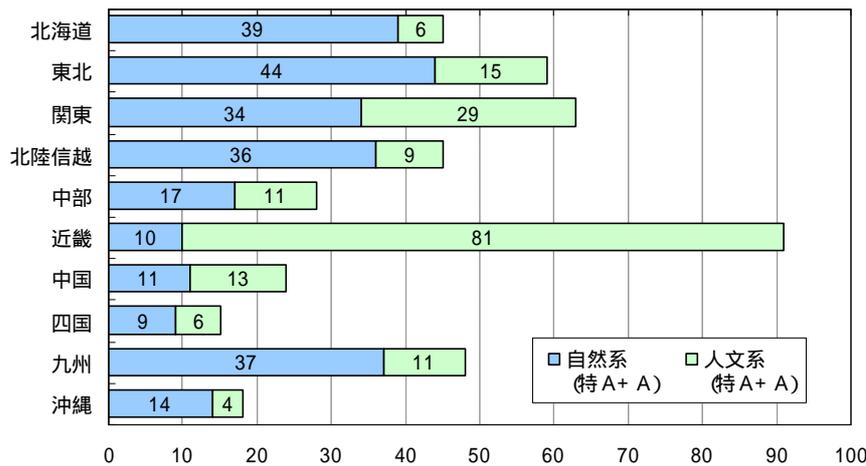
東北への観光は関東以北からの入れ込みがほとんどである。また、各県の入込み客数は夏に多く、冬に少ない。

全国の訪日外国人旅行者数は年々増加し、平成 17 年（2005 年）に 673 万人と過去最高に達することが予想されている。国籍別にみると、韓国、台湾をはじめとしたアジア諸国の比率が高い。

東北地方における外国人旅行者については、依然として訪問率が 4 % 程度と低いものの、その数は増加傾向にある。訪問者の国籍は、全国の傾向と同様に、韓国、台湾をはじめとしたアジア諸国の比率が高い。

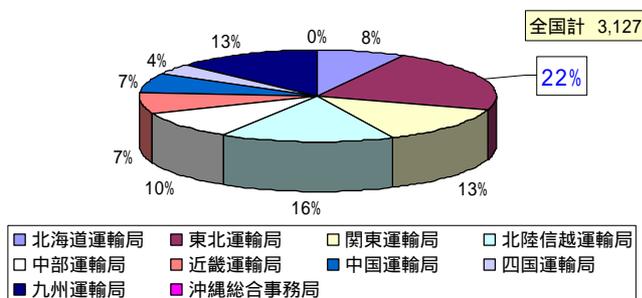
5 - 1 観光資源

評価観光資源数

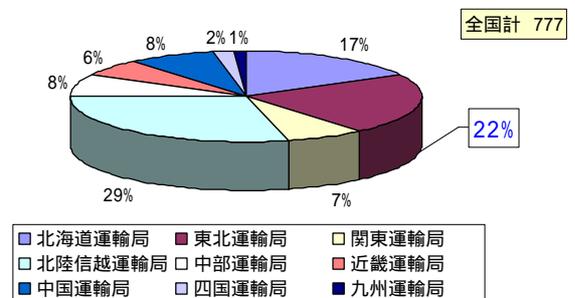


(資料)観光資源評価台帳((財)日本交通公社)

運輸局別温泉地数



運輸局別スキー場数



(資料)日本観光協会「数字で見る観光 2005」

「宿泊で行ってみたい地域」

〔東京圏〕

1位	北海道	71.6%
2位	九州・沖縄	60.1%
3位	東北	42.0%

〔大阪圏〕

1位	北海道	72.1%
2位	九州・沖縄	53.5%
3位	東北	27.4%

(資料)「大都市住民の観光レクリエーション(第14回)2000年」(社)日本観光協会

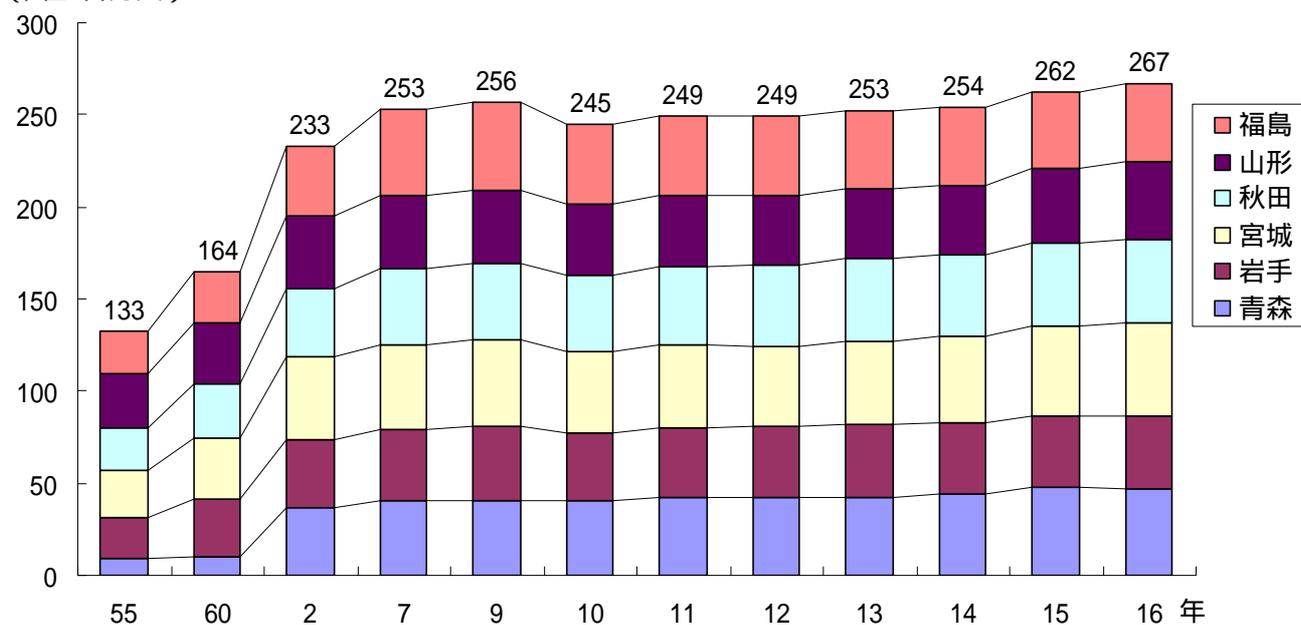
東アジアの各都市住民が「行ってみたい日本の観光地」

順位	ソウル	台北	上海	香港
1	東京	北海道	北海道	北海道
2	北海道	東京	東京	TDL
3	別府温泉	京都	富士山	富士山
4	TDL	TDL	TDL	東京
5	富士山	富士山	大阪	沖縄
6	沖縄	沖縄	横浜	仙台
7	京都	伊豆	京都	伊豆
8	大阪	箱根	草津温泉	金沢
9	広島	軽井沢	伊豆	大阪
10	横浜	伊勢	神戸/広島	伊勢

(資料)日本経済新聞

5 - 2 - 1 観光客入れ込み数の推移（年）

（単位：百万人）

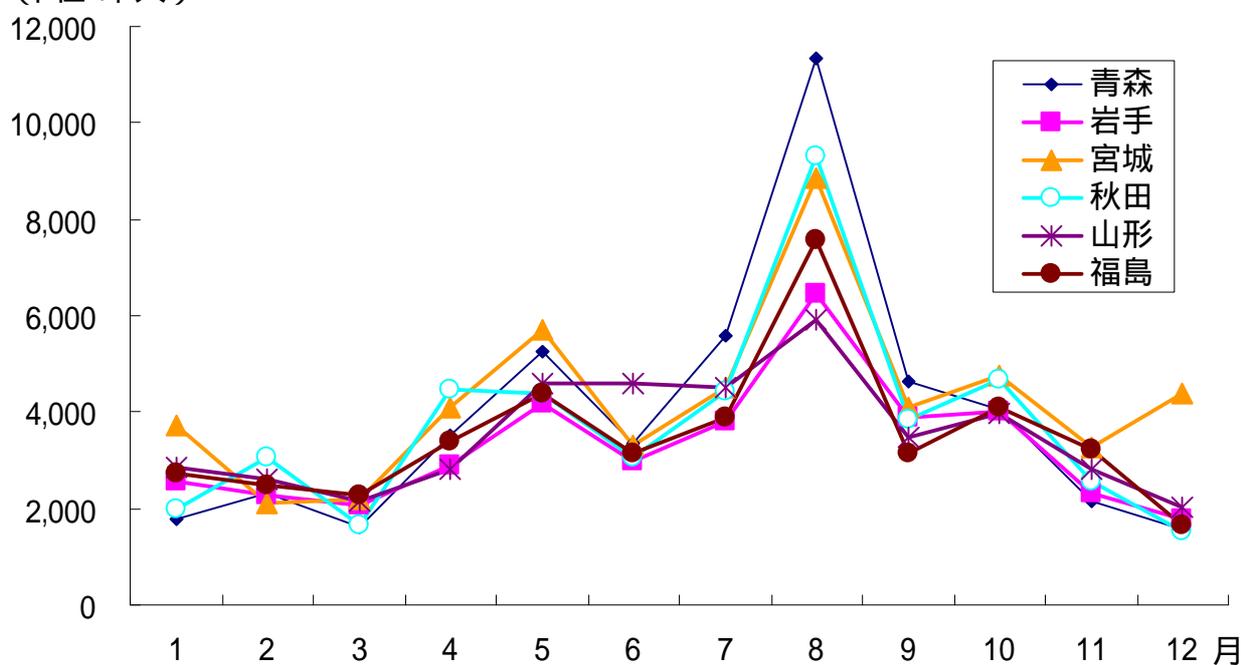


（資料）東北運輸局

5 - 2 - 2 観光客入れ込み数の推移（月別）

東北全域の月別推移

（単位：千人）



（資料）各県観光統計

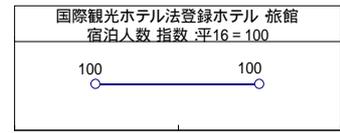
5 - 2 - 3 発ブロック別宿泊人数

上段：宿泊人数（千人） 下段：構成比（％）

	北海道	東北	関東	北陸	甲信越	東海・ 中京	近畿	中国	四国	九州・ 沖縄
青森	24	39	115	2	2	17	50	3	1	8
	9.2	14.9	44.1	0.8	0.8	6.5	19.2	1.1	0.4	3.1
岩手	11	79	107	1	2	13	31	2	1	5
	4.4	31.3	42.5	0.4	0.8	5.2	12.3	0.8	0.4	2.0
宮城	9	156	211	3	5	14	32	6	1	9
	2.0	35.0	47.3	0.7	1.1	3.1	7.2	1.3	0.2	2.0
秋田	8	35	66	1	2	8	17	2	0	3
	5.6	24.6	46.5	0.7	1.4	5.6	12.0	1.4	0.0	2.1
山形	3	68	128	1	5	8	20	2	1	4
	1.3	28.3	53.3	0.4	2.1	3.3	8.3	0.8	0.4	1.7
福島	2	67	284	1	6	7	15	2	1	6
	0.5	17.1	72.6	0.3	1.5	1.8	3.8	0.5	0.3	1.5
計	58	445	911	9	22	67	164	17	5	36
	3.3	25.7	52.5	0.5	1.3	3.8	9.5	1.0	0.3	2.0

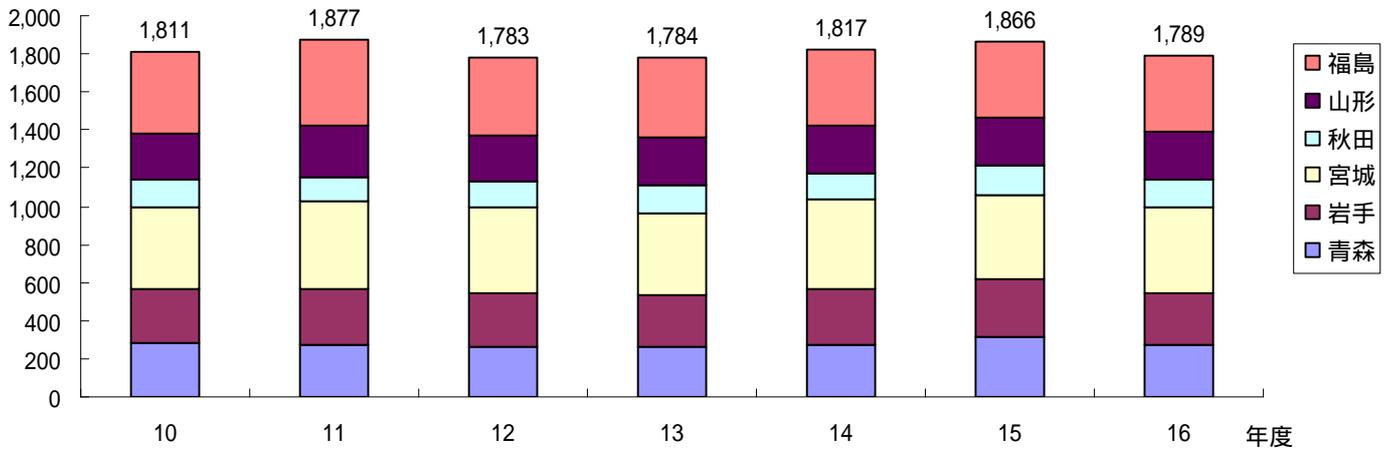
（資料）J T B 宿泊白書 2005

宿泊人数推移



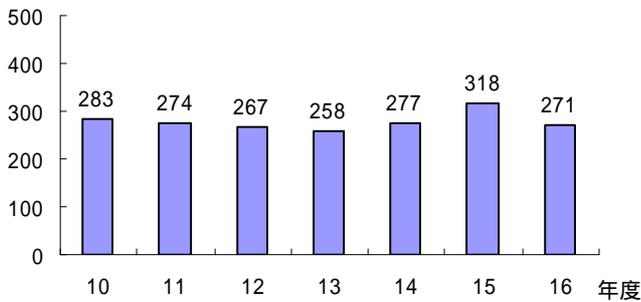
平成16年度 平成17年(最新12ヵ月)

(単位:千人)



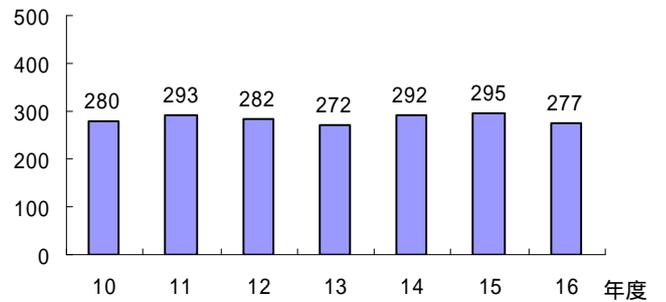
(単位:千人)

青森



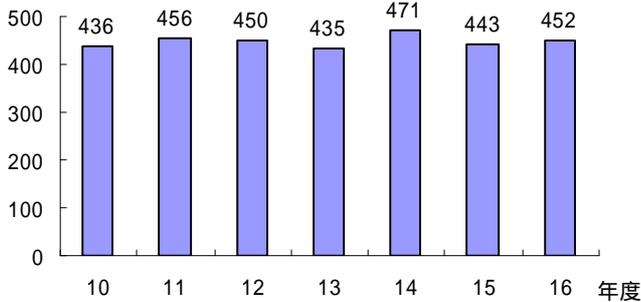
(単位:千人)

岩手



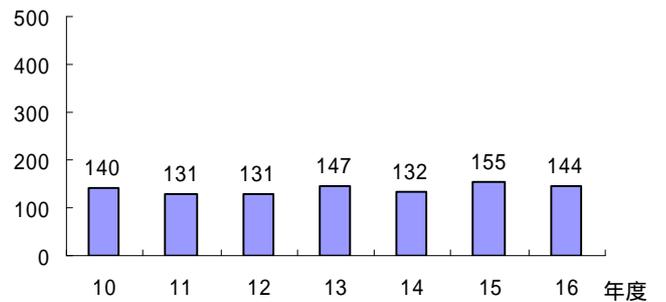
(単位:千人)

宮城



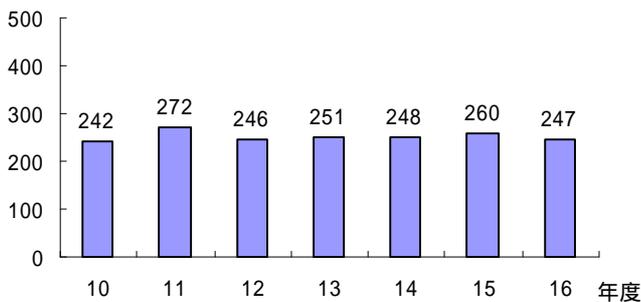
(単位:千人)

秋田



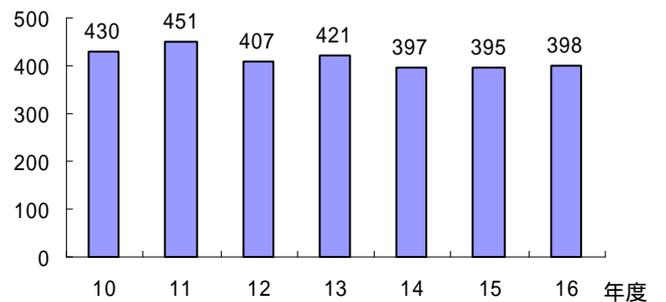
(単位:千人)

山形



(単位:千人)

福島



(資料) J T B 宿泊白書 2005

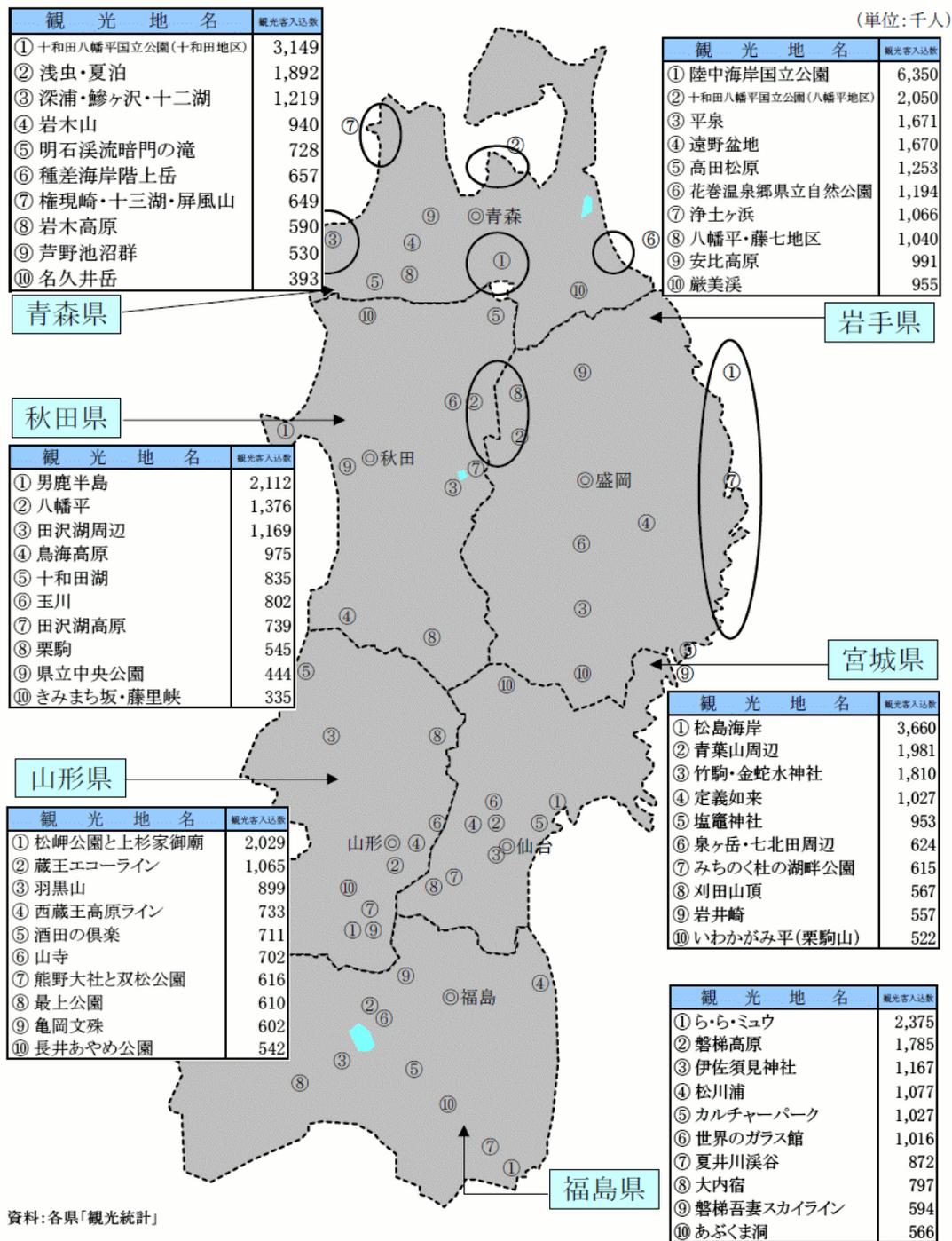
主要観光地 宿泊人数推移（除く学生団体）

人数：千人

観光地名	年度								
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	前年増減	前年比
浅虫	23	20	21	21	24	32	28	4	13.2
八甲田	30	31	35	37	39	42	36	5	13.1
十和田湖畔	72	77	68	66	79	82	69	13	15.7
繋 鶯宿	65	69	69	71	78	84	71	14	16.5
花巻	76	98	77	80	90	79	72	7	9.1
鳴子	40	36	34	33	36	38	39	+2	+4.0
松島海岸	82	87	84	78	72	71	70	0	0.3
仙台	101	119	131	116	143	129	133	+4	+2.9
作並	47	38	34	37	34	34	37	+4	+11.0
秋保	114	122	113	114	128	119	113	6	5.3
天童	39	39	32	31	21	30	30	+0	+0.6
蔵王	40	54	46	51	46	45	54	+8	+18.2
上ノ山	46	46	49	49	48	58	51	6	10.9
土湯	18	21	22	23	24	26	26	0	+1.6
猪苗代	38	41	33	36	38	33	36	+3	+9.5
東山	57	60	46	45	42	47	42	5	9.8
芦ノ牧	29	34	31	30	26	28	32	+4	+13.9
磐梯熱海	42	43	34	39	38	36	37	+1	+3.5

（資料）J T B 宿泊白書 2005

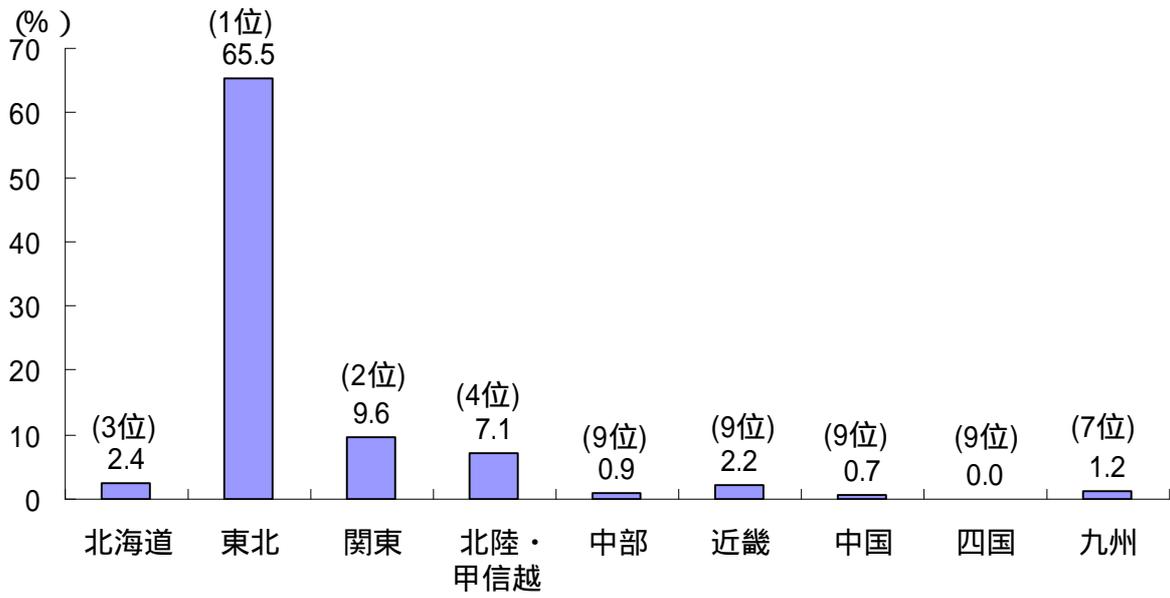
5 - 3 - 1 観光地別入れ込み客数



(資料) 東北運輸局

5 - 3 - 2 観光地別入れ込み客数

地域別に入れ込み比率

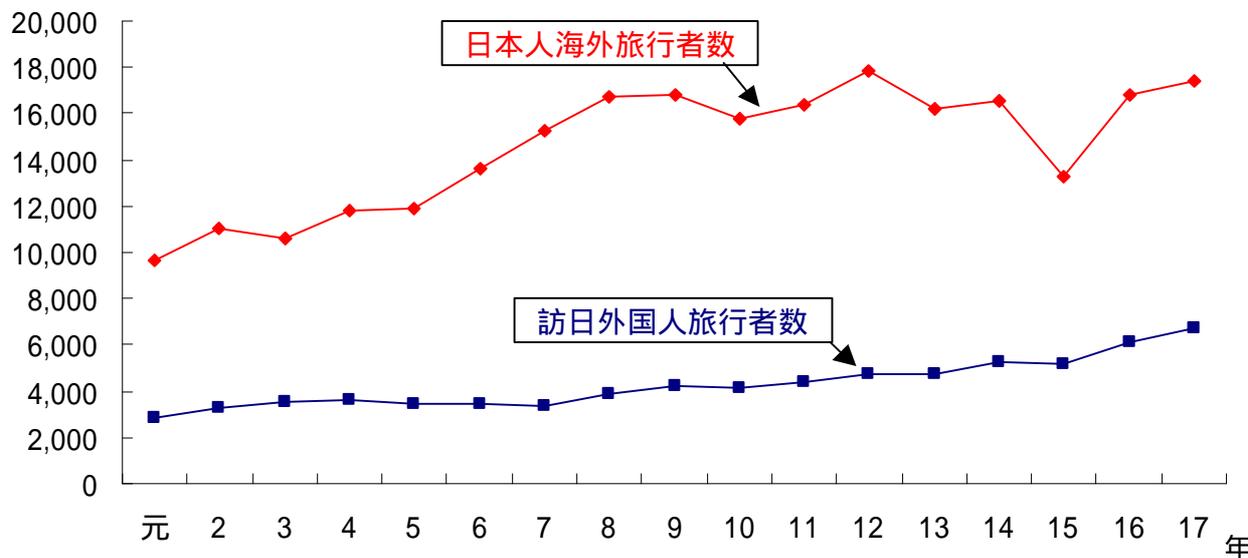


(資料) 全国旅行動態調査

5 - 4 - 1 外国人旅行者数

日本人海外旅行者数、訪日外国人旅行者数の推移

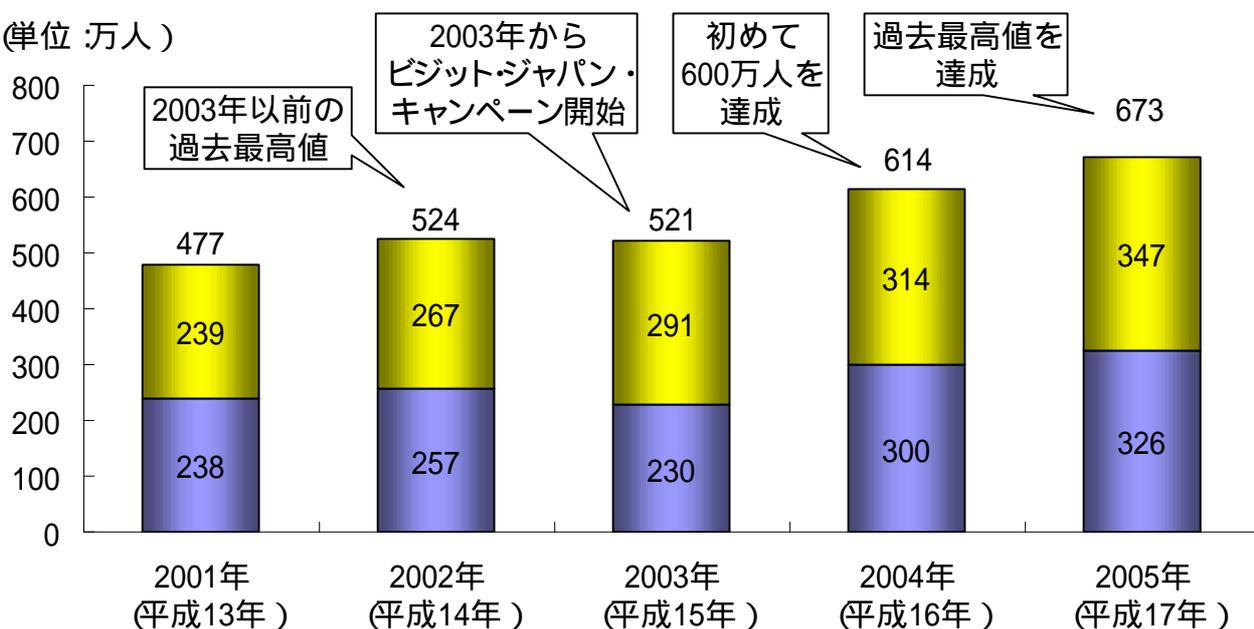
(単位 :千人)



(資料) 東北運輸局

訪日外国人旅行者数

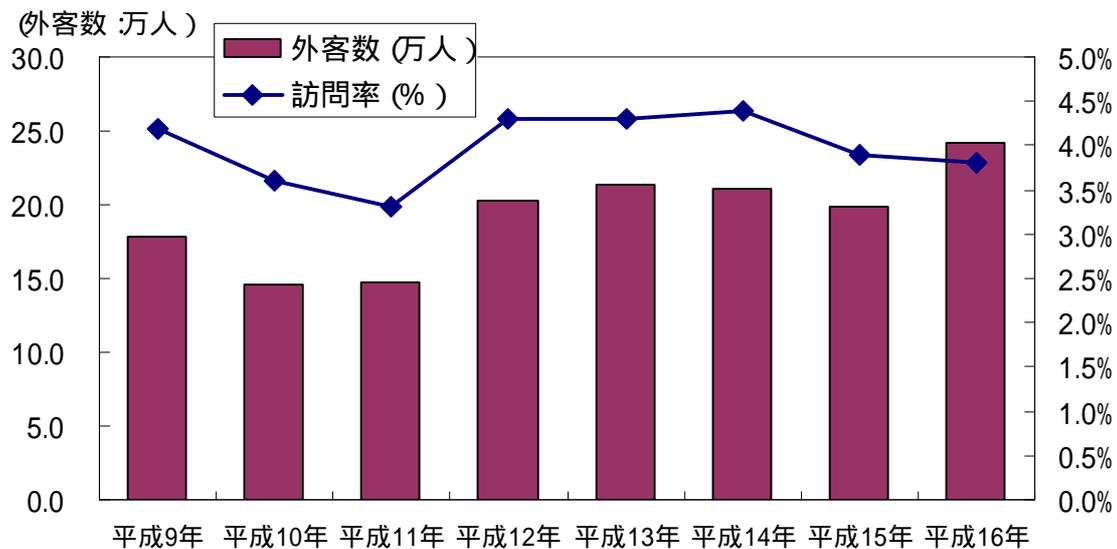
(単位 :万人)



(資料) 国際観光推進機構 (JNTO)

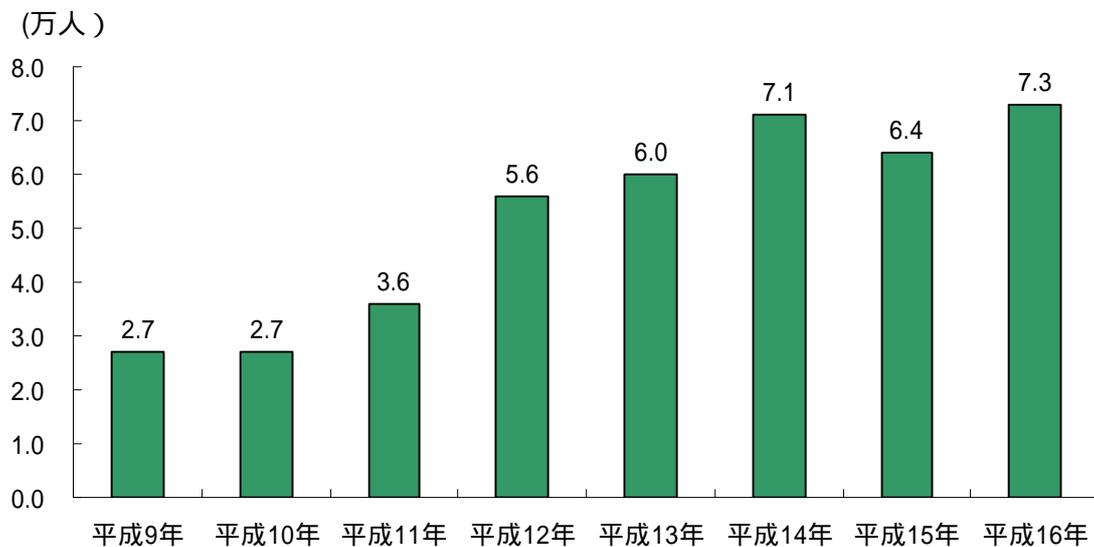
5 - 4 - 2 訪日旅客の東北地方への訪問状況

東北地方への外国人旅行者の推移



(資料) 東北運輸局

東北地方の主要空港から出国する外国人旅行者



(資料) 出入国管理統計

5 - 4 - 3 東北地方各空港からの入国者数

空港	年又は 年度別	15	16	17 (1~11月)	
				入国者数	前年同期間との伸率
青森		17,358	29,752	-	-
三沢		-	-	-	-
花巻		3,154	5,572	8,290	63.8%
仙台		36,586	44,302	39,390	-0.6%
秋田		3,590	5,306	9,480	78.1%
大館能代		-	-	-	-
庄内		140	-	-	-
山形		-	47	-	-
福島		6,439	8,931	9,725	13.9%
合計		67,267	93,910	66,885	4.3%

(資料)15、16(年度) :各県調べ

17年 : 作成 :国際観光振興機構(JNTO)/出典 :法務

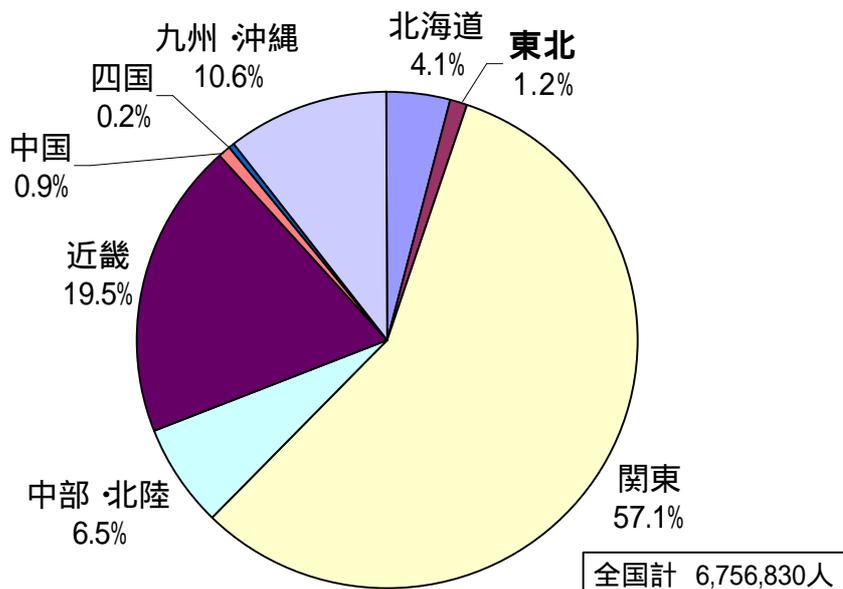
5 - 4 - 4 各県の外国人観光客宿泊数

(単位 :旅行者数 :人、指数 :平成14年度 = 100)

県名	年度	14年度		15年度		16年度		17年度		備考
		旅行者数	指数	旅行者数	指数	旅行者数	指数	旅行者数	指数	
青森県		-	-	-	-	40,212	-	-	-	
岩手県		57,920	100	59,374	103	78,293	135	-	-	入込数
宮城県		107,910	100	91,868	85	93,621	87	-	-	
秋田県		18,883	100	19,320	102	23,264	123	-	-	
山形県		17,559	100	20,173	115	23,265	132	31,241	178	入込数
福島県		24,548	100	20,667	84	36,241	148	42,955	175	

注 :山形県は、主要施設からの聞き取り調査による
(資料)各県観光統計

5 - 4 - 5 訪日外客の地方別訪問比



5 - 4 - 6 東北6県への訪日外客の訪問率 (2003～2004年)

東北を訪れる外国人旅行者数の推移

	訪日外客数	JNTO調査による推計		東北6県主要空港 出国者数 (b)	東北6県 外客数 (a)+ (b)	東北6県 訪問率
		東北6県 (a)	東北6県訪問率			
1997年	421.8	15.2	3.6%	2.7	17.9	4.2%
1998年	410.6	11.9	2.9%	2.7	14.6	3.6%
1999年	443.8	11.1	2.5%	3.6	14.7	3.3%
2000年	475.7	14.7	3.1%	5.6	20.3	4.3%
2001年	477.2	14.3	3.0%	6.0	20.3	4.3%
2002年	524.1	15.7	3.0%	7.1	22.8	4.4%
2003年	521.2	14.1	2.7%	6.4	20.5	3.9%
2004年	613.8	16.0	2.6%	7.3	23.3	3.8%

5 - 4 - 7 東北6県の出国率(2004年)

